

第3章 事前調査対象範囲

事前調査対象範囲（以下、「調査範囲」とする。）は、事業の立地に際して、特に配慮すべき事項を明らかにするために必要な情報（地域の環境特性）を把握できる範囲とする。

調査範囲は、事業の実施に伴う大気環境等の影響や、景観資源や植物の生育・動物の生息環境への影響を考慮し、事業計画地中心から8km四方の範囲とした。

調査範囲は、図3-1に示すとおりである。事前調査に用いた資料は、令和4年4月現在で最新のものとした。

なお、対象事業は平成13年より継続して産業廃棄物処理施設運営を行っているものの増設計画であることから、全体面積から既許可事業区域を除いた約10.2haを増設事業区域（対象事業計画地）とした。



対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

凡例





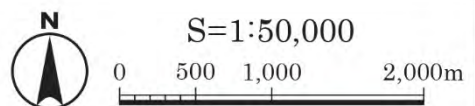
-  : 対象事業計画地
-  : 既設処分場(第1期～第4期)
-  : 区界
-  : 事前調査範囲(対象事業計画地から8km四方)

図3-1 事前調査対象範囲



第4章 事前調査結果

4.1 水象

調査範囲の主要な河川及び水象の状況は、表4-1及び図4-1に示すとおりである。

対象事業計画地の南側約1.2kmには一級河川広瀬川があり、調査範囲を西側から東側へと流れている。また、対象事業計画地の南側約500mには普通河川不動沢、南側約600mには普通河川大栗沢川、南東側約500mには普通河川大滝沢が流れ、対象事業計画地の南東側で広瀬川に合流している。

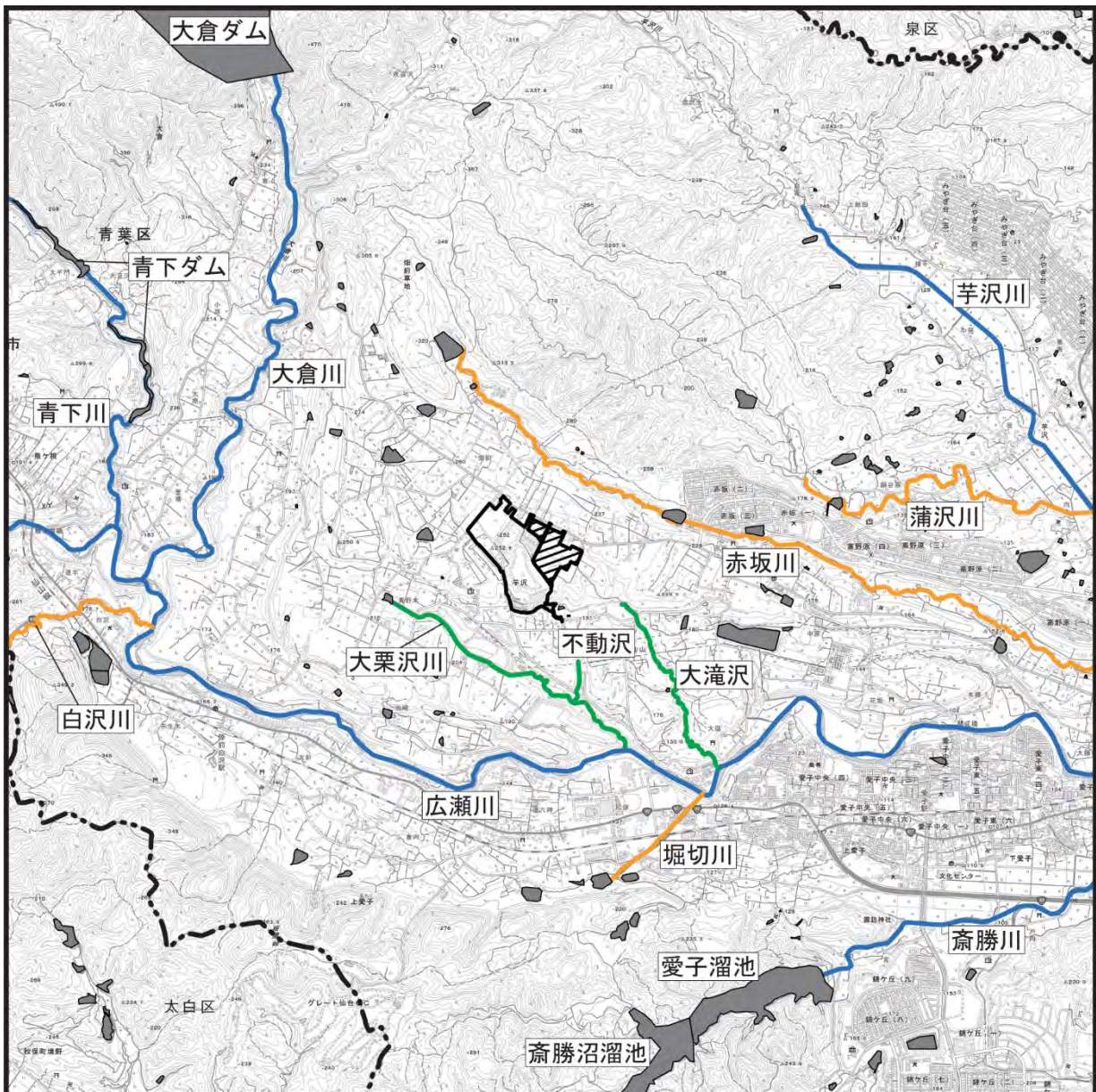
また、仙台市では、「宮城県公害防止条例」及び「工業用水法」に基づき地下水採取規制を行っているが、対象事業計画地は地下水採取規制地域の対象外である。

表4-1 主要な河川

種別	河川名	総延長(m)
一級河川	広瀬川	40,035
	大倉川	19,636
	芋沢川	8,000
	青下川	7,600
	斎勝川	7,409
準用河川	赤坂川	7,800
	蒲沢川	3,400
	堀切川	2,315
	白沢川	2,210
普通河川	大栗沢川	—
	不動沢	—
	大滝沢	—

出典：「宮城県河川・海岸図」（平成29年3月、宮城県）

注）普通河川は出典に記載がないため、地形図から読み取った。



対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

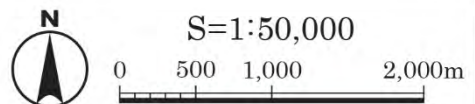
凡例

- : 対象事業計画地
- : 既設処分場(第1期～第4期)
- : 区界
- : 一級河川
- : 準用河川
- : 普通河川
- : 湖沼(主要な湖沼のみ名称記載)

出典：「宮城県河川・海岸図」（平成29年4月、宮城県）

注）普通河川（大栗沢川、不動沢及び大滝沢）は、地形図を読み取り作成した。

図4-1 水象の状況



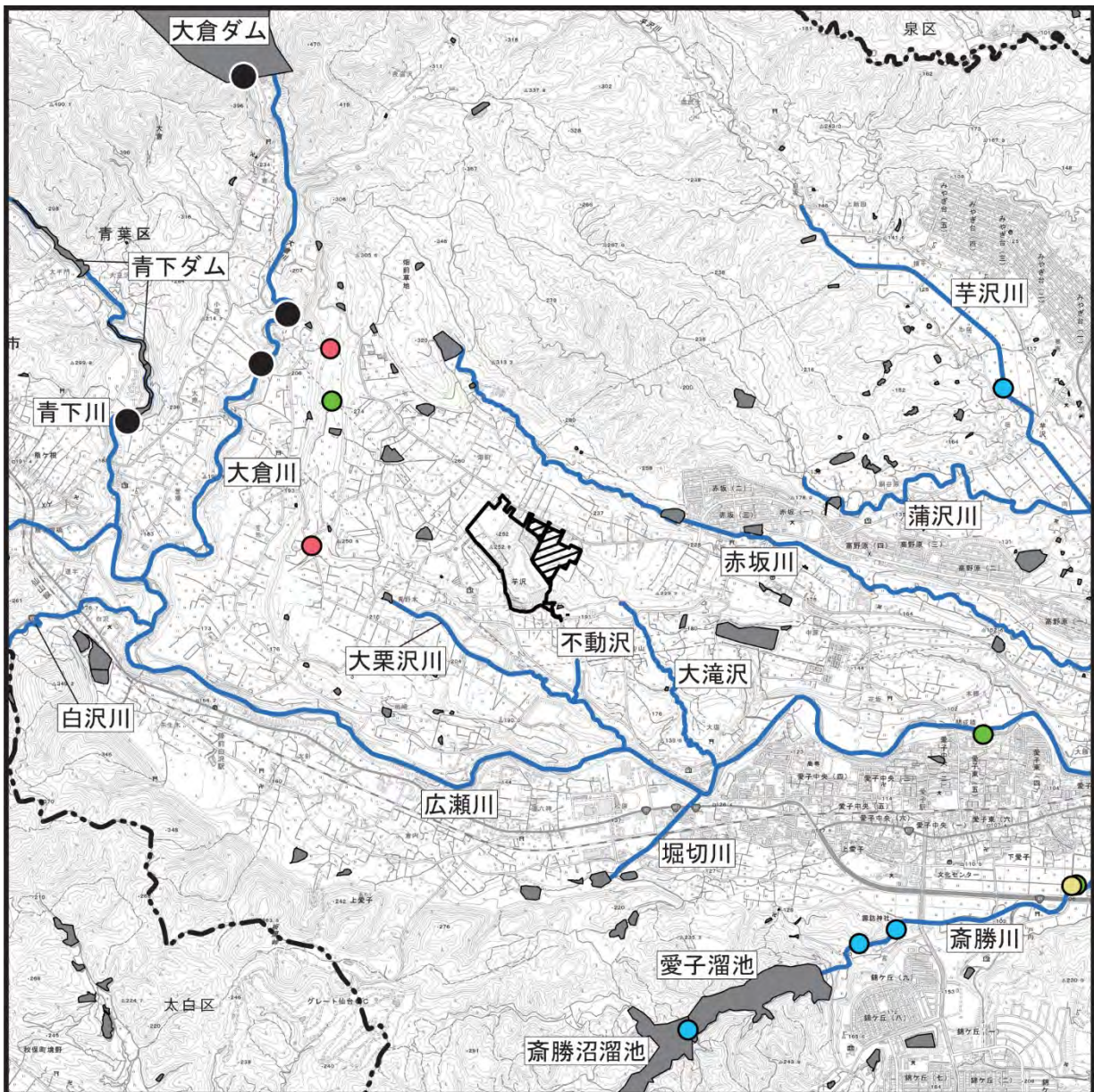
(1) 水源地

調査範囲における取水施設は、図4-2に示すとおりである。

仙台市における上水は、宮床ダム、七北田ダム、釜房ダムなどの6ヶ所のダム、大倉川、熊沢、元木沢の3河川、滝原水源、野尻水源の2ヶ所の湧水を水源とし、取水している。











調査範囲には、水源となる大倉ダムと青下ダム、大倉川がある。

また、調査範囲では、広瀬川、斎勝川及び芋沢川に農業用の堰・揚水機場等が設置されている。



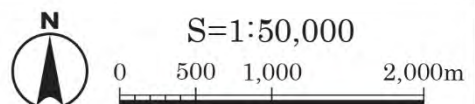
対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

凡例

- | | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
|  | : 対象事業計画地 |  | : 既設処分場(第1期~第4期) |
|  | : 区界 |  | : ゲート |
|  | : 河川 |  | : 分水堰 |
|  | : 湖沼(主要な湖沼のみ名称記載) |  | : 取水堰 |
|  | : 浄水場の取水口 |  | : 揚水機場 |

出典: 「宮城県河川・海岸図」(平成29年4月、宮城県)
「令和2年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(令和3年3月、仙台市)
注) 大栗沢川、不動沢及び大滝沢は、地形図を読み取り作成した。

図4-2 河川取水施設図



(2) 湧水

「令和2年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(令和3年3月、仙台市)によれば、仙台市内において12箇所の湧水が確認されており、このうち11箇所の現存が確認されている。なお、調査範囲に湧水はない。

(3) 自然性の高い水辺地

調査範囲における自然性の高い水辺地としては、図4-14に示すヨシクラス等の植生自然度の高い植生が広瀬川及び大倉川河畔に分布している。

4.2 地形・地質

(1) 地形

調査範囲の地形の状況は、図4-3に示すとおりである。

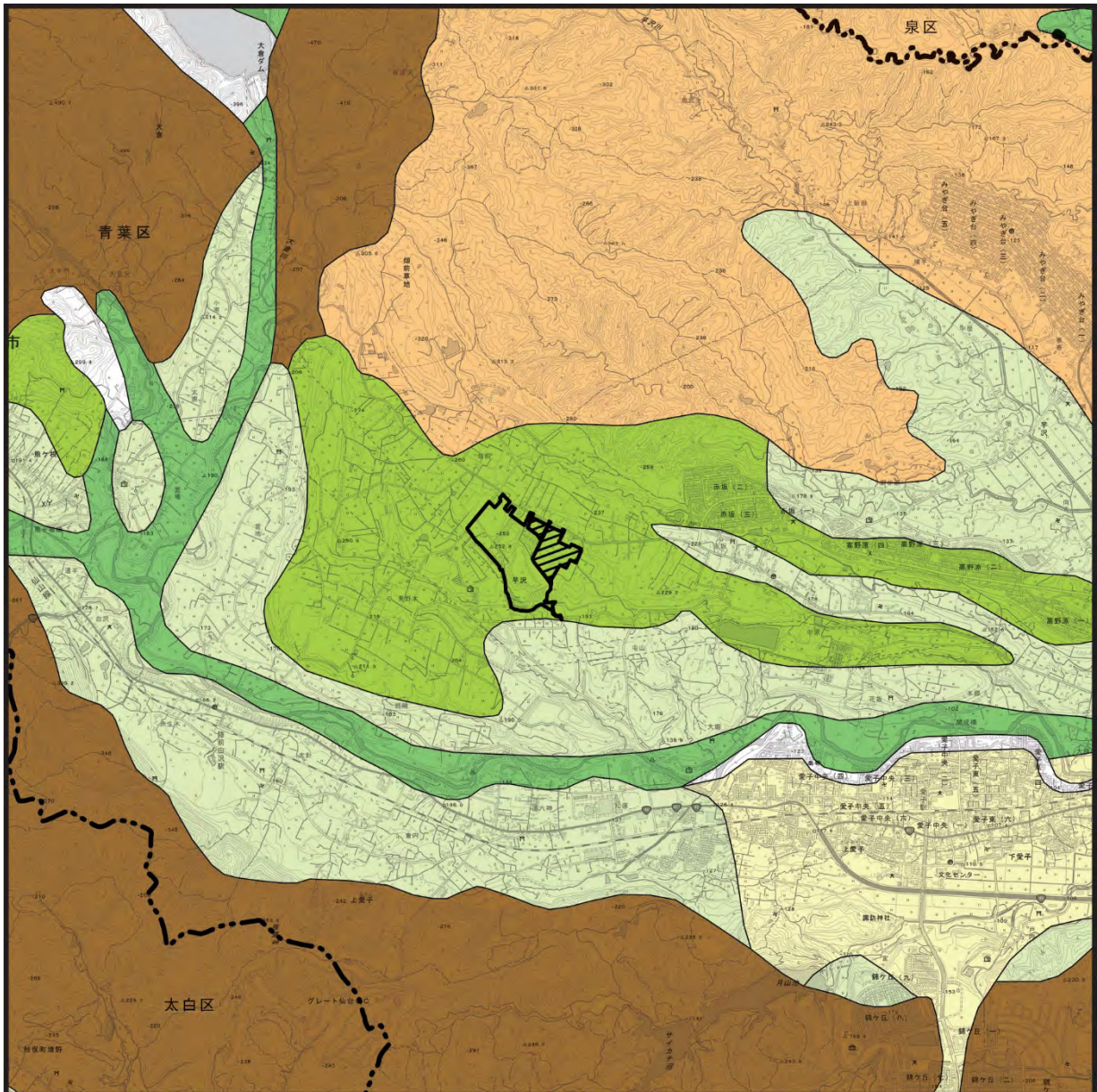
仙台市の地形は、西部の奥羽山脈東麓に沿って広がる陸前丘陵、中央部を西から東に流下する七北田川、広瀬川、名取川の各河川沿いに発達する河岸段丘、東部の仙台湾に沿って広がる沖積平野に大別され、西側から東側に移行するにつれて標高が低くなっている。

対象事業計画地は、広瀬川沿いの砂礫台地、段丘（上位面）に位置している。

(2) 地質


調査範囲の地質の状況は、図4-4に示すとおりである。


調査範囲には未固結堆積物が広く分布している。対象事業計画地は、ほぼ未固結堆積物の砂・礫（河岸段丘堆積物）が分布する。




対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。


凡例


 : 対象事業計画地

 : 既設処分場(第1期～第4期)


 : 区界


丘陵地


 : 大起伏丘陵地

 : 小起伏丘陵地

台地, 段丘

 : 砂礫台地, 段丘(上位面)

 : 砂礫台地, 段丘(中位面)

 : 砂礫台地, 段丘(下位面)

低地

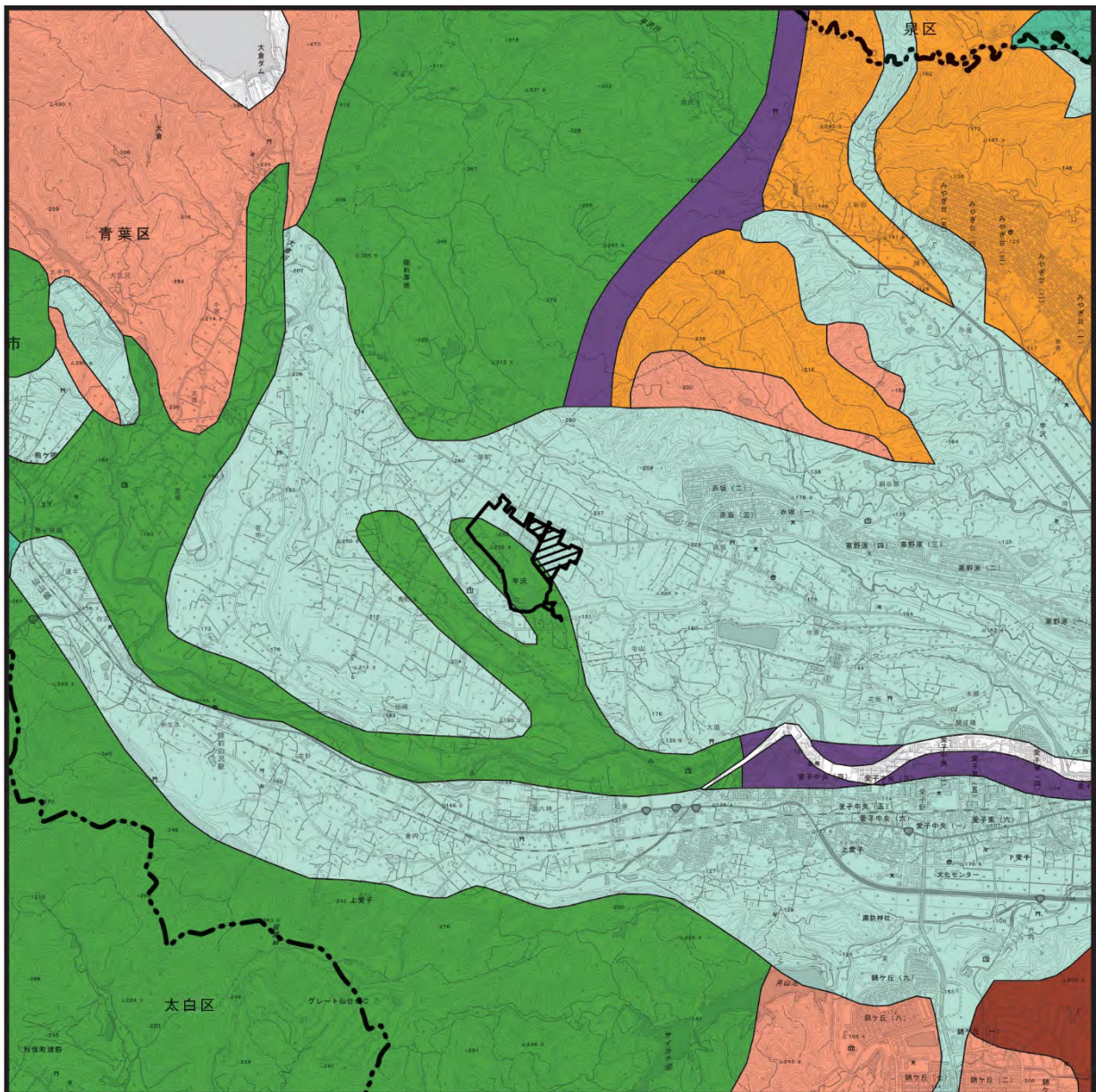
 : 扇状地性低地

出典：「20万分の1土地分類基本調査」(令和4年4月閲覧、国土数値情報ダウンロードサービスホームページ)

図4-3 地形分類図





S=1:50,000
0 500 1,000 2,000m




対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。


凡例


 : 対象事業計画地

 : 既設処分場(第1期～第4期)

 : 区界

未固結堆積物


 : 泥・砂・礫(沖積堆積物)

 : 砂・礫(河岸段丘堆積物)


半固結～固結堆積物


 : 泥岩

 : 砂岩

 : 凝灰岩泥岩互層

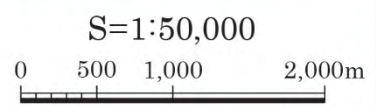
火山性岩石

 : 集塊岩凝灰岩礫岩

 : 凝灰岩質岩石

出典：「20万分の1土地分類基本調査」(令和4年4月閲覧、国土数値情報ダウンロードサービスホームページ)

図4-4 表層地質図



(3) 注目すべき地形・地質

調査範囲における注目すべき地形・地質は、表4-2及び図4-5に示すとおりである。

対象事業計画地の南側約300mに河岸段丘及び段丘崖である愛子盆地の広瀬川左岸一帯があり、東側約700mに活断層地形である愛子が広がっている。なお、対象事業計画地に注目すべき地形・地質はない。

表4-2 注目すべき地形及び地質

番号	地域区分	名称	出典			備考
			1	2	3	
1	西部丘陵地・田園	蕃山丘陵	○	○		丘陵地形の典型例で学術上重要、かつ動植物の重要な生育地
2		月山池・サイカチ沼	○			丘陵地内の湖沼景観
3		愛子	○		○	活断層地形
4		愛子盆地の広瀬川左岸一帯	○			河岸段丘及び段丘崖
5		白沢（熊ヶ根）	○			古仙台湖の湖底付近である。湖成層の白沢層のうち、凝灰質シルト岩や軽石混細粒凝灰岩等の地層や、級化層理などの独特の構造がみられる。

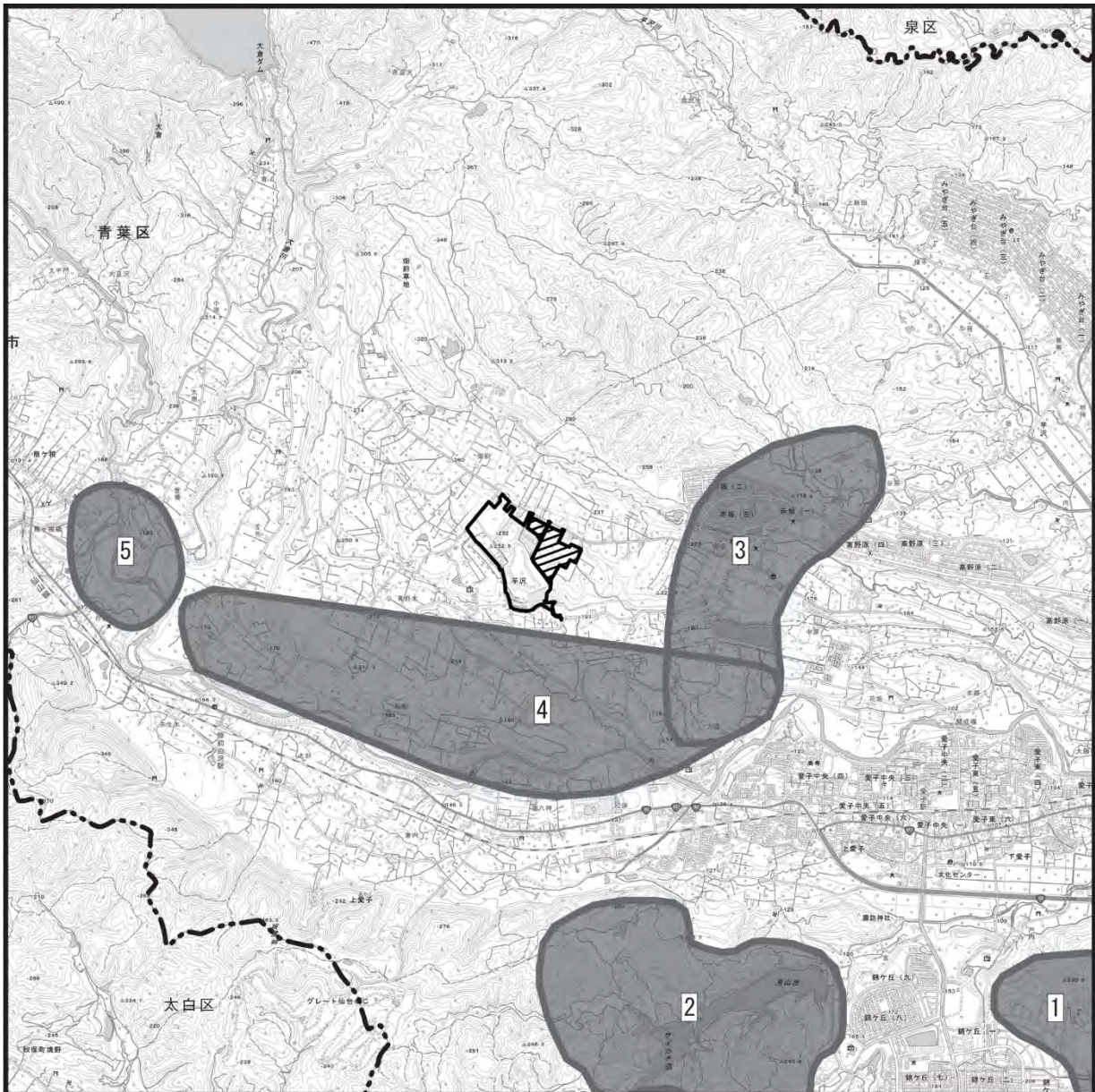
注) 表中の番号は、図4-5に対応する。

出典1：「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）

出典2：「日本の地形レッドデータブック第1集」





（平成12年12月、日本の地形レッドデータブック作成委員会）

出典3：「日本の典型地形 都道府県別一覧」（令和4年4月閲覧、国土地理院ホームページ）



対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

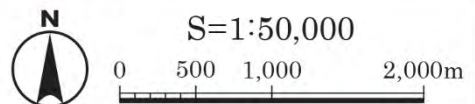
凡例

-  : 対象事業計画地
-  : 既設処分場(第1期～第4期)
-  : 区界
-  : 注目すべき地形及び地質(1～5)

注) 図中の番号は、表 4-2 に対応する。

出典: 「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)
 「日本の地形レッドデータブック第1集」(平成12年12月、日本の地形レッドデータブック作成委員会)
 「日本の典型地形 都道府県別一覧」(令和4年4月閲覧、国土地理院ホームページ)

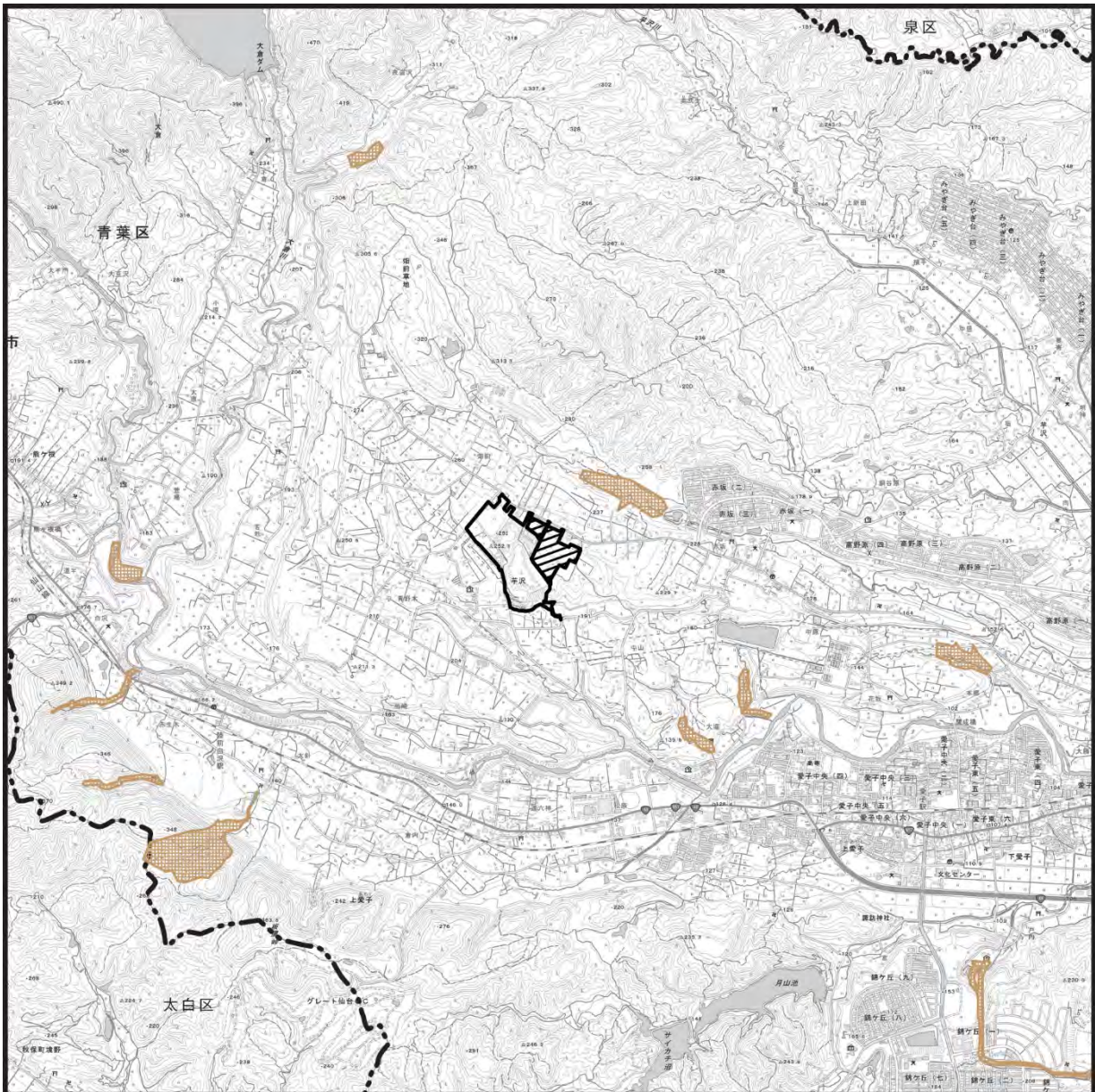
図4-5 注目すべき地形及び地質



(4) 災害の危険箇所

調査範囲における災害の危険箇所は、図4-6～図4-8に示すとおりである。

調査範囲には、丘陵地と台地の境界に沿って土石流危険区域及び土砂災害警戒区域（土石流）等が点在している。なお、対象事業計画地に災害の危険箇所はない。



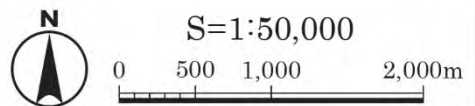
対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

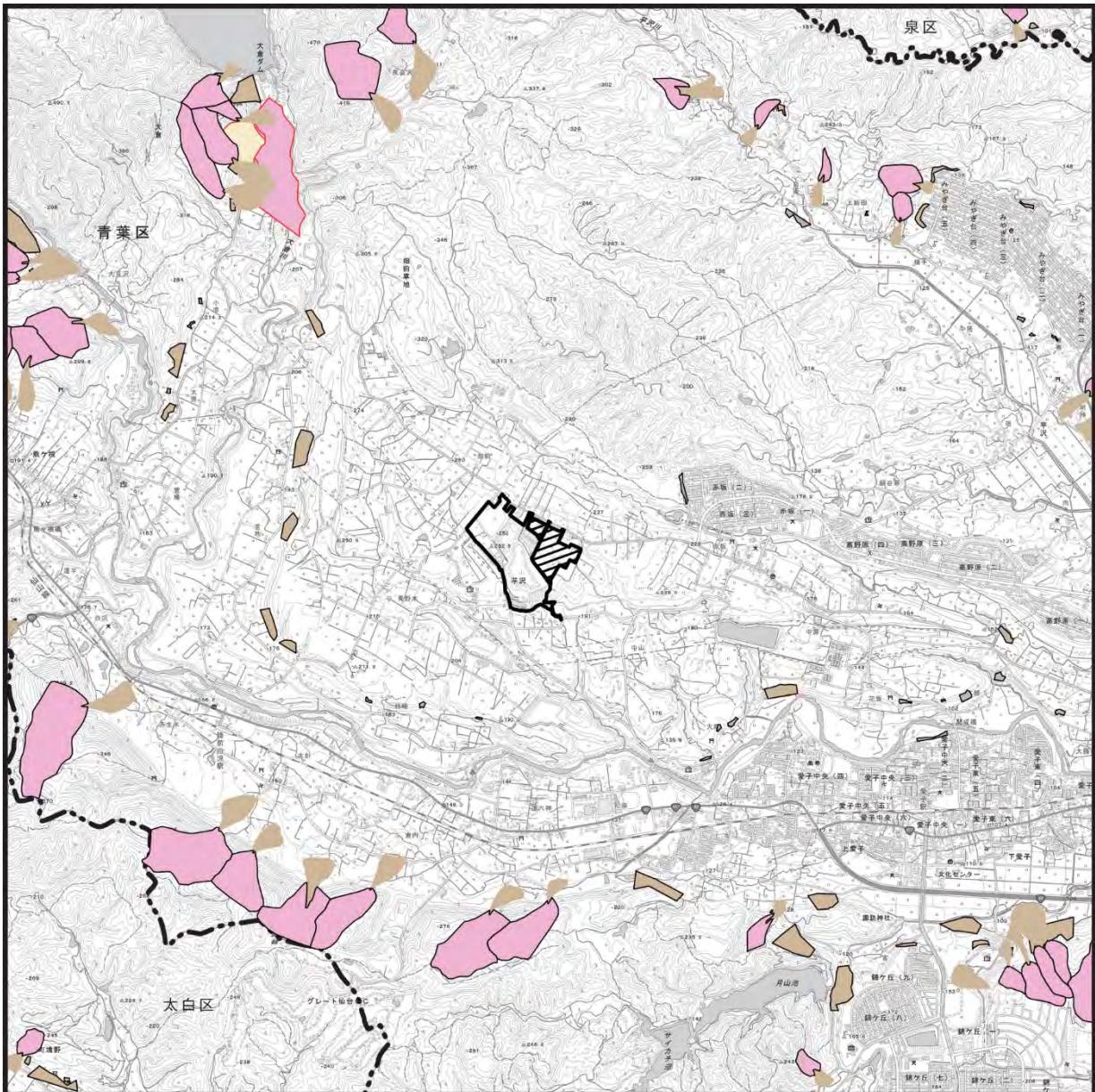
凡例

- : 対象事業計画地
- : 既設処分場(第1期～第4期)
- : 区界
- : 砂防指定地

出典：「せんだいくらしのマップ」（令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ）

図4-6 土砂三法指定区域





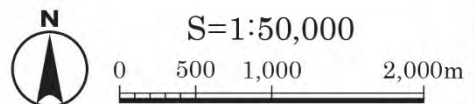
対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

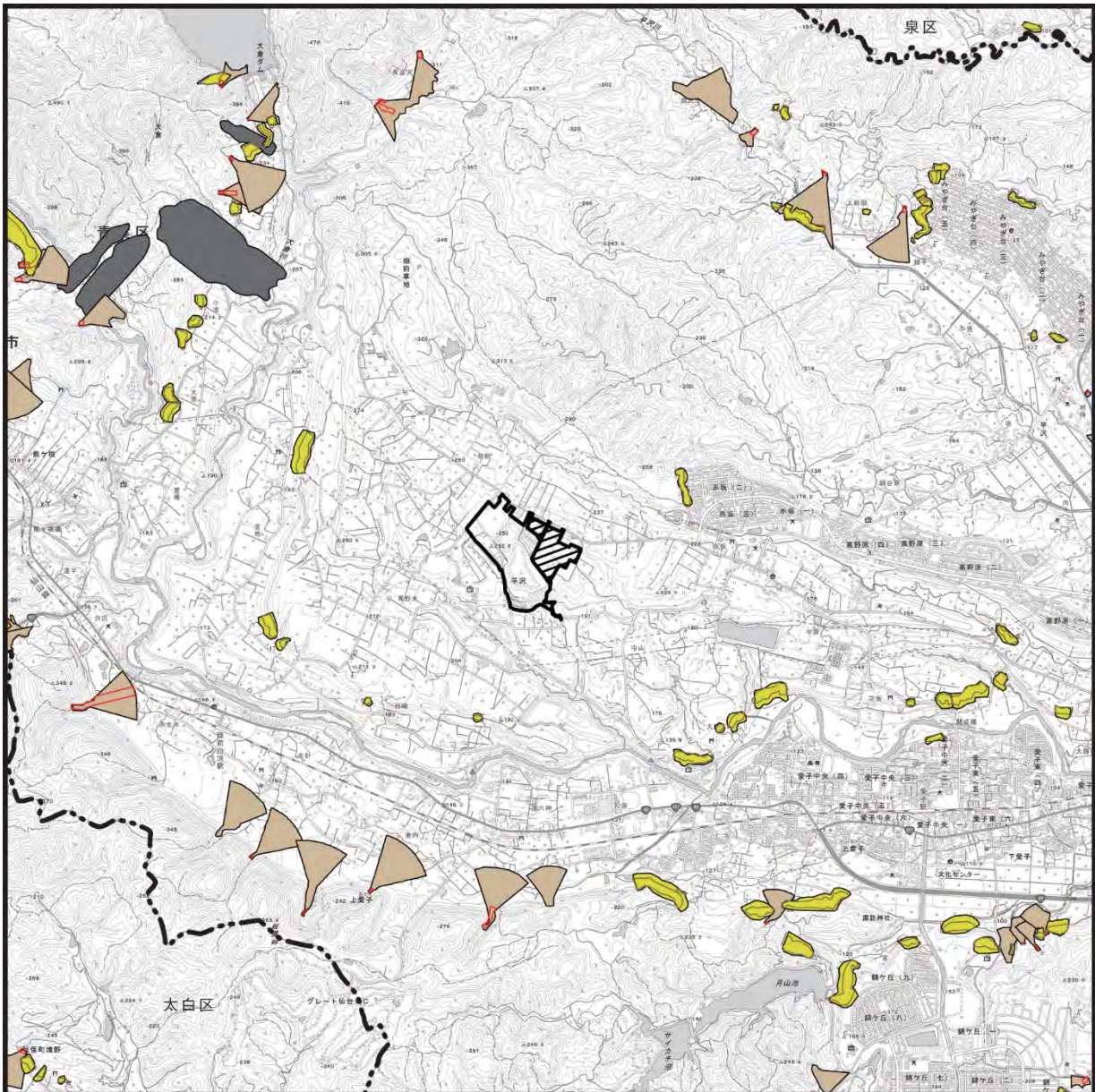
凡例

- : 対象事業計画地
- : 既設処分場(第1期～第4期)
- : 区界
- : 土石流危険渓流
- : 土石流危険区域
- : 地すべり危険箇所
- : 移動土塊の到達範囲
- : 急傾斜地崩壊危険箇所

出典：「せんだい暮らしのマップ」（令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ）

図4-7 土砂災害危険箇所





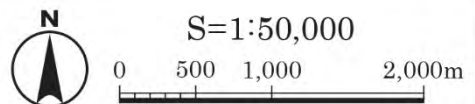
対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

凡例

- : 対象事業計画地
- : 既設処分場(第1期～第4期)
- : 区界
- : 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- : 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- : 土砂災害警戒区域(土石流)
- : 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- : 土砂災害警戒区域(地すべり)

出典：「せんだい暮らしのマップ」(令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ)

図4-8 土砂災害警戒区域等



4.3 植物

(1) 注目すべき植物種の状況

仙台市は、海岸から奥羽脊梁山脈まで市域が広がっており、丘陵地帯は暖温帯と冷温帯の間に位置する中間温帯と呼ばれる領域で、しかもその領域が広い面積を占めることが特徴である。この領域ではモミーイヌブナ林の発達が見られ、暖地系の植物、寒地系の植物の両方が見られるなど、植物相は非常に多様である。

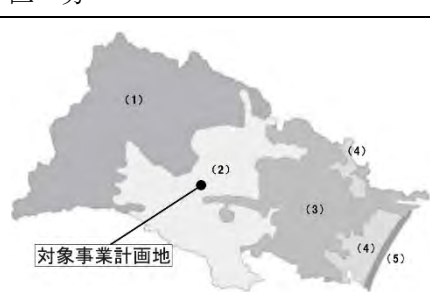
調査範囲内における注目すべき植物種の状況は、「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）において、「保全上重要な種」に挙げられている種のうち、対象事業計画地が「西部丘陵地・田園地域」に位置し、調査範囲内に「山地地域」及び「市街地地域」を含んでいることから、該当する地域区分である「西部丘陵地・田園地域」、「山地地域」及び「市街地地域」（表4-3参照）における減少種を「注目すべき植物種」として抽出した。また、既設処分場増設時に産業廃棄物処理施設変更許可申請に伴い自然環境影響調査を実施しており、「第3期調査（平成23年～平成24年）」

（図4-9参照）及び「第4期調査（平成27年～平成28年）」（図4-10参照）における現地調査で確認された種についても合わせて整理し、抽出した。なお、国及び宮城県のレッドデータ等については、最新のもの（令和4年4月現在）に基づきカテゴリーの再整理を行った。

調査範囲内における注目すべき植物種は表4-5～表4-12に示すとおりであり、確認された種数は323種であり、うち環境省レッドリスト種は78種、県レッドリスト種は199種である。

表4-3 注目すべき種（減少種）の地域区分

番号	地域区分
(1)	山地地域
(2)	西部丘陵地・田園地域
(3)	市街地地域
(4)	東部田園地域
(5)	海浜地域（後背の樹林帯も含む）



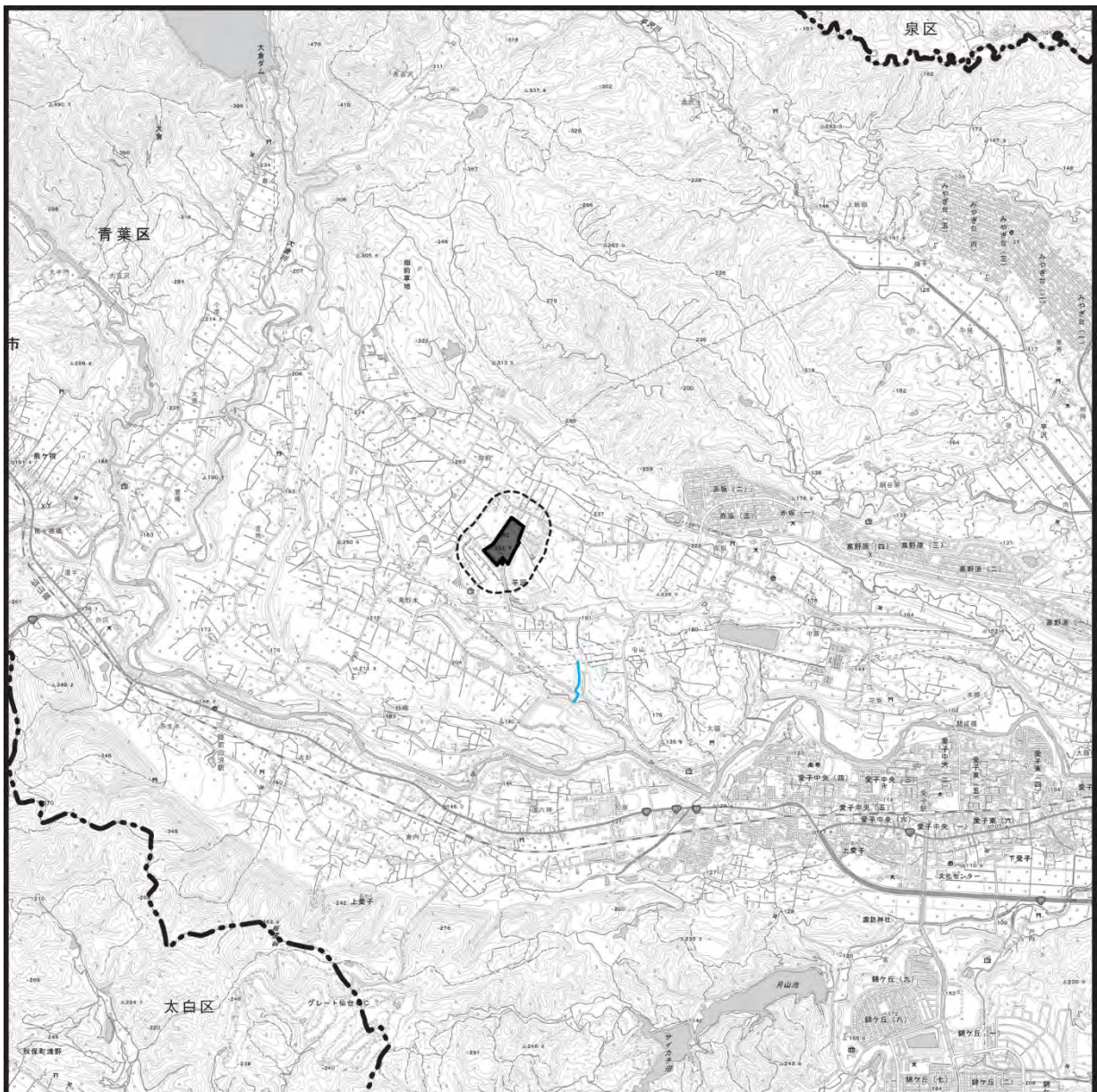
※対象事業計画地は「(2) 西部丘陵地・田園地域」に位置している。

出典：「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）

表4-4 保全上重要な植物種

判断基準		番号・記号	説明	
仙台市における保全上重要な種の区分	学術上重要種	1	仙台市において、もともと稀産あるいは希少である種。あるいは生息地・生育地がごく限られている種。	
		2	仙台市周辺地域が分布の北限、南限等の分布限界となっている種。	
		3	仙台市が模式産地（タイプロカリティ）となっている種	
		4	1、2、3には該当しないが、各分類群において、注目に値すると考えられる種（継続的に観察・研究されている個体群が存在する種など）。	
	注目種	減少種	EX	絶滅。過去に仙台市に生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、仙台市では既に絶滅したと考えられる種。
			EW	野生絶滅。過去に仙台市に生息していたことが確認されており、飼育・栽培下では存続しているが、野生ではすでに絶滅したと考えられる種。
			A	現在ほとんど見ることができない。あるいは近い将来ほとんど見ることができなくなるおそれのある種。
			B	減少が著しい。あるいは近い将来著しい減少のおそれがある種。
			C	減少している、あるいは存続基盤が脆弱で、生息・生育条件の変化によっては上位ランクに移行する要素を有する種。
			+	普通に見られる。あるいは近い将来減少のおそれがある種。
	環境指標種	○	／	もともと生息・生育しない可能性が非常に大きい。
			○	本市の各環境分類における環境を指標する種。（ビオトープやミティゲーションにおける計画・評価のための指標）
	レッドデータ等	国 RL（「環境省レッドリスト 2020」（令和2年3月、環境省）掲載種）	EX	絶滅
EW			野生絶滅	
CR+EN			絶滅危惧Ⅰ類	
CR			絶滅危惧ⅠA類	
EN			絶滅危惧ⅠB類	
VU			絶滅危惧Ⅱ類	
NT			準絶滅危惧	
DD			情報不足	
LP			絶滅のおそれのある地域個体群	
県 RL（「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト 2022年版-」（2022年3月、宮城県）掲載種）		EX	絶滅	
		EW	野生絶滅	
		CR+EN	絶滅危惧Ⅰ類	
		VU	絶滅危惧Ⅱ類	
		NT	準絶滅危惧	
		DD	情報不足	
要		要注目種		
天記、種保存法		特天	『文化財保護法』（昭和25年法律第214号）における特別天然記念物	
		天	『文化財保護法』（昭和25年法律第214号）における天然記念物	
	国内	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成4年法律第75号）における国内希少野生動植物		
	国際	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成4年法律第75号）における国際希少野生動植物		

出典：「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）



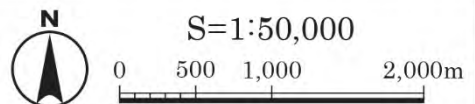
凡例

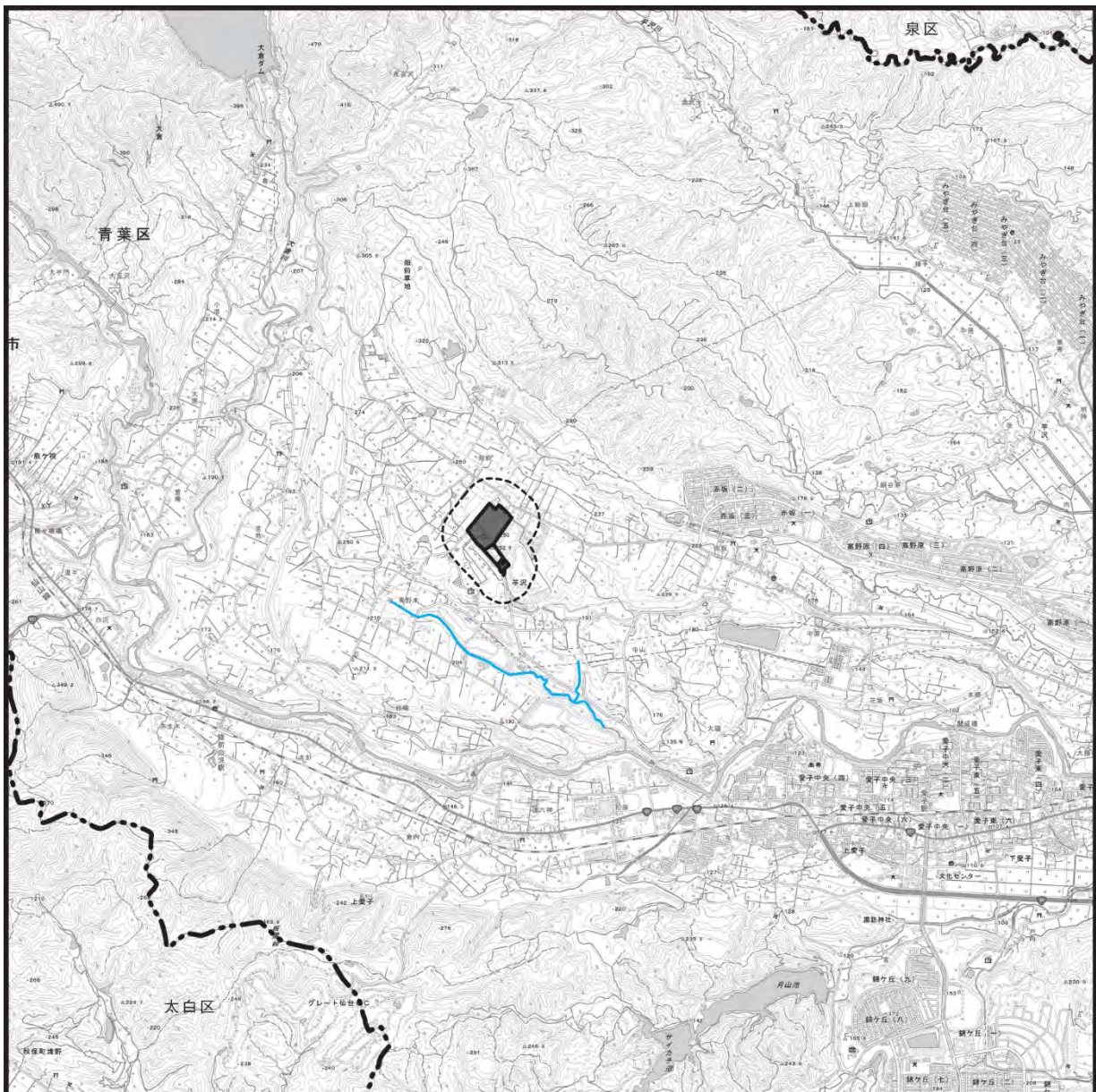
- : 対象事業計画地(第3期)
- : 区界
- : 調査範囲(対象事業計画地より200m)
- : 魚類・底生動物調査位置

出典：「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第3期)環境影響調査報告書」

(平成24年11月、仙台環境開発株式会社)

図4-9 第3期調査における調査範囲





凡例

- : 対象事業計画地(第4期)
- : 区界
- : 調査範囲(対象事業計画地より200m)
- : 魚類・底生動物 調査対象河川(調査範囲は200m程度)

出典：「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第4期)自然環境影響調査報告書」
(平成29年2月、仙台環境開発株式会社)

図4-10 第4期調査における調査範囲

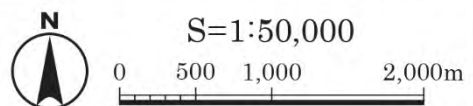


表4-5 注目すべき植物種(1/8)

No.	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等		
			第3期	第4期	学術上重要種	減少種					環境指標種	国R L	県R L	天記・種保存法
						山地	地・田園 西部丘陵	市街地	東部田園	海浜				
1	イワヒバ	イワヒバ			1	B	B				○			
2	ミスニラ	ミスニラ			1		B		A			NT	NT	
3	トクサ	イヌスキナ					B		B					
4	ゼンマイ	ヤシヤゼンマイ			1	C	C						NT	
5	コケシノブ	ホソバコケシノブ				B	B						NT	
6	サンショウモ	サンショウモ			1			EX	A	A		VU	NT	
7	イノモトソウ	オオバノイノモトソウ			1, 2		B	C	C					
8	チャセンシダ	コタニワタリ					B							
9	ヒメシダ	ヒメワラビ	●		2		B	B	B					
10	コウヤワラビ	イヌカシノク	●	●			C		C					
11		クサソテツ	●	●			B		C					
12	メンタ	ホソバヌワラビ					C						NT	
13		ヒロハイヌワラビ			2			A					CR+EN	
14	オシダ	リュウメンシダ	●	●			B				○			
15		オシダ	●	●			B							
16		ニオイシダ			1, 4	B							VU	
17		イワシロイノテ	●	●			B							
18		サカケイノテ	●	●			B							
19		シユウモンシダ	●	●			B				○			
20	ウラボシ	ヒメサンラン			1	B							VU	
21		エゾテントウ				B							VU	
22		イワオモダカ			1	B							VU	
23	マツ	モミ	●	●			C				○			
24		キタコヨウ			4	B								
25		ハイマツ			1, 4	C					○			
26	イチイ	カヤ					B							
27	マツフサ	チョウセンコシ					A						CR+EN	
28	ウマノスズクサ	ウマノスズクサ						C	C				NT	
29		トウコクサイシン					B				○			
30	クスノキ	ヤマコウハシ			1, 2		B							
31		シロタモ	●	●	2		+		+	+	○			
32	サトイモ	ミスバショウ					B				○			
33		ヒメザンソウ					B		C					
34	オモダカ	ヘラオモダカ		●			C		B		○			
35		サジオモダカ					C		B		○		NT	
36		アキノシ					C		B		○	NT	VU	
37		ウリカワ					A		A		○		NT	
38		オモダカ	●	●			C		B		○			
39		ホソバオモダカ					C		B		○			
40	トチカガミ	クロモ					B		A		○			
41		イトトリゲモ			1		B		A			NT	NT	
42		ホッスモ				B							VU	
43		トリゲモ			1		B		A			VU	CR+EN	
44		ミスオオハコ			1		B		B			VU	VU	
45	ヒルムシロ	イトモ			1		C		B			NT	NT	

表4-6 注目すべき植物種 (2/8)

No.	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等		
			第3期	第4期	学術上重要な種	減少種					環境指標種	国R L	県R L	天記・種保存法
						山地	地・田園 西部丘陵	市街地	東部田園	海浜				
46	ヒルムシロ	エビ ^モ					B		B		○			
47		コハ ^ノ ヒルムシロ					C		B		○	VU	VU	
48		ヒルムシロ		●			C		B		○			
49		フトヒルムシロ					C		B		○			
50		カモガ ^ワ モ					C		B		○			
51		センニンモ					C		B		○		VU	
52		オヒルムシロ					C		B		○			
53		ホソバ ^{ミズ} ヒキモ					C		B		○		VU	
54		シュロソウ	ショウシ ^{ヨウ} ハ ^カ マ					B				○		
55	サルトリイバラ	マルバ ^{サン} キライ					A						VU	
56	ユリ	カタクリ	●	●			B	B	B					
57		コオニユリ					B		B	B				
58		ミヤマスカシユリ			1	A		B				EN	VU	
59	ラン	コアエチドリ			1	A						VU	CR+EN	
60		エビ ^ネ			1		A					NT	VU	
61		キンセイラン			1		B					VU	CR+EN	
62		サルメンエビ ^ネ			1		B					VU	CR+EN	
63		ユウシュラン			1		B					VU	NT	
64		キンラン			1	B	B					VU	VU	
65		シュラン		●	●			C		C		○		
66		コアツモリソウ			1		B						NT	VU
67		クマガ ^イ ソウ			1	B	A						VU	CR+EN
68		アツモリソウ			1		A						VU	CR+EN
69		セッコク			1	EX	EX							CR+EN
70		アオス ^ラ ン			1		A							VU
71		カモメラン			1	B							NT	CR+EN
72		オノエラン			1	B								
73		マツラン			1		B			B			VU	CR+EN
74		シロテンマ					A	A					CR	CR+EN
75		オオミス ^ト ンボ ^ホ			1		B						EN	CR+EN
76		ミス ^ト ンボ ^ホ			1		A		B				VU	CR+EN
77		キ ^ホ ウシラン			1	C							EN	CR+EN
78		ジ ^ガ ハ ^チ ソウ					C							NT
79		クモキリソウ			1, 4		B			B				
80		ノヒ ^ネ チドリ					B							VU
81		コフタバ ^ラ ン					A							CR+EN
82		タンザ ^ワ サカネラン			1		A	A					EN	CR+EN
83		サカネラン			1	A							VU	CR+EN
84		ミヤマモシ ^ズ リ			1	B								CR+EN
85		ヒナチドリ			1		A						VU	CR+EN
86	サキ ^ソ ウ			1	B	A						NT	CR+EN	
87	ミス ^チ ドリ					B	B						VU	
88	ツレサキ ^ソ ウ					B	B		A				VU	
89	ヤマサキ ^ソ ウ					B							VU	
90		オオハ ^ノ トンボ ^ソ ウ					B						VU	

表4-7 注目すべき植物種 (3/8)

No.	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等			
			第3期	第4期	学術上重要な種	減少種					環境指標種	国R L	県R L	天記・種保存法	
						山地	地・田園 西部丘陵	市街地	東部田園	海浜					
91	ラン	トキソウ			1		A					NT	VU		
92		ヤマトキソウ					A	A					CR+EN		
93		ウチョウラン			1	B	A					VU	CR+EN		
94		ネジハバナ	●	●			B		B		○				
95		カヤテン			1		B			B			VU		
96		ヒトツボクロ				C	C	C	C	C			NT		
97		ショウキラン			1	B							CR+EN		
98	キンハゲイザサ	コキンハゲイザサ			1, 2			EX					EX		
99	アヤメ	ノハナショウブ			1		C				○				
100		ヒメシヤガ					B	B			○	NT	NT		
101		カキツバタ			1		B		A			NT	VU		
102		アヤメ					C			C			NT		
103	ススキノキ	ゼンテイカ					B	B	B						
104	ヒガンバナ	ヤマラッキョウ							B				VU		
105	クサスギカスラ	スズラン					B						VU		
106		ヒメヤブラン					C			+	○				
107		ユキザサ					C					○			
108		オオハシヤノヒゲ	●	●			B			C					
109	ガマ	ミクリ			1		B		B		○	NT	NT		
110		ヤマトミクリ			1		A		A			NT	CR+EN		
111		タマミクリ			1	A						NT	CR+EN		
112		ナガエミクリ			1		A		A			NT	NT		
113		ヒメミクリ			1		B					VU	VU		
114		ヒメガマ					C	C	C						
115		ガマ	●	●			C	C	C		○				
116	ホシクサ	ホシクサ			1	C							NT		
117	カヤツリクサ	サナキスゲ					A						CR+EN		
118		ハコネイトスゲ					A						CR+EN		
119		オオカサスゲ					B	B							
120		ツルカミカワスゲ					C						NT		
121		オニナルコスゲ					C				C				
122		タチヒメクサ						B						VU	
123		オオシロカヤツリ					C							NT	
124		サギスゲ					C	C						NT	
125		カンカレイ						B		B					
126		オオフトイ						C							
127		フトイ						B		B					
128		サンカクイ						B		B					
129		ノグサ						B						VU	
130		コシンシユカヤ						B	B					VU	
131	イネ	ヒメコマカサ				C	C	C				NT	NT		
132		ヤマアリ	●	●			B			B					
133		フサカヤ					B						VU		
134		ヒナザサ						B	B			NT	VU		
135		カゼクサ	●	●			B	C	C		○				

表4-8 注目すべき植物種(4/8)

No.	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等		
			第3期	第4期	学術上重要種	減少種					環境指標種	国R/L	県R/L	天記・種保存法
						山地	地・田園 西部丘陵	市街地	東部田園	海浜				
136	イネ	オウシノケグサ			4		B		B	C	○			
137		ウキカヤ							C	C				NT
138		オキ						C	C	C	C	○		
139		ヨシ		●				C	C	C	C	○		
140		ツルヨシ						C	C	C		○		
141		タチイチコツナギ					B	B	B				EN	VU
142		スズダケ						C				○		
143		ケスズ			1			B						
144		ヒメスズダケ						C						NT
145		ヒゲシハ					C	C	C					NT
146		マコモ						B		B		○		
147		シハ						B	B	B		○		
148		ケン	ナガミノツルケマン			1		C					NT	NT
149			ヤマブキノソ			1			B					
150	キンポウゲ	センウスモトキ					C	C				VU	NT	
151		ウゼントリカブト					B	B					VU	VU
152		フクジュソウ			1			B						VU
153		ニリンソウ						B		B		○		
154		キクザキイチゲ		●				C	B		B		○	
155		レンゲショウマ			1			B						NT
156		カサタケ			1			B		B			NT	VU
157		トウゴクサハノオ			1			B						NT
158		シラネアオイ					B	B				○		NT
159		スハマソウ						B						NT
160		オキナグサ			1			A					VU	CR+EN
161		ハエカモ			1			B						NT
162		ホトタン	ヤマシャクヤク			1	B	B					NT	VU
163			ハニハナヤマシャクヤク			1	A	A					VU	VU
164	ユズリハ	ユズリハ			1, 2		C		C	C				
165	スクリ	ザリコミ			1	A							CR+EN	
166	ユキノシタ	トリアシショウマ					C	B		B				
167		シコタンソウ			1		A						CR+EN	
168		ユキノシタ		●				B	B					
169	ペンケイソウ	ミヤママンネングサ					B						VU	
170	タコノアシ	タコノアシ					B		C			NT	NT	
171	マメ	タヌキマメ							EX				CR+EN	
172		イワオウキ					A						NT	
173		エゾノレンソウ					C	C	C	C	C			NT
174		レンソウ						B	B	B	B			VU
175		ツクシハギ						B		B		○		
176		トキリマメ						C						NT
177		ニレ	オヒヨウ					C						
178	ケヤキ		●	●				C	C	B	B		○	
179	アサ	エノキ			4		B	B	B					
180	イラクサ	マルハヤブマオ			1		B						VU	

表4-9 注目すべき植物種 (5/8)

No.	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等		
			第3期	第4期	学術上重要種	減少種					環境指標種	国R L	県R L	天記・種保存法
						山地	地・田園 西部丘陵	市街地	東部田園	海浜				
181	イラクサ	トキホコリ			1		B	B				VU	VU	
182		タチケ ^レ ヒカケ ^レ ミス ^レ			2	A						VU	CR+EN	
183	ハ ^レ ラ	サ ^レ イフリホ ^レ ク			1		B							
184		カスミサ ^レ クラ	●	●			C				○			
185		ミヤマサ ^レ クラ				A							CR+EN	
186		ヤマブ ^レ キ					C				○			
187		ヒロハノカワラサイコ					B					VU	NT	
188		エチコ ^レ キシ ^レ ムシロ				B	B						YO	
189		タカネハ ^レ ラ				C							NT	
190		ハマナス			4	/	/	/	/	B	○		NT	
191		ヒメコ ^レ ヨウイチコ ^レ				B							VU	
192		サナギ ^レ イチコ ^レ					B					VU	NT	
193	フ ^レ ナ	フ ^レ ナ			4	C	B							
194		イヌフ ^レ ナ	●		1, 4		B				○			
195		アカカ ^レ シ			2		C	C	C	C	○			
196		ミス ^レ ナラ				C	B							
197		アラカシ			1, 2		C						YO	
198		シラカシ			2		C	C	C	/	○			
199		ウラジ ^レ ロカシ			2		C	C	C	/				
200	クルミ	オ ^レ グ ^レ ルミ	●	●			B	B	B		○			
201	カバ ^レ ノキ	ハンノキ			1, 4		C			B	C	○		
202		ネコシテ ^レ				C							NT	
203		ミス ^レ メ				C	C							
204		ウダ ^レ イカシハ			4	C	C							
205		サワシハ ^レ		●		C	B				○			
206		アカシテ ^レ	●	●		C	B			/	○			
207		イヌシテ ^レ	●	●	4	C	B			C	○			
208	トウタ ^レ イグ ^レ サ	マルミノウルシ					B					NT	VU	
209	ヤナギ ^レ	トカチヤナギ ^レ			1	B							NT	
210		ネコヤナギ ^レ	●		4		C	C			○			
211		シライヤナギ ^レ			1			B					VU	
212		キツネヤナギ ^レ	●				C				○			
213	スミレ	キハ ^レ ナノコマノツメ				A							VU	
214		ヒゴ ^レ スミレ				A							CR+EN	
215		サクラスミレ			1		B							
216		ナカ ^レ ハシスミレ	●		1		B		B					
217		フモトスミレ			1		B						VU	
218	オトキ ^レ リソウ	オシマオトキ ^レ リ				B	B						VU	
219	フウロソウ	コフウロ			1	A							NT	
220	ミソハギ ^レ	ヒメヒ ^レ シ					A					VU	CR+EN	
221		ヒシ					B		B		○			
222	アカハ ^レ ナ	ウスゲ ^レ ヤナギ ^レ ラン				A							CR+EN	
223	ムクロシ ^レ	ヤマモミシ ^レ	●	●			B				○			
224		ハウチワカエテ ^レ					C							
225		メグ ^レ スリノキ		●	1		B							

表4-10 注目すべき植物種(6/8)

No.	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等			
			第3期	第4期	学術上重要な種	減少種					環境指標種	国R/L	県R/L	天記・種保存法	
						山地	地・西部丘陵園	市街地	東部田園	海浜					
226	ムクロジ	イタヤカエデ(広義)	●	●			C								
227		ウリハダカエデ		●			C								
228		トチノキ	●	●		C	C								
229	ミカン	ミヤマシキミ			1		C			C					
230	アオイ	カラスノコマ			1		A						NT		
231	アブラナ	ナスナ	●	●			B	B	B		○				
232		エゾハタザオ							C				NT		
233		ハタザオ						B	B	B				VU	
234	タデ	ムカゴトランオ				A							NT		
235		ヌカホタデ						C	C	C		VU	NT		
236		ミゾソバ	●	●			C	B	C		○				
237		ノダイオウ			1, 4		C		C				VU	NT	
238		マダイオウ					A							CR+EN	
239	モウセンゴケ	モウセンゴケ					C			C					
240	ナデシコ	カララナデシコ					C			C					
241		タカネナデシコ				B							VU		
242		ナンブワチカイソウ			1		C					VU	NT		
243		ナガバツメクサ							EX	EX	EX			EX	
244	サクラソウ	クリンソウ			1	B	B						VU		
245		ユキワリコサクラ			1	C							NT		
246		サクラソウ			1		A				○	NT	CR+EN		
247	ツバキ	ヤブツバキ		●			B	B	B	B	○				
248	イワウメ	コイワウチリ			1, 4	C	C				○				
249	エコノキ	オオバアサカラ			1		A								
250	ツツジ	ウメガサソウ					C			C	○				
251		コハノイチヤクソウ				C							NT		
252		ヤマツツジ	●	●			C	C			C	○			
253		シロヤシオ				C	C				○				
254		トウコクミツハツツジ			2		B								
255		ナツハゼ					C								
256	アオキ	アオキ	●	●			C	C	C	C	○				
257	アカネ	オオキヌタソウ				C							NT		
258	リンドウ	コケリンドウ					A						VU		
259		ハナイカリ				C							NT		
260		ホソバノツルリンドウ			1		A					VU	CR+EN		
261		テンクノコツチ				C							NT	NT	
262	マチン	アイエ					A						CR+EN		
263	キョウチクトウ	スズサイコ			1		A					NT	VU		
264	ヒルガオ	ハマヒルガオ				/	/	/		B	○				
265	ムラサキ	ムラサキ			1	A	A					EN	CR+EN		
266		ルリソウ					C						NT		
267	モクセイ	イホタノキ		●			B				○				
268	オオハコ	マルバノサトウカラシ					B					VU	VU		
269		アブノメ					A						CR+EN		
270		ミチノクワリカタ					B						VU		

表4-11 注目すべき植物種(7/8)

No.	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等				
			第3期	第4期	学術上重要種	減少種					環境指標種	国R L	県R L	天記・種保存法		
						山地	地・西部丘陵田園	市街地	東部田園	海浜						
271	オオハコ	ヒヨクソウ				B							VU			
272		クワガタソウ					B						NT			
273		イヌフグリ			1			B					VU	VU		
274		カワチンシャ			1			B	B				NT	NT		
275	シソ	タイリンヤマハッカ					C									
276		キセウタ				A						VU	CR+EN			
277		アキノタムラソウ						C	C					NT		
278	サキゴケ	ムラサキサキゴケ					C				○					
279	ハマウツボ	ナンバンキセル				B	B	B						VU		
280		オオナンバンキセル			1	B	B									
281		ミヤマシオガマ				B								VU		
282		トモエシオガマ				A								NT		
283		キヨスミウツボ			1	B								VU		
284	タヌキモ	ムシトリスミレ			1	A								NT		
285		イヌタヌキモ		●	1		B					NT	NT			
286		ヒメタヌキモ			1		A					NT	CR+EN			
287		ムラサキミカキクサ			1		A		A			NT	NT			
288	クマツヅラ	クマツヅラ					B									
289	モチノキ	イヌツゲ	●	●			C			C						
290		ソコグ			1, 2		C							NT		
291	キキョウ	キキョウ			1		B				○	VU	NT			
292	キク	オクモミジハクマ	●	●			C				○					
293		キッコウハクマ					B				○					
294		オケラ					B				○					
295		エゾノタウコギ					B	B						VU		
296		ヒメカンクビソウ						B						VU		
297		キククニキク						C					NT	NT		
298		イロインチン				1, 2	C							NT		
299		アズマキク				1		B				○		VU		
300		フジバカマ						C	C				NT	NT		
301		タカサコソウ					B						VU	VU		
302	ノニガナ							C					NT			
303	カララニガナ							B				NT	VU			
304	コオニタビラコ					B							VU			
305	オオニガナ				1		C						NT			
306	カシバハクマ						B						VU			
307	アキノハコクサ					A						EN	CR+EN			
308	フホウトウヒレン				1	C							NT			
309	ミヤコアザミ				1		A						CR+EN			
310	アキノキリンソウ		●	●			C				○					
311	アオヤキバナ							A					CR+EN			
312	エゾタンボク		●	●			C	B	B	C	○					
313	オカオケルマ				1	A	A						CR+EN			
314	オナモミ						B					VU	VU			
315	ウコギ	ロシアアブラ	●	●		C	C									

表4-12 注目すべき植物種(8/8)

No.	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等			
			第3期	第4期	学術上重要種	減少種					環境指標種	国 R L	県 R L	天記・種保存法	
						山地	地・西部丘陵 田園	市街地	東部田園	海浜					
316	セリ	シマサヤコ			1		B					VU	CR+EN		
317		ハナウト [△]					C		C				NT		
318		タニツバ [△]			1		C						VU		
319		ヌマゼリ [△]			1			B	B				VU	VU	
320	スイカズラ	クロミノウグイスカズラ			1	A							NT		
321		ニッコウヒョウタンボク			1, 2	B							VU		
322		オミエシ	●				B		B		○				
323		マツムシク			1	A	A							VU	
	90科	323種	41種	45種	128種	107種	245種	61種	90種	38種	81種	78種	199種	1種	

注1) 科名、種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト」(2021年8月、国土交通省河川水辺の国勢調査ホームページ)に準拠した。

注2) 表中の番号・記号は表4-4に対応する。●：既設処分場の現地調査における確認種。

注3) 既存処分場現地調査の出典は下記に示すとおりである。

第3期：「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第3期)環境影響調査報告書」

(平成24年11月、仙台環境開発株式会社)

第4期：「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第4期)自然環境影響調査報告書」

(平成29年2月、仙台環境開発株式会社)

(2) その他事業の立地上配慮を要する植物

1) 保存樹木、保存樹林、保存緑地

仙台市の「杜の都の環境をつくる条例」に基づく「保存樹木」、「保存樹林」及び「保存緑地」の調査範囲における指定状況は表4-13及び図4-11に示すとおりである。

調査範囲内では「保存樹木」が7箇所（10本）指定されている。

なお、対象事業計画地内には「保存樹木」はない。

表4-13 保存樹木

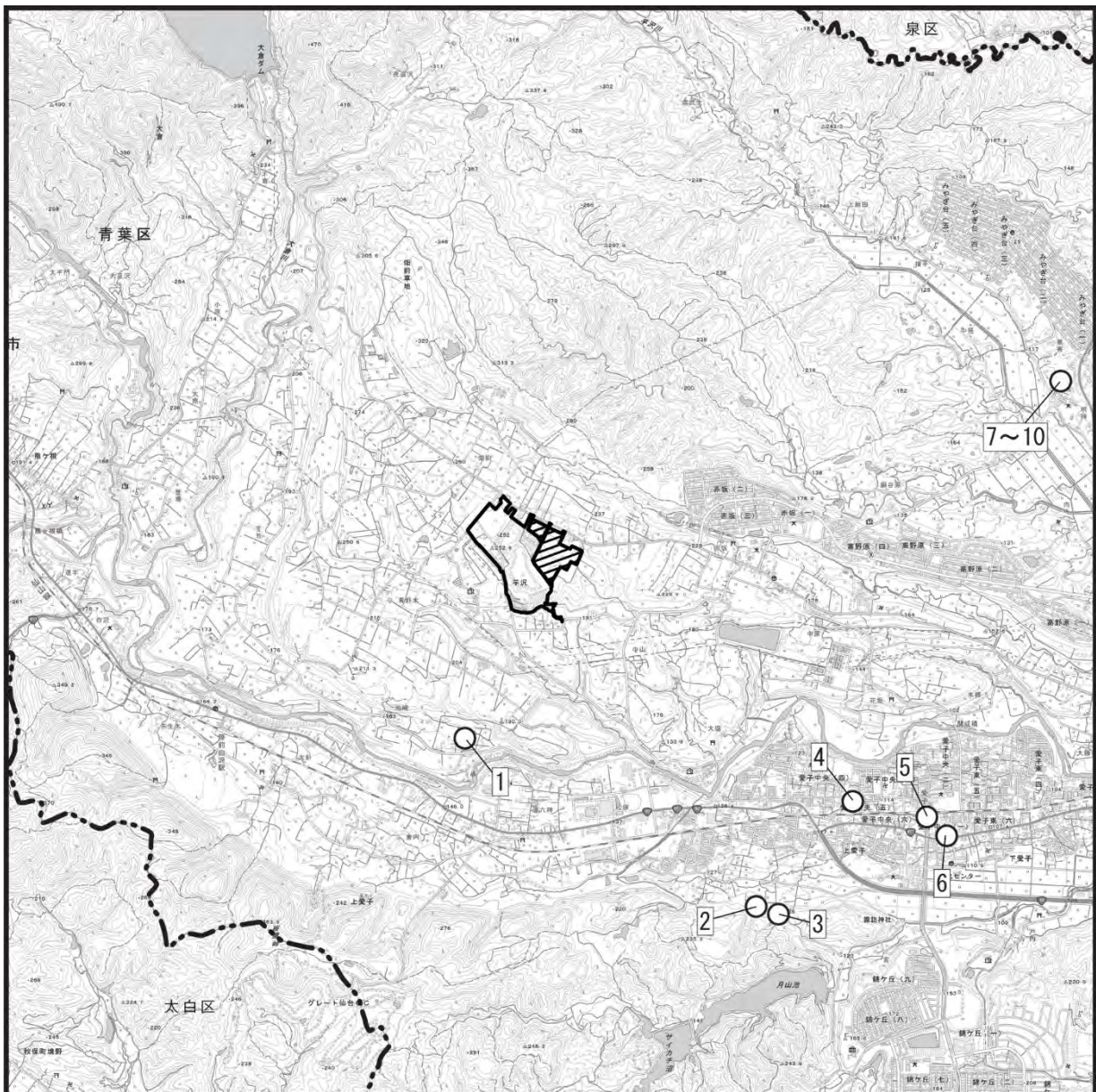
番号	所在地	呼称	樹種
1	仙台市青葉区芋沢八幡	芋沢のいとひば	ヒヨクヒバ
2	仙台市青葉区上愛子芋郷	上愛子のあかがし	アカガシ
3		同慶寺のいろはもみじ	イロハモミジ
4	仙台市青葉区愛子中央5丁目	せいざん（愛子）の臥龍梅	ウメ
5	仙台市青葉区愛子中央1丁目	愛子駅前のしだれざくら	シダレザクラ
6		下愛子のかんざしざくら	カンザシザクラ
7	仙台市青葉区芋沢明神	宇那禰神社のひのき	ヒノキ
8		宇那禰神社のすぎ(1)	スギ
9		宇那禰神社のすぎ(3)	スギ
10		宇那禰神社のすぎ(4)	スギ

注) 表中の番号は、図4-11に対応する。

所在地は地図上での読取である。





出典：「杜の都の名木・古木」（令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ）

「公園・スポーツ・文化マップ」（令和4年4月閲覧、せんだいくらしのマップホームページ）



対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

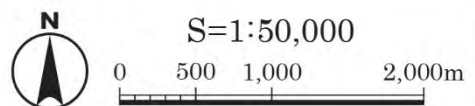
凡例

-  : 対象事業計画地
-  : 既設処分場(第1期～第4期)
-  : 区界
-  : 保存樹木(1～10)

注) 図中の番号は、表4-13に対応する。

出典: 「社の都の名木・古木」(令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ)
「公園・スポーツ・文化マップ」(令和4年4月閲覧、せんだいくらしのマップホームページ)

図4-11 保存樹木



2) 植生及び注目すべき植物群落の状況

調査範囲の現存植生は、図4-12～図4-13に示すとおりであり、対象事業計画地には畑雑草群落や市街地、水田雑草群落が分布している。

「令和2年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（令和3年3月、仙台市）では、環境省の植生自然度が9及び10（自然植生）に該当する植生を「自然性の高い植生」として位置づけている。調査範囲における自然性の高い植生の分布は図4-14に示すとおりであり、広瀬川沿い及び大倉川沿いなどに分布している。なお、植生自然度の区分基準は表4-14に示すとおりである。

注目すべき植物群落は、表4-15に示すとおりであり、西風蕃山のモミ・イヌブナ群落がある。対象事業計画地に自然性の高い植生及び注目すべき植物群落はない。

表4-14 植生自然度の区分基準

植生自然度	区分基準
10	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	エゾマツトドマツ群集、ブナ群集等、自然植生のうち多層の植物社会を形成する地区
8	ブナ・ミズナラ再生林、シイ・カシ萌芽林等、代償植生であっても、特に自然植生に近い地区
7	クリーミズナラ群落、クヌギコナラ群落等、一般には二次林と呼ばれる代償植生地区
6	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地
5	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原
4	シバ群落等の背丈の低い草原
3	果樹園、桑畑、茶畑、苗圃等の樹園地
2	畑地、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

出典：「令和2年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（令和3年3月、仙台市）

表4-15 注目すべき植物の群落

希少群落名	カテゴリー	指定状況
西風蕃山のモミ・イヌブナ群落	2（破壊危惧）	蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域

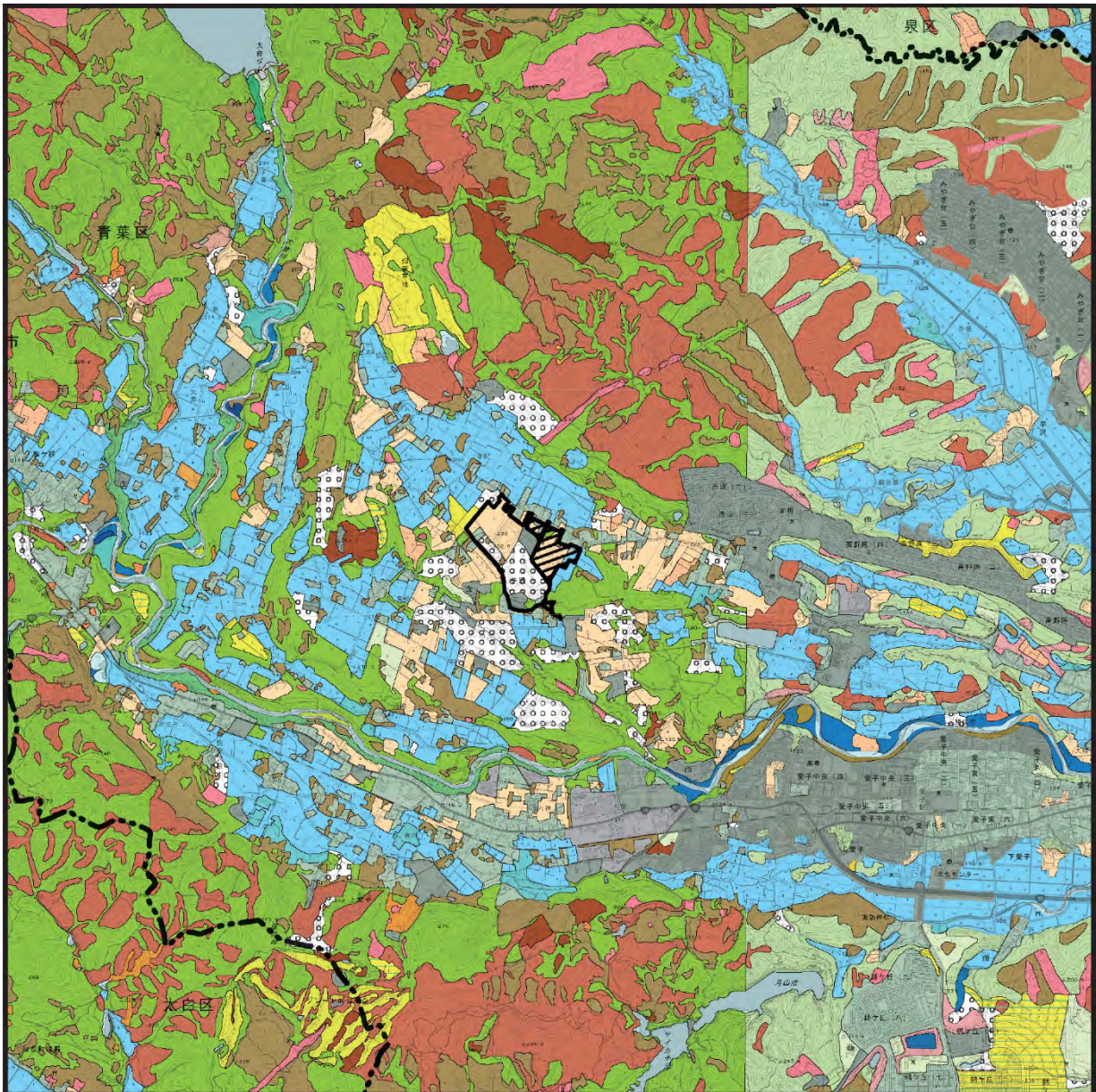
注）カテゴリーの区分基準は表4-16に示す。

出典：「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト2022年版-」（2022年3月、宮城県）

表4-16 希少な植物群落のカテゴリー区分


カテゴリー		絶滅危機の度合い
D	壊滅	群落は壊滅した
4	壊滅状態	群落は全体的に壊滅状態にあり、緊急に対策を講じなければ壊滅する
3	壊滅危機	対策を講じなければ、群落は徐々に悪化して壊滅する
2	破壊危惧	群落は当面保護されているが、将来破壊されるおそれがある
1	要注意	現在、保護・管理状態がよく、当面破壊されるおそれがない。 しかし、監視は必要である。


出典：「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト2022年版-」（2022年3月、宮城県）



対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

凡例

 : 対象事業計画地

 : 既設処分場(第1期～第4期)

 : 区界

出典：「植生調査(1/2.5万)第6-7回」(令和4年4月閲覧、環境省生物多様性センターホームページ)

図4-12 現存植生図



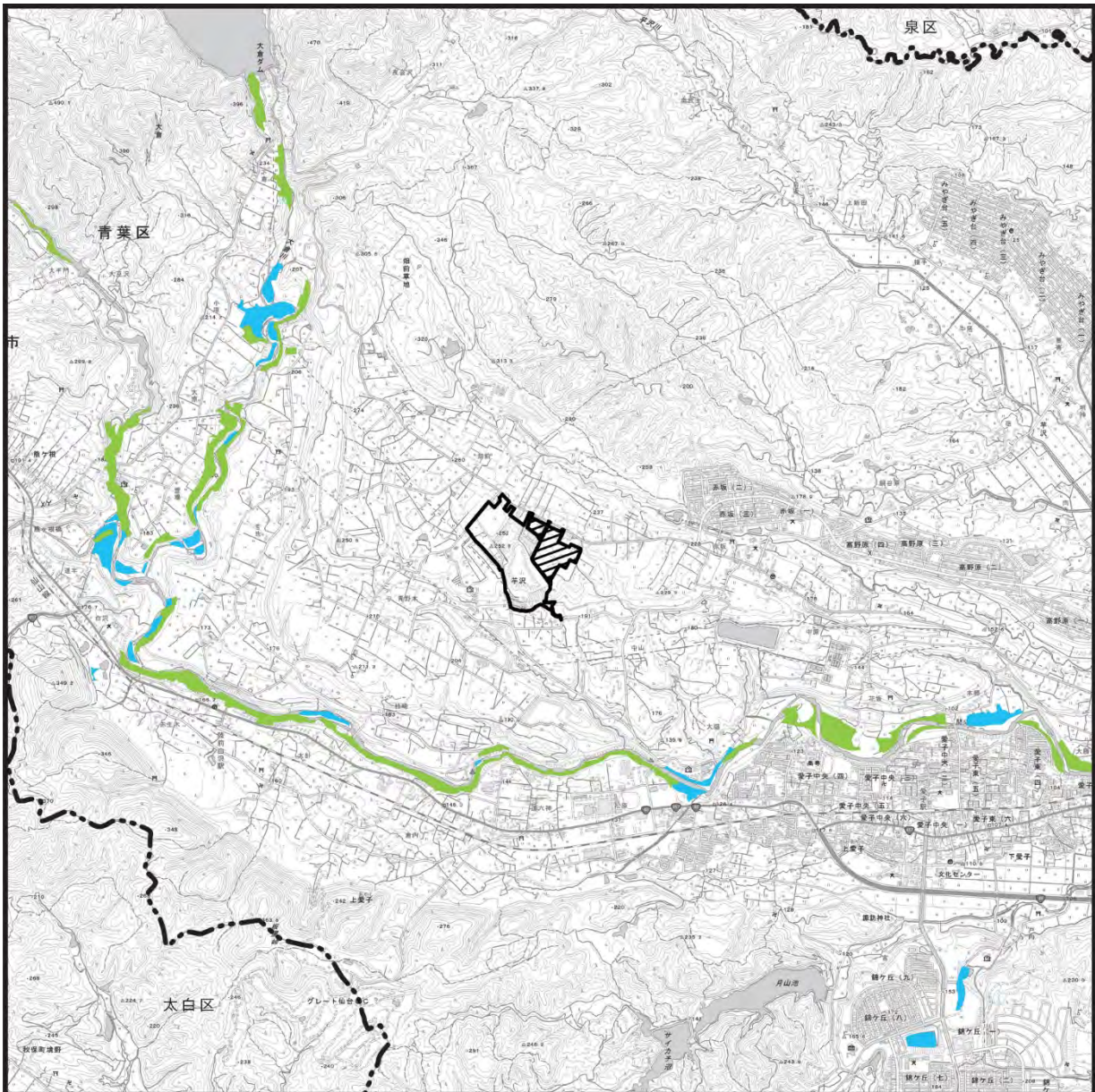
S=1:50,000
0 500 1,000 2,000m

凡 例

	: イヌシデーアカシデ群落		: 牧草地
	: ケヤキ群落(IV)		: 路傍・空地雑草群落
	: ヤナギ高木群落(IV)		: 放棄畑雑草群落
	: ヤナギ低木群落(IV)		: 果樹園
	: ウラジロヨウラクーミヤマナラ群団		: 畑雑草群落
	: コナラ群落(V)		: 水田雑草群落
	: アカマツ群落(V)		: 放棄水田雑草群落
	: タニウツギーノリウツギ群落		: 市街地
	: ススキ群団(V)		: 緑の多い住宅地
	: 伐採跡地群落(V)		: 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
	: クリーコナラ群集		: 工場地帯
	: アズマネザサ群落		: 造成地
	: クズ群落		: 開放水域
	: ヨシクラス		: 自然裸地
	: ツルヨシ群集		
	: オギ群集		
	: カワラハハコーヨモギ群団		
	: 砂丘植生		
	: スギ・ヒノキ・サワラ植林		
	: アカマツ植林		
	: カラマツ植林		
	: ニセアカシア群落		
	: 竹林		
	: ゴルフ場・芝地		


出典：「植生調査（1/2.5万）第6-7回」（令和4年4月閲覧、環境省生物多様性センターホームページ）


図4-13 現存植生図（凡例）





対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。


凡例

 : 対象事業計画地

 : 既設処分場(第1期～第4期)

 : 区界

 : 植生自然度9

 : 植生自然度10

出典：「植生調査(1/2.5万)第6-7回」(令和4年4月閲覧、環境省生物多様性センターホームページ)

図4-14 自然性の高い植生の分布



S=1:50,000
0 500 1,000 2,000m

3) 保全上重要な植物の生育地の状況

「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)による、仙台市における植物生育地として重要な地域の選定基準は表4-17に、調査範囲における植物生育地として重要な地域は表4-18及び図4-15に示すとおりである。対象事業計画地は植物生育地として重要な地域に含まれない。

表4-17 植物生育地及び動物生息地として重要な地域の選定基準

番号	判断理由
1	保全上重要な動植物種が高密度で分布する地域(動物の繁殖場、集団越冬地となっている地域など)
2	多様な生物相が保存されている地域
3	自然性の高い植生、その他学術上重要な植生が保存されている地域
4	湿地、湧水、岸壁地、地滑り等の動植物の生息・生育地として特異な環境を有する地域
5	自然とのふれあいの場としてふさわしい地域
6	環境教育の場としてふさわしい地域
7	郷土の特色が保存されている地域(里地里山・居久根等)
8	緑の回廊としてあるいは動物の移動のネットワークとして重要な地域(山地から市街地への連続した緑地、市街地や田園地域に点在する緑地等)
9	海岸や水辺、植生帯境界等のエコトーンとして重要な地域

出典:「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)

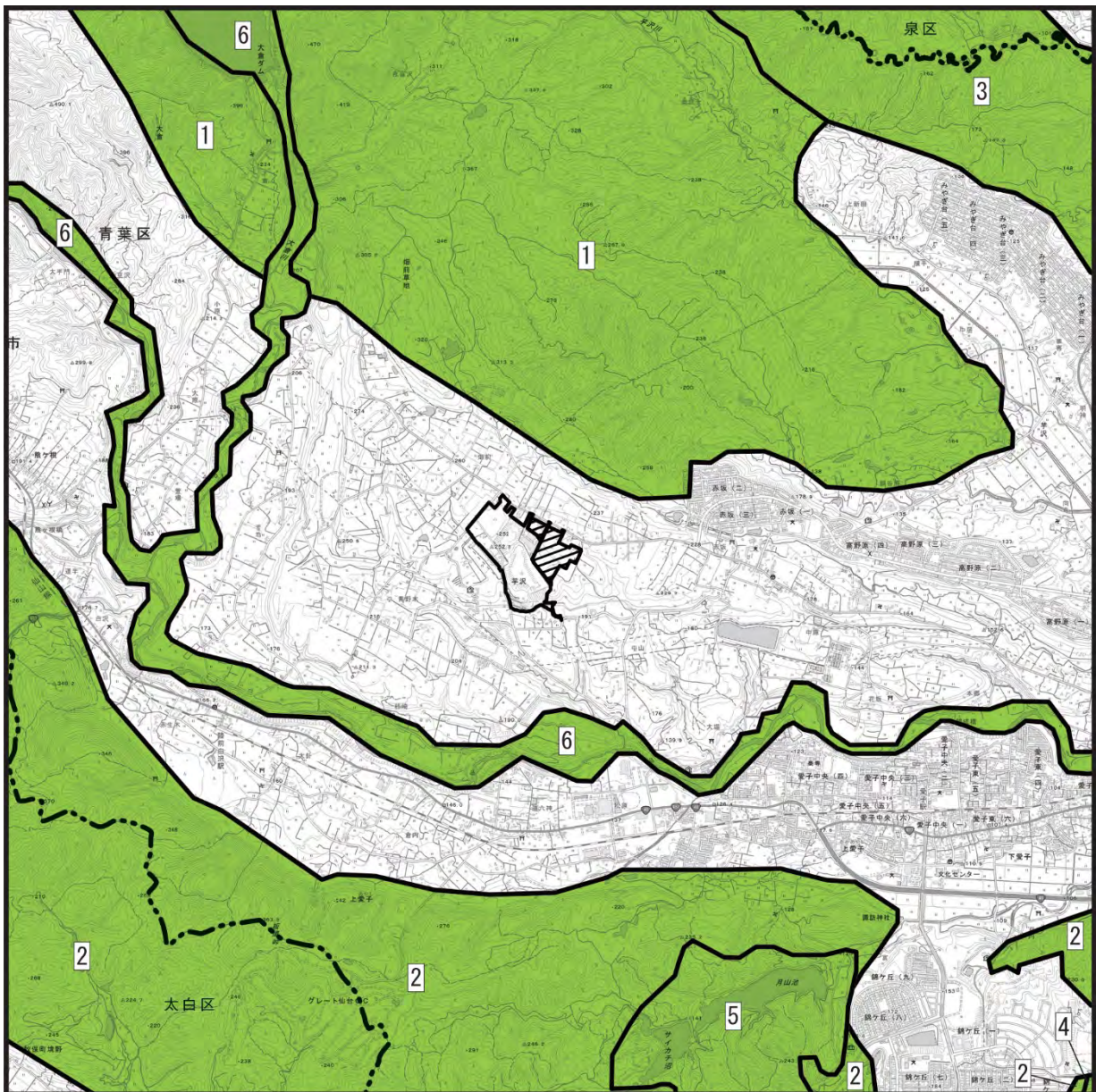
表4-18 植物生育地として重要な地域

番号	地域区分	地域名	備考	判断理由
1	山地～西部丘陵地・田園	奥武士・大倉地区の里地・里山植生	市街地の西部に位置し、二次林、植林、農地等がモザイク状に分布する土地利用が維持され、里地・里山植生が良好な状態で残されている。環境省が全国で500箇所を選定する「生物多様性保全上重要な里地里山」にも選定されている。	7, 8
2		奥羽山脈～青葉山丘陵地域の植生	市街地の南部に位置し、野生動植物のハビタット、生態系回廊（生態系コリドー）として重要。また、青葉山は、狭い地域内に800種以上の植物が自生し、里山の自然に親しむ場として活用されており、環境省が全国で500箇所を選定する「生物多様性保全上重要な里地里山」にも選定されている。	7, 8
3		大倉・芋沢丘陵地の植生	市街地の中央部から北西にかけて位置する。野生動植物のハビタット、生態系回廊（生態系コリドー）として重要。植物及び動物の生物種の多様性を維持するための地域として保護する必要がある。	7, 8
4	西部丘陵地・田園	蕃山・西風蕃山・蛇台蕃山の植生	蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域。保全上重要な植物群落を含み城西部のコナラ・クリ林を主体とした植生域。各種開発の進む仙台市丘陵地において、まとまった面積を有する夏緑広葉樹林として貴重。近年マツ枯れに続いてナラ枯れが進んでいる。	2, 5, 6, 7
5		月山池・サイカチ沼周辺の植生	蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域。池内にはヨシ群落、マコモ群落、ヒシ群落、多様な湿生・水生植物群落が成立し、市内では分布面積も少ないことから貴重。	2, 4, 5, 6
6	山地～海浜	名取川・広瀬川中～下流域の河畔植生	広瀬川の清流を守る条例環境保全区域。立地や洪水様態に応じた多様な植生が認められ、ヤナギ類の群落を中心に、防災・減災対策と整合性のある保全・保護対策が必要。市民の憩いの場としても極めて貴重。	8, 9

注1) 判断理由は表4-17に対応する。

注2) 表中の番号は図4-15に対応する。

出典：「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）



対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

凡例

- : 対象事業計画地
- : 既設処分場(第1期～第4期)
- : 区界
- : 植物生育地として重要な地域(1～6)

注) 図中の番号は、表 4-18 に対応する。

出典: 「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)

図4-15 植物生育地として重要な地域



S=1:50,000
0 500 1,000 2,000m

4.4 動物

(1) 注目すべき動物種の状況

「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）では、対象事業計画地は「西部丘陵地・田園地域」に位置している。仙台市の山地から丘陵地に広がる森林域には、本州最大の哺乳類であるツキノワグマや特別天然記念物であるカモシカなどの哺乳類が生息している。近年、二次林の放置などが一因と考えられるツキノワグマやカモシカの低地丘陵への分布拡大が確認されている。鳥類ではオオルリ、ゴジュウカラ、キビタキ、アカゲラなどの森林性の種が多く分布している。爬虫類では二ホンマムシやジムグリのほか、自然度が高い林床を好むタカチホヘビや比較的珍しいシロマダラなども生息している。両生類では山地の溪流にキタオウシュウサンショウウオが生息し、トウホクサンショウウオは丘陵地の沢などに広く生息している。また、池沼の緑の樹木の枝に卵塊を産み付けるモリアオガエルや清流の環境を指標するカジカガエルも生息している。魚類では山地の溪流にニッコウイワナ、サクラマス（ヤマメ）、カジカ等が生息する。昆虫類は丘陵地では生きた化石といわれるヒメギフチョウ本州亜種が生息している。市街地や田園地域では、人の生活空間の拡大や各種開発事業により、動物の良好な生息環境が減少しているが、公園や残された緑地等が、ホンドタヌキ、ホンドイタチ、カワセミ、アオダイショウ、ミヤマクワガタなど多くの動物にとって貴重な生息場所となっており、これらの緑地を保全するとともに、周囲の丘陵地、田園地域との連続性に配慮した緑の創出を進める必要がある。

調査範囲内における注目すべき動物種の状況は、「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）において、「保全上重要な種」に挙げられている種のうち、対象事業計画地が「西部丘陵地・田園地域」に位置し、調査範囲内に「山地地域」及び「市街地地域」を含んでいることから、該当する地域区分である「西部丘陵地・田園地域」、「山地地域」及び「市街地地域」（表4-3参照）における減少種を「注目すべき動物種」として抽出した。また、既設処分場増設時に産業廃棄物処理施設変更許可申請に伴い自然環境影響調査を実施しており、「第3期調査（平成23年～平成24年）」（図4-9参照）及び「第4期調査（平成27年～平成28年）」（図4-10参照）における現地調査で確認された種についても合わせて整理し、抽出した。なお、国及び宮城県のレッドデータ等については、最新のもの（令和4年4月現在）に基づきカテゴリーの再整理を行った。

調査範囲内における注目すべき動物種は表4-19～表4-27に示すとおりであり、哺乳類12科30種、鳥類35科96種、爬虫類5科9種、両生類6科14種、魚類16科35種、昆虫類55科120種であった。

表4-19 注目すべき動物種(1/9)【哺乳類】

No.	目名	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等		
				第3期	第4期	学術上 重要種	減少種					環境 指標種	国 R L	県 R L	天記・ 種保存法
							山地	西部 丘陵地・ 田園	市街地	東部 田園	海浜				
1	モグラ	トカリスミ	ホシウツカリスミ				+	C	/	/	/	○		DD	
2			ホシウツカリスミ				+	C	B	C		○			
3			カリスミ			1,4	B	B	/	/	/	○		DD	
4		モグラ	ヒメリス			1	+		/	/	/	○			
5			ミズラモグラ			1,4	C		/	/	/		NT	NT	
6	コウモリ	キカシラコウモリ	コキカシラコウモリ			1	C	C				○			
7			キカシラコウモリ			1	C	C	C				○		
8		ヒナコウモリ	シナホオヒゲコウモリ			1,4	C					○		VU	
9			カクヤコウモリ			1,4	C					○		CR+EN	
10			モモンコウモリ			1,4	C	C	C			○			
11			モリアブラコウモリ			1,4	C					○	VU	CR+EN	
12			ヤマコウモリ			1,4	C	C	C	C	C	○	VU	VU	
13			ヒナコウモリ			1,4	C	C	C		C	○			
14			ウサギコウモリ			1,4	C	C				○		VU	
15			ユビナカコウモリ			1,4	C	C				○			
16			コテンコウモリ			1,4	C	C				○			
17			テンコウモリ			1,4	C	C				○		VU	
18			ネズミ	リス	ホントモモンカ			1,4	C						
19	ニッコウムササビ					1,4		C	C			○			
20	ヤマネ				1,4	C			/	/			NT	天	
21	ネズミ	トリホウヤチネズミ				4	+	+							
22		ハタネズミ					+	C	C	C	C	○			
23		ホントヒメネズミ				+	+	+	/		○				
24	ネコ	クマ	ツキノクマ			4	C	C						国際	
25		イヌ	ホントイヌ	●	●		+	+		+		○			
26		イタチ	ホントイタチ				C	C				○			
27			ホントイタチ	●	●		C	C	C	C	C	○			
28			ホントオコシヨ			1,4	C		/	/	/		NT	NT	
29	ウシ	ウシ	カモシカ			4	+					○		要	特天
30	クジラ	ネズミイルカ	スナメリ			2	/	/	/	/				LP	国際
	6目	12科	30種	2種	2種	23種	29種	21種	15種	13種	10種	23種	4種	13種	4種

注1) 目名、科名、種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト」(2021年8月、国土交通省河川水辺の国勢調査ホームページ)に準拠した。

注2) 表中の番号・記号は表4-4に対応する。●: 既設処分場の現地調査における確認種。

注3) 既存処分場現地調査の出典は下記に示すとおりである。

第3期: 「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第3期)環境影響調査報告書」

(平成24年11月、仙台環境開発株式会社)

第4期: 「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第4期)自然環境影響調査報告書」

(平成29年2月、仙台環境開発株式会社)

※ 「平成28年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(平成29年3月、仙台市)の記載種は「ヒメホウヤチネズミ」だが、分布域から亜種「フナホウヤチネズミ」とした。出典: 「日本の哺乳類」 東海大学出版会(1994)

表4-20 注目すべき動物種(2/9)【鳥類】

No.	目名	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等		
				第3期	第4期	学術上重要な種	減少種					環境指標種	国R L	県R L	天記・種保存法
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜				
1	キジ	キジ	ウスラ			1, 4		A	A	A	A		VU	CR+EN	
2			ヤマトリ			1, 4	+	C				○			
3	カモ	カモ	ヒシクイ				/	/		C	C		VU		天
4			マガン			1, 4	/	/	A	B	B		NT		天
5			ハクガン			1, 4	/	/					CR	要	
6			シジュウカラガン			1, 4	/	/					CR	NT	国内
7			コクガン			1, 2, 4	/	/	/	/	B		VU	VU	天
8			オシドリ			1, 4	+	C	B				DD		
9			トモエガモ			1	/		/	C			VU		
10	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ					C	B	C	C	○			
11	ペリカン	サギ	サンカノコイ			1	/	/	/	B	B		EN	NT	
12			ヨシコイ			1, 4		C	B	C	C	○	NT	NT	
13			オオヨシコイ			1, 4	/	/	/	A	A		CR	CR+EN	国内
14			ミゾコイ			1, 4	C	B	/	/	/		VU	VU	
15			アマサギ			4		C	A	C		○			
16			チュウサギ			1, 2, 4		C	C	C	C		NT		
17			コサギ				/	C	B	C	C	○		NT	
18			カラシラサギ			1	/	/	/		C		NT	NT	
19	ツル	クイナ	クイナ			1, 4		C	A	B	B			NT	
20			ヒクイナ			1, 4	/	B	A	B	B		NT	CR+EN	
21			バン			1, 4		C	B	C	C	○			
22	カッコウ	カッコウ	ホトキズ	●	●	1, 4	+	+	C	C	C	○			
23			カッコウ	●		1, 4	C	C	B	C	C	○			
24	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ			1, 4	C	B	A	A		○	NT	VU	
25	アマツハメ	アマツハメ	ハリオアマツハメ				C	C	/	/	/			NT	
26	チドリ	チドリ	イカルチドリ			1, 4	C	C	B	B		○		NT	
27			シロチドリ			1, 4	/	/	/		B	○	VU	NT	
28		シギ	オオシギ			1, 4	B	B	A	C	C		NT	VU	
29			オウロシギ				/	/	/	C	C			NT	
30			オオトリハシギ				/	/	/	B	B		VU	NT	
31			ホウロクシギ			1, 4	/	/			B		VU	NT	国際
32			ツルシギ			1, 4	/	/		C	C		VU	NT	
33			アカアシシギ			1	/	/		C	C		VU		
34			タカアシシギ				/	/		C	C		VU		
35			ハマシギ			1, 4	/	/		C	C	○	NT	NT	
36			ヘラシギ			1	/	/	/		A		CR	CR+EN	国内
37		タマシギ	タマシギ				/	/	/	A			VU		
38		カモメ	コアアシ			1, 2, 4	/	/	A	B	B		VU	VU	国際
39		ウミスズメ	ウミスズメ			1, 4	/	/	/	/			CR		
40	タカ	ミサコ	ミサコ		●	1, 4		+	+	+	+	○	NT		
41		タカ	ハチクマ			1, 4	B	B	/	/			NT	VU	
42			オシロシ			1, 2, 4		B	B	B	B		VU	VU	天国内
43			オオワシ			1, 2, 4	/	/	/	B	B		VU	VU	天国内

表4-21 注目すべき動物種(3/9)【鳥類】

No.	目名	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種						レッドデータ等				
				第3期	第4期	学術上重要な種	減少種					環境指標種	国R L	県R L	天記・種保存法	
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜					
44	カ	カ	チュウヒ			1,4	/	/	/	C	C	○	EN	NT	国内	
45			ツミ			1,4	C	C	C	C	C			DD		
46			ハイカ	●	●	1,4	C	C	C	C	C		NT	NT		
47			オオカ		●	1,4	C	C	B	B	B	○	NT	NT		
48			サシバ	●	●	1,4	C	C	A	B	B		VU	VU		
49			ノスリ	●	●			+	+	+	+	+	○			
50			イヌワシ				1,4	A		/	/	/	○	EN	CR+EN	天国内
51			クマカ				1,4	B	C	/	/	/	○	EN	VU	国内
52			フクロウ	フクロウ	オオコノハズク			1	C	C	C	B	B			NT
53	コノハズク					1	C	C				○		DD		
54	フクロウ					1	C	C	B	B	C	○				
55	アオバズク					1		C	B	B	B	○		VU		
56	コミズク					1		B	A	B	B	○		NT		
57	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビ			1	C	C	/	/	/			NT		
58			カワセミ			1,4		C	C	C		○				
59			ヤマセミ			1,4	C	C	B			○		NT		
60	キツツキ	キツツキ	アカゲラ		●		+	C	B	C	C					
61			アオゲラ				+	C	B	C	C	○				
62	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	●	●	1,4	/	C	B	C	B					
63			チコハヤブサ				/	C	B	B	/			NT		
64			ハヤブサ	●	●	1,4	C	B	B	C	C		VU	NT	国内	
65	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ				C	C	B	C	C		VU	NT		
66		カササギヒタキ	サンコウチョウ			1		C	B	B		○				
67		モズ	チコモズ			1,4		A	A	A	A		CR	CR+EN		
68			モズ	●	●	1	+	+	B	+	+	○				
69			アカモズ			1,4		A	A	A	A		EN	CR+EN	国内	
70		ヒバリ	ヒバリ	●	●			C	B	C	C	○				
71		ツバメ	ツバメ	●	●			C	C	C	C	○				
72			コシアカツバメ				/	A	A	A	A			CR+EN		
73		ウグイス	ウグイス	●	●	1,4	+	+	C	C	C	○				
74		ムシクイ	センダングサ				+	C	B			○				
75		センニュウ	オオセッカ			1,3,4	/	/	/	/	A		EN	VU	国内	
76		ヨシキリ	オオヨシキリ	●	●	1,4		C	B	C	C	○				
77			コヨシキリ			1,4		C	A	B	B	○				
78		セッカ	セッカ			1,4		C	B	C	C	○				
79		コシユウカラ	コシユウカラ				+		B		/	○				
80		カワカラス	カワカラス				+	C	B		/	○				
81		ヒタキ	トラツグミ				+	C	B	C	C	○				
82	クロツグミ				1,4	+	C	B	C	C	○					
83	シロハラ					+	C	B			○					
84	コルリ				1,4	+	C	B	C	C	○					
85	ルリビタキ					+	C	C	C	C						
86	コサメビタキ			●			/	B		/	○					
87	キビタキ					+	C	B			○					

表4-22 注目すべき動物種(4/9)【鳥類】

No.	目名	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等		
				第3期	第4期	学術上重要な種	減少種					環境指標種	国R/L	県R/L	天記・種保存法
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜				
88	スズメ	ヒタキ	オオリ			1, 4	+	C	C	C	C	○			
89		イワヒバリ	イワヒバリ				A	/	/	/	/			CR+EN	
90		セキレイ	キセキレイ		●	1, 4	+	C	C	C		○			
91			セグロセキレイ	●	●	4	C	C	C	C		○			
92			ホオジロ	●	●		+	+	B	C	C	○			
93			ホオアカ				B	C	A	C	B	○			
94			ノジコ			1, 4	C	C	B	/	/		NT	NT	
95			アオジ		●		C	C	C	C	C				
96			コジュリン			1, 4	/	/	/	B	B		VU	VU	
	15目	35科	96種	15種	18種	68種	75種	93種	85種	80種	76種	47種	45種	50種	16種

注1) 目名、科名、種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト」(2021年8月、国土交通省河川水辺の国勢調査ホームページ)に準拠した。

注2) 表中の番号・記号は表4-4に対応する。●: 既設処分場の現地調査における確認種。

注3) 既存処分場現地調査の出典は下記に示すとおりである。

第3期: 「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第3期)環境影響調査報告書」(平成24年11月、仙台環境開発株式会社)

第4期: 「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第4期)自然環境影響調査報告書」

(平成29年2月、仙台環境開発株式会社)

表4-23 注目すべき動物種(5/9)【爬虫類・両生類】

【爬虫類】

No.	目名	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等		
				第3期	第4期	学術上重要な種	減少種					環境指標種	国R L	県R L	天記・種保存法
							山地	地・田園	西部丘陵	市街地	東部田園				
1	有鱗	トカゲ	ヒカ ^シ ホトカゲ			1		C	A				○		
2		カナヘビ	ニホンカナヘビ	●			+	+	C	C			○		
3		クササギ	クササギ			1			A						DD
4		ナミヘビ	アオダ ^シ イシヨウ				+	+	B	C	C	○			
5			ジ ^ム グ ^リ				+	+	B	C	C	○			
6			シロマ ^タ ラ			1	C	C							DD
7			ヒバ ^カ リ				C	C	C	C	B	○			
8			ヤマカ ^ガ シ		●	●			+	A	C		○		
9		クサ ^リ ヘビ	ニホンマムシ				C	C	A	C					
	1目	5科	9種	2種	1種	3種	6種	8種	8種	6種	3種	6種	0種	2種	0種

【両生類】

No.	目名	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等		
				第3期	第4期	学術上重要な種	減少種					環境指標種	国R L	県R L	天記・種保存法
							山地	地・田園	西部丘陵	市街地	東部田園				
1	有尾	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ	●		4	+	C	B	/	/	○	NT	NT	
2			クロサンショウウオ				+	C	A	/	/	○	NT	LP	
3			キタオウシュウサンショウウオ			2	+	C	/	/	/	○		NT	
4		イモリ	アハライモリ	●	●		+	C	A	C	/	○	NT	LP	
5	無尾	アマガエル	ヒキガ ^エ ル				+	C	B	C	/				
6			アマガ ^エ ル	ニホンアマガ ^エ ル	●	●		+	+	+	+	+	○		
7			アマガ ^エ ル	タコ ^ガ エル				+	C	A	/	/			NT
8			アマガ ^エ ル	ニホンアマガ ^エ ル	●	●		+	+	A	C	/			
9			アマガ ^エ ル	ヤマアマガ ^エ ル				+	C	A	C	/			NT
10			アマガ ^エ ル	トウキョウダルマガ ^エ ル	●	●		C	C	A	C	/	○	NT	NT
11			アマガ ^エ ル	ツチガ ^エ ル		●		+	C	A		/	○		NT
12			アマガ ^エ ル	シュレーゲルアマガ ^エ ル	●	●		+	+	B	C	/	○		
13			アマガ ^エ ル	モリアマガ ^エ ル				+	B	/	/	/	○		
14			アマガ ^エ ル	カシガ ^エ ル				+	+	B	/	/	○		
	2目	6科	14種	6種	6種	2種	14種	14種	14種	13種	14種	10種	4種	8種	0種

注1) 目名、科名、種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト」(2021年8月、国土交通省河川水辺の国勢調査ホームページ)に準拠した。

注2) 表中の番号・記号は表4-4に対応する。●: 既設処分場の現地調査における確認種。

注3) 既存処分場現地調査の出典は下記に示すとおりである。

第3期: 「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第3期)環境影響調査報告書」

(平成24年11月、仙台環境開発株式会社)

第4期: 「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第4期)自然環境影響調査報告書」

(平成29年2月、仙台環境開発株式会社)

表4-24 注目すべき動物種(6/9)【魚類】

No.	目名	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等					
				第3期	第4期	学術上重要な種	減少種					環境指標種	国R L	県R L	天記・種保存法			
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜							
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スヤツメ 北方種/南方種			1	C	+	B	C	/		VU	DD/NT				
2			カワヤツメ			1		A	A	/	/		VU	CR+EN				
3	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ			1		B	C	C	C	○	EN	NT				
4	コイ	コイ	キンブナ					B	A	A	/		VU	VU				
5			テツギョ			1		/	/	/	/			要				
6			タナゴ				/	EX	EX	EX	/		EN	CR+EN				
7			アカヒレタビラ				/	EX	EX	EX	/		EN	CR+EN				
8			セニタナゴ				/	EX	EX	EX	/		CR	CR+EN				
9			エゾウグイ			1,4	B	/	/	/	/		LP	CR+EN				
10			ウグイ				+	+	+	+	+	○						
11			シナイモツゴ			1,4	A	A	/	/	/		CR	CR+EN				
12		トシヨウ	トシヨウ	●	●			+	+	+	/	○	NT					
13		フクトシヨウ	ホトケトシヨウ	●	●	1	C	+	B		/	○	EN	NT				
14	ナマス	キギ	キバチ			1	C	+	B		/		VU	NT				
15	サケ	キュウリウオ	ワカサギ				/	/	/		A							
16		アユ	アユ				/	+	+	+	+	○						
17		シラウオ	シラウオ				/	/	/	C	C			NT				
18		サケ	ニッコウイナ				+	/	/	/	/		DD					
19			サクラマス			1	/	B	C	/	/	○	NT	NT				
20			サクラマス(ヤマメ)				+	+	+	/	/	○	NT					
21	トゲウオ	トゲウオ	ニホンイトヨ			1,4	/	/	/	A	A		LP	CR+EN				
22	タツ	メダカ	ミナミメダカ			1	/	A	A	B	C	○	VU	NT				
23		サヨリ	クルマサヨリ			1	/	/	/	A	A		NT	VU				
24	スズキ	カシカ	カシカ				+	+	B	/	/	○	NT					
25			ウツセミカシカ (降海回遊型)			1	/	/	B				EN					
26		ハゼ	ヒモハゼ			1	/	/	/	/	C	○	NT	NT				
27			シロウオ				/	/	/	B	B		VU	NT				
28			ホウスハゼ			2	/	/		/	/			DD				
29			アハハゼ			2	/	/			C			NT				
30			マサゴハゼ			1,2	/	/	/	/	A		VU	VU				
31			スミキゴリ			1	/	/	/				LP					
32			ヘビハゼ			1	/	/	/	/			DD	DD				
33			シユスカハゼ				/	C	A	B	/		NT	NT				
34			エトハゼ			1	/	/	/	/	B		VU	CR+EN				
35		クロホシマンジユウタイ	クロホシマンジユウタイ			2	/	/						要				
				8目	16科	35種	2種	2種	21種	30種	34種	32種	28種	31種	10種	27種	26種	0種

注1) 目名、科名、種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト」(2021年8月、国土交通省河川水辺の国勢調査ホームページ)に準拠した。

注2) 表中の番号・記号は表4-4に対応する。●: 既設処分場の現地調査における確認種。

注3) 既存処分場現地調査の出典は下記に示すとおりである。

第3期: 「(仮称) 産業廃棄物最終処分場増設事業(第3期) 環境影響調査報告書」

(平成24年11月、仙台環境開発株式会社)

第4期: 「(仮称) 産業廃棄物最終処分場増設事業(第4期) 自然環境影響調査報告書」

(平成29年2月、仙台環境開発株式会社)

表4-25 注目すべき動物種(7/9)【昆虫類】

No.	目名	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種						レッドデータ等					
				第3期	第4期	学術上重要な種	減少種					環境指標種	国R L	県R L	天記・種保存法		
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜						
1	トンボ	イトトンボ	ヒヌマイトトンボ			1, 2	/	/	/	/	EX		EN	CR+EN			
2		ムカシトンボ	ムカシトンボ			1, 4	+	+	/	/	/	○					
3		ヤンマ	ネアカヨシヤンマ					/	/	/		C		NT	NT		
4			カトリヤンマ			1	/	/	A	A	A				CR+EN		
5		サナエトンボ	ウチワヤンマ			1		C	B								
6			ヒメサナエ			1	A	A		/	/				VU		
7			ナゴヤサナエ			1, 2	/		A	A				VU	CR+EN		
8		ムカシヤンマ	ムカシヤンマ			1, 4		+		/	/	○					
9		エゾトンボ	オトラフトンボ			1	C	C	/	/	/						
10			エゾトンボ					B	B		/	/			VU		
11		トンボ	ハッチョウトンボ			1	B	B		/	/	○			VU		
12			コノシメトンボ			1		A							CR+EN		
13			キトンボ			1		A	EX						VU		
14			ナツアカネ		●				C		C		○				
15			マユタテアカネ		●	●			+	+							
16			アキアカネ			●			+	+	+	+	○				
17			マイコアカネ			●				+	C						
18			ヒメアカネ				1	A	A	EX	/	/				CR+EN	
19	コキブリ	オオコキブリ					B	B	/	/	/			VU			
20	ハッタ	ヒハリモトギ					/	/	/	/	A			CR+EN			
21		ヤマタダラハッタ			2	/	/	/	/	B	○			VU			
22		カラハッタ			1			A	A	/	○			NT			
23	カメムシ	セミ	エゾセミ		●		+	+	C	/	/	○					
24		ヨコバイ	スナヨコバイ				/	/	/	/	A		NT	CR+EN			
25		カメムシ	ヒウラカメムシ				/	/	/		C			NT			
26		コオイムシ	コオイムシ		●	1		C	C	C	/		NT	NT			
27		タガメ			1		A		A		○	VU	CR+EN	国内			
28	アミメカゲロウ	ツノトンボ	ツノトンボ			1	A	A						CR+EN			
29			キバネツノトンボ			1		B						VU			
30		ウスバカゲロウ	カスリウスバカゲロウ						C					DD			
31			オオウスバカゲロウ				/	/	/	/	A	○		CR+EN			
32	チョウ	ホクトリガ	ハイロホクトリ					/		C	○	NT					
33		マダラガ	ヤホシホソマダラ		●								NT				
34	セセリチョウ	ホシチャバネセセリ			1	B	A	/	/	/		EN	VU				
35		チャマダラセセリ			1	A	A	/	/	/		EN	CR+EN				
36	シジミチョウ	スキタコルシジミ 本州亜種					+	+	/	/	/	○					
37		ジョウザンミドリ シジミ						+	+	/	/	/	○				
38		クロミドリシジミ			1	B		/	/	/							
39		カラスシジミ					C	C	/	/	/				NT		
40		クロシジミ			1	EX		EX	/	/	/		EN	EX			
41		オオコマンシジミ					C	/	/	/	/	○	NT	DD			
42		フジミドリシジミ			1	+	C	/	/	/	/	○					
43		タテハチョウ	オウラギンヒョウモン				EX	EX	EX	EX	EX		CR	EX			
44		キマダラモトギ			1	C		/	/	/		NT	NT				

表4-26 注目すべき動物種(8/9)【昆虫類】

No.	目名	科名	種名	既設処分場 現地調査		学術上重要種	仙台市における保全上重要な種					レッドデータ等					
				第3期	第4期		減少種					環境指標種	国R L	県R L	天記・種保存法		
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜						
45	チョウ	タテハチョウ	ウラジヤノメ 本州亜種			1, 2	B	/	/	/	/			DD			
46			シヤノメチョウ		●		+	+				○					
47			オオムラサキ				1		C	B		/	○	NT			
48			ギンボシシヨウモン 本州亜種				1	A		/	/	/			CR+EN		
49		アゲハチョウ	アオスジアゲハ				4	/		+	+		○				
50			ヒメキアブチョウ 本州亜種				1	C	C	C	/	/	○	NT	NT		
51		シロチョウ	ヒメシロチョウ 北海道本州亜種					EX	EX	EX	EX	EX		EN	CR+EN		
52		ツトガ	ゼニガサミスメイカ					C	C								
53		スズメカ	ヒメスズメ							A				NT	CR+EN		
54			ギンボシスズメ				1		A	/	/	/			CR+EN		
55		シャチホコガ	タツカモクメシャチホコ				1	C	C	/	/	/					
56			クワヤモクメリシャチホコ				1	C	C		/	/		NT	NT		
57		ヒトリカ	キハラヒトリ				1	C	C		/	/			NT		
58		トクカ	フタホシトクカ				1	C	C		/	/			NT		
59		ヤカ	キスジウスキヨトウ						C						VU		
60			コシロシタハ				1	B			/	/			NT	NT	
61			ヌマヘウスキヨトウ						/	/	/		B		VU		
62			ギンモンセダカモクメ				1	A	A						NT	CR+EN	
63			オカサワラヒゲヨトウ				1		A		/	/			EN	CR+EN	
64			オオチャハネヨトウ						C		/					VU	
65			コウチュウ	オサムシ	ハマヘミスギワコミムシ				/	/	/	/	B			VU	
66					マークオサムシ					/		A	/				VU
67		セアオサムシ							C	C		/	/			NT	NT
68		ツヤキヘリアオコミムシ								B		/	/			VU	VU
69	キハナカミスギワコミムシ							/	/	/	/	B			VU		
70	ヤマトトックリコミムシ						1		C			B					
71	キョウトクコムスギワコミムシ							/	/	/	/	B			VU	DD	
72	ヒョウタンコミムシ							/	/	/	/	C	○			NT	
73	ハンミョウ	カリラハンミョウ						1	/	/	/	/	A	○	EN	CR+EN	
74		ホリハンミョウ							C		/	/	/			VU	NT
75		ナミハンミョウ							B	B		/	○			NT	
76	ゲンゴロウ	ゲンゴロウ					1	C	C	A	A	/			VU	NT	
77		シマゲンゴロウ							C		/	/			NT		
78		エゾヒメゲンゴロウ							C	/	/				DD		
79	コガシラミス ムシ	マダラコガシラミス ムシ						B						VU	DD		
80	ガムシ	コガムシ		●	●									DD			
81		ガムシ		●										NT			
82	クワカタムシ	ネブトクワカタ 本土亜種				2	C		/	/	/				DD		
83		ミヤマクワカタ						+	+		/	○					

表4-27 注目すべき動物種(9/9)【昆虫類】

No.	目名	科名	種名	既設処分場 現地調査		仙台市における保全上重要な種							レッドデータ等			
				第3期	第4期	学術上重要な種	減少種					環境指標種	国R L	県R L	天記・種保存法	
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜					
84	コウチュウ	クワガタムシ	オニクワガタ			1	C	/	/	/	/	○				
85			ノコギリクワガタ				+	+	+	+	/	○				
86		コガネムシ	アカマダラハナムグリ					C	C				DD	NT		
87			ダマシコカガネ					A	/	/	/		VU	VU		
88			ヤマトケシマダラコカガネ					/	/	/	/	C	○		NT	
89		コブスジコカガネ	コブナシコブスジコカガネ					C	C		/	/			NT	
90		ナガハナミ	タテスジヒメゲナガハナミ					C		/	/	/			DD	
91		タムシ	タムシ				1, 2	/	C	C		/			NT	
92		コメツクムシ	カワヒラアソメツク				2	/	/	/	/	C			DD	
93			スナサビキコリ				2	/	/	/	/	B			NT	
94		ホタル	ゲンジボタル				1		+	C	C	/	○		NT	
95			ヒメボタル						C	/	/	/	○		NT	
96			スシクワボタル						C		/	/	/			NT
97		オオキノコムシ	クロボシチビオオキノコムシ				1	C			/	/			DD	
98		コシムシダマシ	ハマヒョウダンコシムシダマシ					/	/	/	/	C	○			
99		カミキリムシ	ヨツボシカミキリ						A		A			EN	CR+EN	
100		ハムシ	ヘニカメノコハムシ						C			/			NT	
101			タケチホリヒラタハムシ							A	/	/			VU	
102			シラハタミスクサハムシ							B	/	/	/			VU
103		ヒゲナガゾウムシ	エコヒゲナガゾウムシ						C		/	/			DD	
104	ハチ	クモバチ	アカコシクモバチ				/	/	/	/	C			NT		
105			ムツボシクモバチ							/	/	B		NT		
106			ホソシロフクモバチ					/	/	/	/	C			NT	
107			ハイロクモバチ					/	/	/	/	C			NT	
108		ツチバチ	オオモンツチバチ					/	/	/	/	C			NT	
109		トノボチモドキ	ヤマトスナキバチ					/	/	/	/	C		DD	NT	
110			本土亜種						/	/	/	/	C		DD	NT
111		アリマキバチ	ニッポソナダカバチ					/	/	/	/	A		VU	CR+EN	
112			アシシロヨコバチ					/	/	/	C	C			NT	
113			ミヤギノヨコバチ							B	/	/	/			VU
114		キアシマユダテバチ	キアシマユダテバチ					/	/	/	C	C			DD	
115			フシダカバチ	キスジツチスカガリ			1	/	/	/	/	A			CR+EN	
116	ムカシハナバチ		ホソメンハナバチ					/	/	/	/	A			CR+EN	
117	コナバチ	ノウメンハナバチ					/	/	/	/	A			CR+EN		
118		アオスジハナバチ				1, 2		A		/	/			CR+EN		
119	ハネバチ	キヌゲハネバチ				1	/	/	/	/	B			VU		
120		マイマイツツハネバチ				1	B	B	/	/	/			DD	VU	
120	コマユバチ	ウマノオバチ						C		/	/			NT		
	8目	55科	120種	4種	9種	51種	81種	97種	83種	86種	96種	29種	44種	87種	1種	

注1) 目名、科名、種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト」(2021年8月、国土交通省河川水辺の国勢調査ホームページ)に準拠した。

注2) 表中の番号・記号は表4-4に対応する。●: 既設処分場の現地調査における確認種。

注3) 既存処分場現地調査の出典は下記に示すとおりである。

第3期: 「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第3期)環境影響調査報告書」

(平成24年11月、仙台環境開発株式会社)

第4期: 「(仮称)産業廃棄物最終処分場増設事業(第4期)自然環境影響調査報告書」

(平成29年2月、仙台環境開発株式会社)

(2) 保全上重要な動物の生息地の状況

動物生息地として重要な地域は表4-28及び図4-16に示すとおりである。対象事業計画地は動物生息地として重要な地域には含まれない。

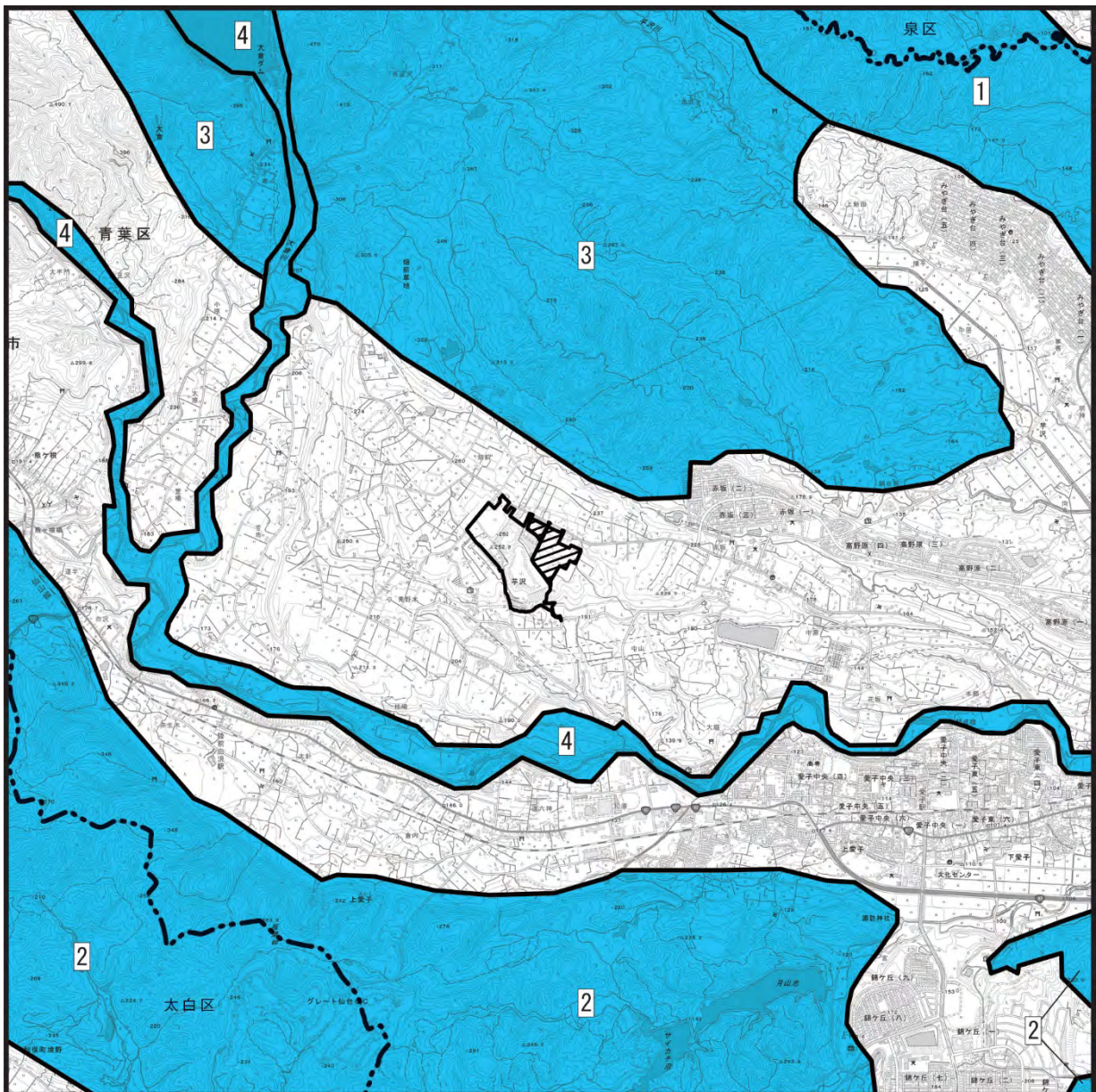
表4-28 動物生息地として重要な地域

番号	地域区分	地域名	対象	備考	判断理由
1	山地～西部丘陵地・田園	奥羽山脈から大倉・芋沢丘陵地域への緑の回廊	動物全般	市街地の中央部から北西にかけて位置する。野生動植物のハビタット、生態系回廊（生態系コリドー）として重要。植物及び動物の生物種の多様性を維持するための地域として保護する必要がある。	2, 8
2		奥羽山脈から青葉山丘陵地域への緑の回廊	動物全般	市街地の南部に位置する。野生動植物のハビタット、生態系回廊（生態系コリドー）として重要。植物及び動物の生物種の多様性を維持するための地域として保護する必要がある。	2, 8
3		奥武士・大倉地区	動物全般	市街地の西部に位置し、里地・里山植生が良好な状態で残されており、動植物のハビタットとして重要。水田やため池、山林、山地草原のススキ原等がモザイク状に分布する土地利用が維持され、トウホクサンショウウオやチョウ類などの希少な動物の生息が確認されるほか、豊かな里地・里山生態系のシンボルであるサシバの生息も確認されている。環境省が全国で500箇所を選定する「生物多様性保全上重要な里地里山」にも選定されている。	6, 7
4	山地～東部田園	広瀬川（中～下流域）	鳥類, 魚類	広瀬川の清流を守る条例の環境保全区域。野生動植物のハビタット、生態系回廊（生態系コリドー）として重要。中流部は森林性から草地、水辺の鳥まで豊富。下流部は、オジロワシ、オオタカ等の猛禽類やキジ類の草地性鳥類。アオジの生息及び繁殖。回遊性魚類の生息域であり、ウグイ、アユ、サケなどの産卵場が形成される。	2, 7, 8

注1) 判断理由は表4-17に対応する。





注2) 表中の番号は図4-16に対応する。

出典：「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）



対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

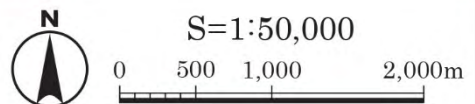
凡例

-  : 対象事業計画地
-  : 既設処分場(第1期～第4期)
-  : 区界
-  : 動物生息地として重要な地域(1～4)

注) 図中の番号は、表 4-28 に対応する。

出典: 「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)

図4-16 動物生息地として重要な地域



4.5 景観

調査範囲における主要な自然的景観資源、文化的景観資源は、表4-29及び図4-17に、主要な眺望地点は表4-30及び図4-18に示すとおりである。自然的景観資源は、西風蕃山及びサイカチ沼周辺等6箇所があり、文化的景観資源は、諏訪神社、宇那禰神社及び中原浄水場旧管理事務所等16箇所がある。眺望地点としては、西風蕃山及びサイカチ沼周辺等9箇所がある。なお、対象事業計画地は自然的景観資源である落合・愛子・白沢広瀬川畔内に位置している。

表4-29 主要な自然的・文化的景観資源

番号	名称	景観資源		文献		
		自然的 景観資源	文化的 景観資源	①	②	③
1	西風蕃山	○		○	○	
2	サイカチ沼周辺	○			○	
3	落合・愛子・白沢広瀬川畔	○		○	○	
4	仙台市白沢・広瀬川中流付近	○		○		
5	広瀬川中流 熊ヶ根棒目木間	○		○		
6	大倉川 大倉ダム下流	○		○	○	
7	諏訪神社本殿 附 棟札12枚		○			○
8	中原浄水場旧管理事務所		○			○
9	菊地家住宅主屋		○			○
10	菊地家住宅隠居所		○			○
11	菊地家住宅板倉		○			○
12	菊地家住宅土蔵		○			○
13	宇那禰神社本殿 附 棟札5枚		○			○
14	青下第1ダム		○			○
15	青下第1ダム取水塔		○			○
16	青下隧道入口		○			○
17	青下ダム旧管理事務所		○			○
18	青下ダム記念碑		○			○
19	青下第2ダム		○			○
20	青下第3ダム		○			○
21	青下量水堰		○			○
22	中原系苦地取水口		○			○

注) 表中の番号は、図4-17に対応する。

出典：文献①：「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）

文献②：「杜の都 わがまち緑の名所百選」（令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ）

文献③：「仙台市の文化財一覧」（令和2年9月1日現在、仙台市ホームページ）

表4-30 主要な眺望地点

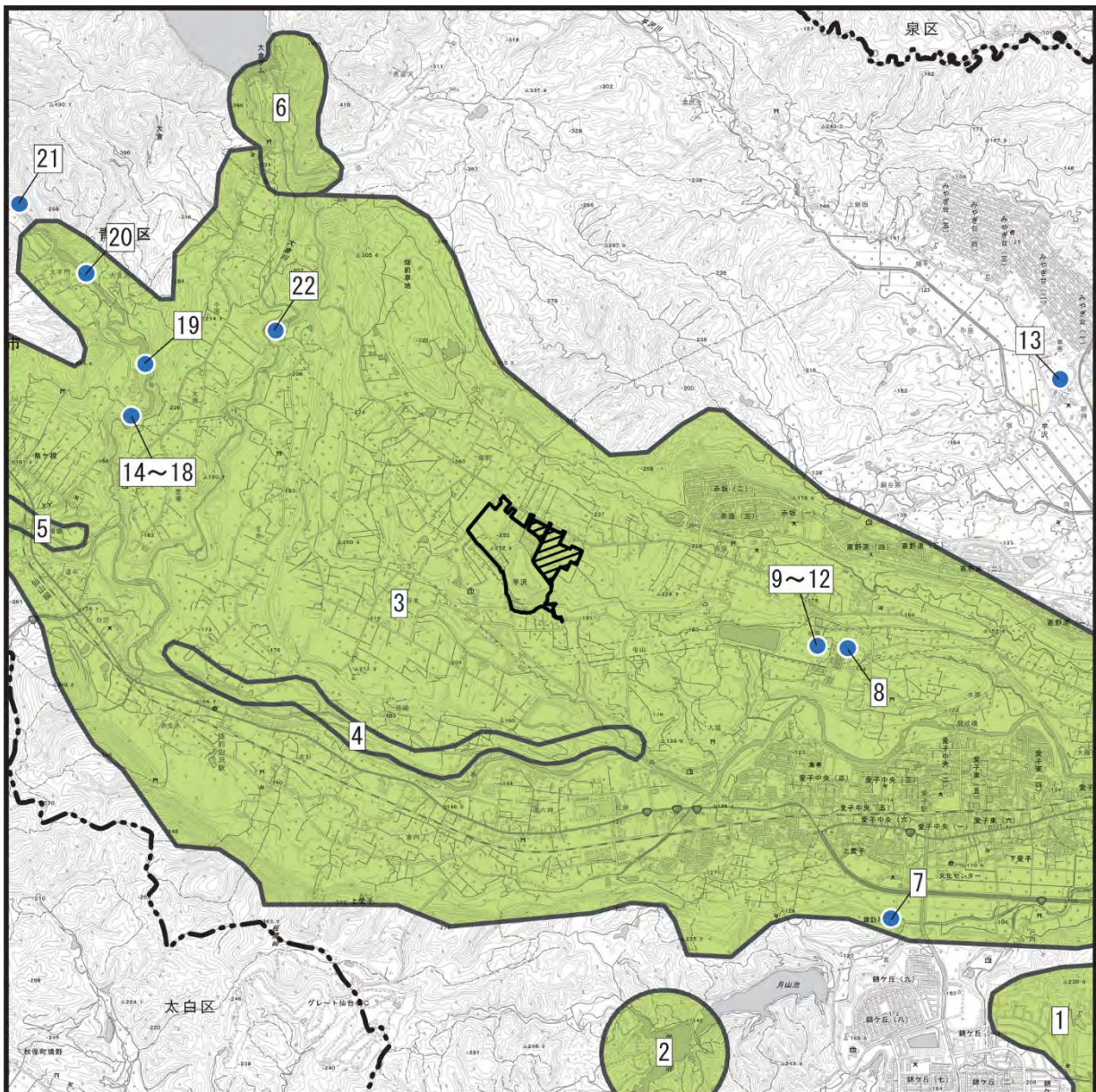
番号	名称	文献		
		①	②	③
1	西風藩山	○	○	
2	サイカチ沼周辺		○	
3	大倉川 大倉ダム下流	○	○	
4	錦ヶ丘中央公園			○
5	松原西公園			○
6	上原公園			○
7	高野原一丁目公園			○
8	みやぎ台運動公園			○
9	大倉ダム下公園			○

注) 表中の番号は、図4-18に対応する。

出典：文献①：「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）

文献②：「杜の都 わがまち緑の名所百選」（令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ）

文献③：「公園・スポーツ・文化マップ」（令和4年4月閲覧、せんだいぐらしのマップホームページ）



対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

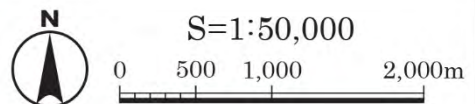
凡例

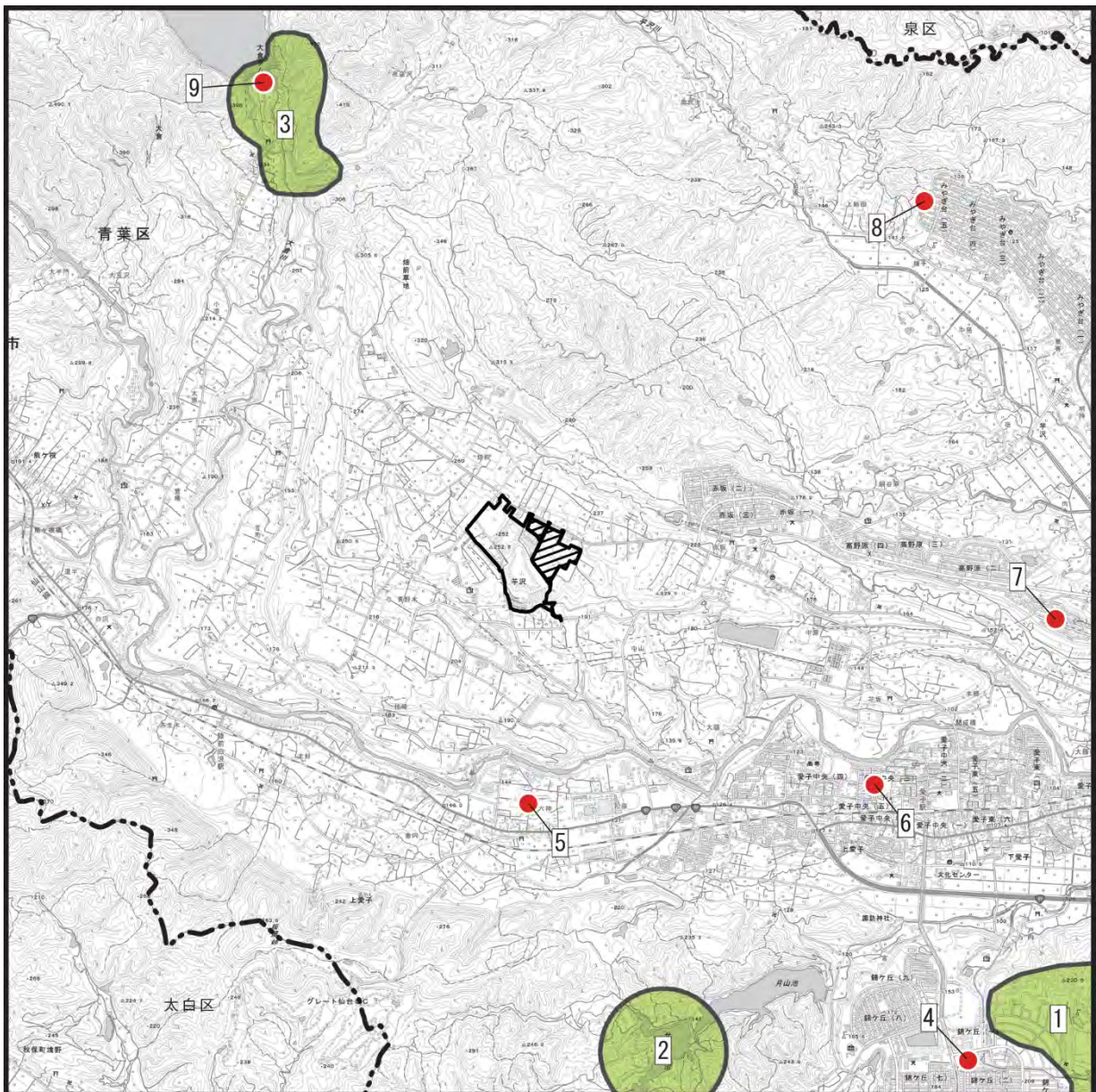
- : 対象事業計画地
- : 既設処分場(第1期～第4期)
- : 区界
- : 自然的景観資源(1～6)
- : 文化的景観資源(7～22)

注) 図中の番号は、表4-29に対応する。

出典: 「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)
「杜の都 わがまち緑の名所百選」(令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ)
「仙台市の文化財一覧」(令和2年9月1日現在、仙台市ホームページ)





図4-17 主要な自然的・文化的景観資源の位置





対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

凡例

-  : 対象事業計画地
-  : 既設処分場(第1期～第4期)
-  : 区界
-  : 眺望地点(1～9)

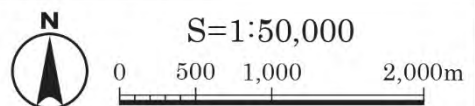
注) 図中の番号は、表4-30に対応する。

出典: 「令和3年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)

「杜の都 わがまち緑の名所百選」(令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ)

「公園・スポーツ・文化マップ」(令和4年4月閲覧、せんだいぐらしのマップホームページ)

図4-18 主要な眺望地点の位置



4.6 自然との触れ合いの場

調査範囲における自然との触れ合いの場は、表4-31、表4-32及び図4-19に示すとおりである。

調査範囲には、都市公園が121箇所、緑地環境保全地域が1箇所存在する。なお、対象事業計画地に自然との触れ合いの場はない。

表4-31 自然との触れ合いの場（1/2）

都市公園

公園番号	公園名称	公園番号	公園名称	公園番号	公園名称
1-H-3	愛子団地1号公園	1-H-73	北内南公園	1-H-124	清水端公園
1-H-4	ニュー愛子団地公園	1-H-74	下愛子町2号公園	1-H-125	愛子東四丁目公園
1-H-7	みやぎ台1号公園	1-H-75	月橋公園	1-H-126	愛子東三丁目公園
1-H-8	みやぎ台2号公園	1-H-76	上愛子車西公園	1-H-128	愛子中央五丁目公園
1-H-9	みやぎ台運動公園	1-H-77	蛇台原公園	1-H-131	高野原一丁目公園
1-H-12	北原東公園	1-H-78	平治東公園	1-H-132	月橋2号公園
1-H-13	平治北公園	1-H-79	横町前公園	1-H-133	愛子中央一丁目公園
1-H-14	蛇台原西公園	1-H-81	北原北公園	1-H-134	錦ヶ丘八丁目東公園
1-H-16	赤坂4号公園*	1-H-82	錦ヶ丘九丁目2号公園	1-H-135	錦ヶ丘八丁目西公園
1-H-25	みやぎ台3号公園	1-H-83	愛子東三丁目西公園	1-H-136	北原道上南公園
1-H-26	みやぎ台4号公園	1-H-84	蛇台原3号公園	1-H-137	高野原二丁目公園*
1-H-27	赤坂1号公園*	1-H-85	上愛子雷神西公園	1-H-139	錦ヶ丘九丁目公園
1-H-28	赤坂5号公園*	1-H-86	蛇台原1号公園	1-H-140	街道4号公園
1-H-29	赤坂2号公園*	1-H-87	街道3号公園	1-H-141	上愛子車北公園
1-H-30	赤坂3号公園*	1-H-88	観音東公園	1-H-143	愛子グリーンタウン 2号公園
1-H-36	平治南公園	1-H-92	下愛子町3号公園		
1-H-37	二本松公園	1-H-93	下愛子町4号公園	1-H-145	勘太公園
1-H-41	みやぎ台5号公園	1-H-94	蛇台原4号公園	1-H-146	北原公園
1-H-42	赤坂6号公園*	1-H-95	高野原三丁目公園*	1-H-148	みやぎ台三丁目南公園
1-H-48	広瀬川前公園*	1-H-97	堀切公園	1-H-149	愛子東四丁目東公園
1-H-52	北原道上公園	1-H-98	屋敷前公園	1-H-150	大倉ダム下公園
1-H-53	上原東公園	1-H-99	北原南公園	1-H-152	月橋3号公園
1-H-54	勘太東公園	1-H-100	北原2号公園	1-H-154	蛇台原5号公園
1-H-56	北内公園	1-H-102	上原公園	1-H-155	愛子東三丁目3号公園
1-H-57	松原西公園	1-H-103	松原公園	1-H-156	愛子中央四丁目公園
1-H-58	北原道上東公園	1-H-108	上原北公園	1-H-158	街道5号公園
1-H-60	観音公園	1-H-110	高野原四丁目公園	1-H-160	錦ヶ丘四丁目中公園
1-H-61	街道西公園	1-H-111	愛子東五丁目公園	1-H-161	愛子東四丁目北公園
1-H-62	街道東公園	1-H-112	愛子中央三丁目公園	1-H-163	平治西公園
1-H-63	上愛子車公園	1-H-113	上遠野原公園	2-H-4	錦ヶ丘中央公園*
1-H-66	上愛子雷神公園	1-H-114	北原道上北公園	11-H-12	赤坂緑地
1-H-67	下愛子町公園	1-H-115	みやぎ台二丁目南公園	11-H-27	錦ヶ丘西緑地
1-H-69	愛子下原南公園	1-H-117	愛子東五丁目中公園	11-H-29	高野原緑地
1-H-71	北原西公園	1-H-118	錦ヶ丘八丁目公園*	11-H-30	錦ヶ丘東緑地
1-H-72	松原北公園	1-H-121	錦ヶ丘五丁目北公園	11-H-31	広瀬川前緑地

注) 名称に「*」が記載されている公園は都市公園であり、かつ都市計画公園であることを示す。

出典：「仙台市公園・緑地等配置図」（令和3年4月1日、仙台市）

表4-32 自然との触れ合いの場 (2/2)

都市公園

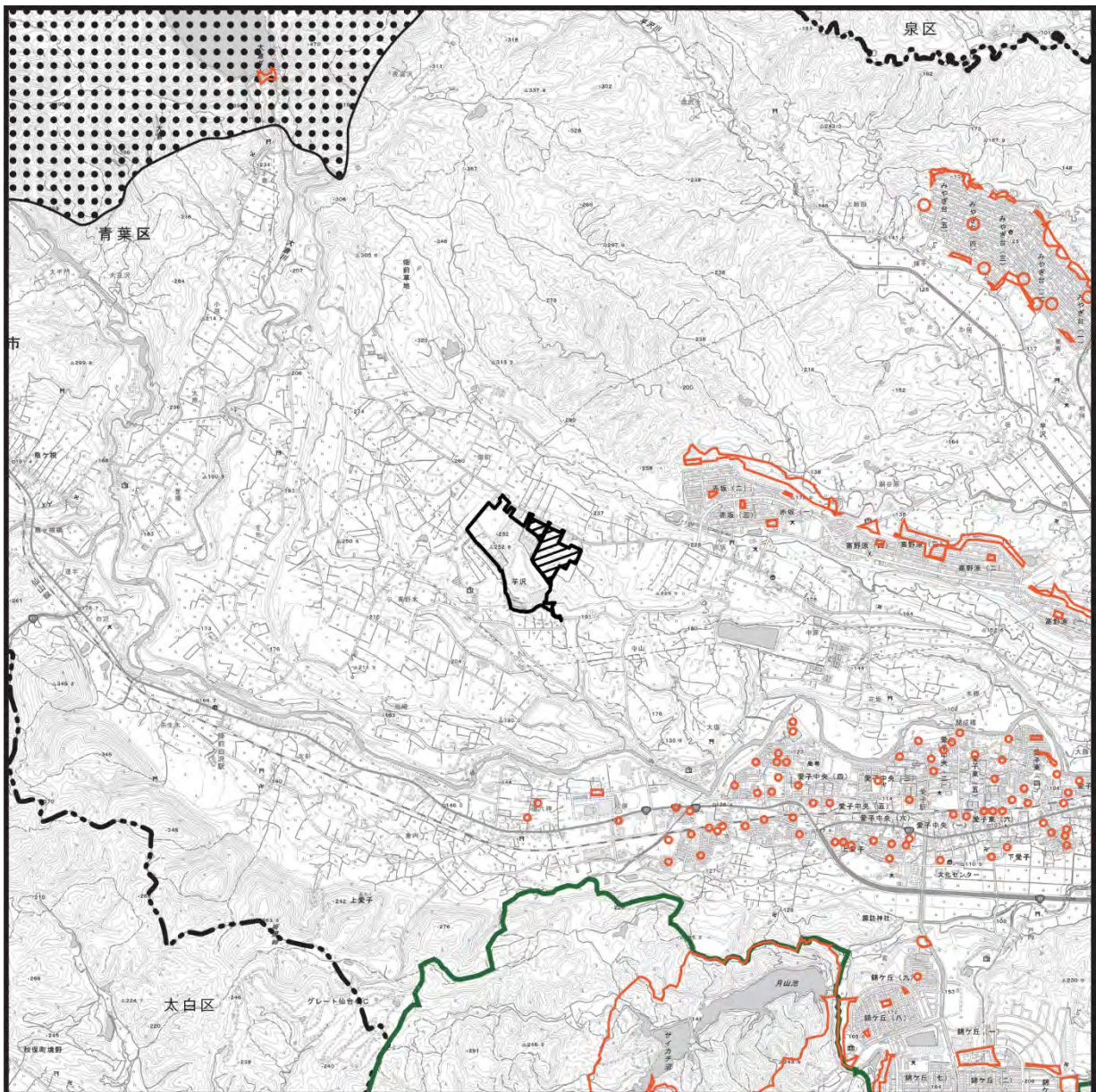
公園番号	公園名称	公園番号	公園名称	公園番号	公園名称
11-H-32	みやぎ台一丁目1号緑地	11-H-38	みやぎ台三丁目1号緑地	11-H-44	みやぎ台五丁目1号緑地
11-H-33	みやぎ台一丁目3号緑地	11-H-39	みやぎ台三丁目2号緑地	11-H-45	みやぎ台五丁目2号緑地
11-H-34	みやぎ台二丁目1号緑地	11-H-40	みやぎ台三丁目3号緑地	11-H-46	みやぎ台五丁目3号緑地
11-H-35	みやぎ台二丁目2号緑地	11-H-41	みやぎ台三丁目4号緑地	11-H-51	斎勝沼緑地
11-H-36	みやぎ台二丁目3号緑地	11-H-42	みやぎ台四丁目1号緑地	11-H-52	錦ヶ丘四丁中緑地
11-H-37	みやぎ台二丁目4号緑地	11-H-43	みやぎ台四丁目2号緑地		

出典：「仙台市公園・緑地等配置図」（令和3年4月1日、仙台市）

緑地環境保全地域

名称
蕃山・斎勝沼

出典：「仙台市公園・緑地等配置図」（令和3年4月1日、仙台市）



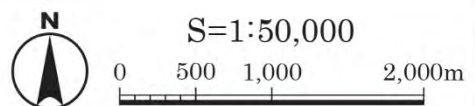
対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

凡例

- : 対象事業計画地
- : 既設処分場(第1期～第4期)
- : 区界
- : 県立自然公園
- : 県緑地環境保全地域
- : 都市公園

出典：「仙台市公園・緑地等配置図」（令和3年4月1日、仙台市）
「国立・国定公園及び県立自然公園」（令和4年4月閲覧、宮城県ホームページ）

図4-19 自然との触れ合いの場の分布



4.7 文化財

(1) 指定文化財等の状況

調査範囲における指定文化財等の分布状況は、表4-33～表4-36及び図4-20に示すとおりである。

調査範囲には、国指定文化財が1件、県指定文化財が1件、市指定文化財が2件、国登録文化財が14件存在する。

なお、対象事業計画地内に指定文化財・登録文化財はない。

表4-33 指定文化財の状況（国指定文化財）

番号	種別区分	名称	員数	所在地	指定年月日
1	有形文化財	仙台藩天文学器機	4基	青葉区錦ヶ丘九丁目 29-32	H24.9.6

注) 番号は、図4-20に対応する。

出典：「仙台市の文化財一覧」（令和2年9月1日現在、仙台市ホームページ）

表4-34 指定文化財の状況（県指定文化財）

番号	種別区分	名称	員数	所在地	指定年月日
2	有形文化財	諏訪神社本殿 附 棟札12枚	1棟	青葉区上愛子字宮下40	S38.7.2

注) 番号は、図4-20に対応する。

出典：「仙台市の文化財一覧」（令和2年9月1日現在、仙台市ホームページ）

表4-35 指定文化財の状況（市指定文化財）

番号	種別区分	名称	員数	所在地	指定年月日
3	有形文化財	宇那禰神社本殿 附 棟札5枚	1棟	青葉区芋沢字明神12	S47.12.27
4	記念物	簪桜	3本	青葉区愛子中央	S61.5.30

注) 番号は、図4-20に対応する。

出典：「仙台市の文化財一覧」（令和2年9月1日現在、仙台市ホームページ）

表4-36 指定文化財の状況（国登録文化財）

番号	種別区分	名称	員数	所在地	指定年月日
5	有形文化財	青下第1ダム	1基	青葉区熊ヶ根字大原道17-2地先	H11. 7. 19
6	有形文化財	青下第1ダム取水塔	1基	青葉区熊ヶ根字大原道17-2地先	H11. 7. 19
7	有形文化財	青下隧道入口	1基	青葉区大倉字大原新田12-7地先	H11. 7. 19
8	有形文化財	青下第2ダム	1基	青葉区熊ヶ根字大原道27-2地先	H11. 7. 19
9	有形文化財	青下第3ダム	1基	青葉区大倉字前原1-2地先	H11. 7. 19
10	有形文化財	青下量水堰	1基	青葉区大倉字西原38地先	H11. 7. 19
11	有形文化財	青下ダム旧管理事務所	1棟	青葉区熊ヶ根字大原道18地先	H11. 7. 19
12	有形文化財	青下ダム記念碑	1基	青葉区熊ヶ根字大原道18地先	H11. 7. 19
13	有形文化財	中原系苦地取水口	1基	青葉区芋沢字中田西29-1地先	H11. 7. 19
14	有形文化財	中原浄水場旧管理事務所	1棟	青葉区芋沢字中原24地先	H11. 7. 19
15	有形文化財	菊地家住宅主屋	1棟	青葉区芋沢	H12. 5. 25
16	有形文化財	菊地家住宅隠居所	1棟	青葉区芋沢	H12. 5. 25
17	有形文化財	菊地家住宅板倉	1棟	青葉区芋沢	H12. 5. 25
18	有形文化財	菊地家住宅土蔵	1棟	青葉区芋沢	H12. 5. 25

注) 番号は、図4-20対応する。

出典：「仙台市の文化財一覧」（令和2年9月1日現在、仙台市ホームページ）

（2）埋蔵文化財包蔵地（遺跡）

調査範囲における埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の状況は、表4-37及び図4-21に示すとおりである。

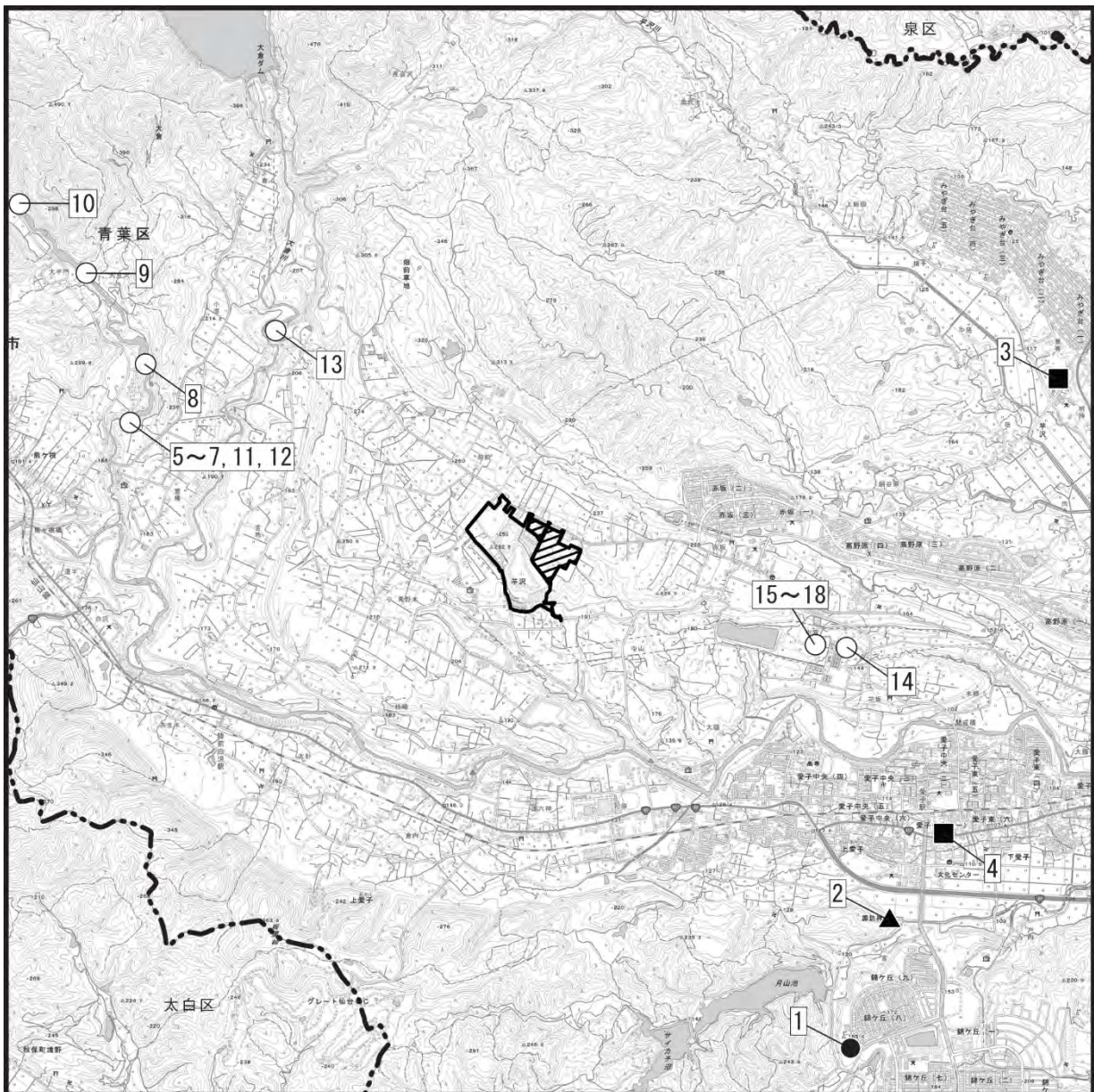
対象事業計画地には、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）はない。

表4-37 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の状況

番号	名称	所在地
1	下大倉館跡	青葉区大倉古館
2	東沢目遺跡	青葉区大倉字大原，東沢目
3	野川遺跡	青葉区熊ヶ根字町
4	萱場遺跡	青葉区大倉字萱場
5	大原新田遺跡	青葉区大倉字大原新田
6	大原館跡	青葉区大倉字大原
7	成館跡	青葉区芋沢字駒込
8	蒲沢山遺跡	青葉区赤坂2・3丁目
9	北原街道B遺跡	青葉区上愛子字北原道上
10	平治遺跡	青葉区上愛子字平治
11	御殿館跡	青葉区上愛子字塩柄・宮下・神明・月見
12	観音堂遺跡	青葉区下愛子字観音堂
13	想海塚	青葉区下愛子字勘太1番地
14	芦見遺跡	青葉区錦ヶ丘6・7丁目
15	谷津A遺跡	青葉区錦ヶ丘9丁目

注) 番号は、図4-21に対応する。

出典：「仙台市の遺跡」（令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ）



対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

凡例

-  : 対象事業計画地
-  : 既設処分場(第1期～第4期)
-  : 区界
-  : 国指定文化財(1)
-  : 県指定文化財(2)
-  : 市指定文化財(3～4)
-  : 国登録文化財(5～18)

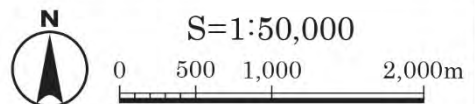
注) 図中の番号は、表4-33～表4-36に対応する。

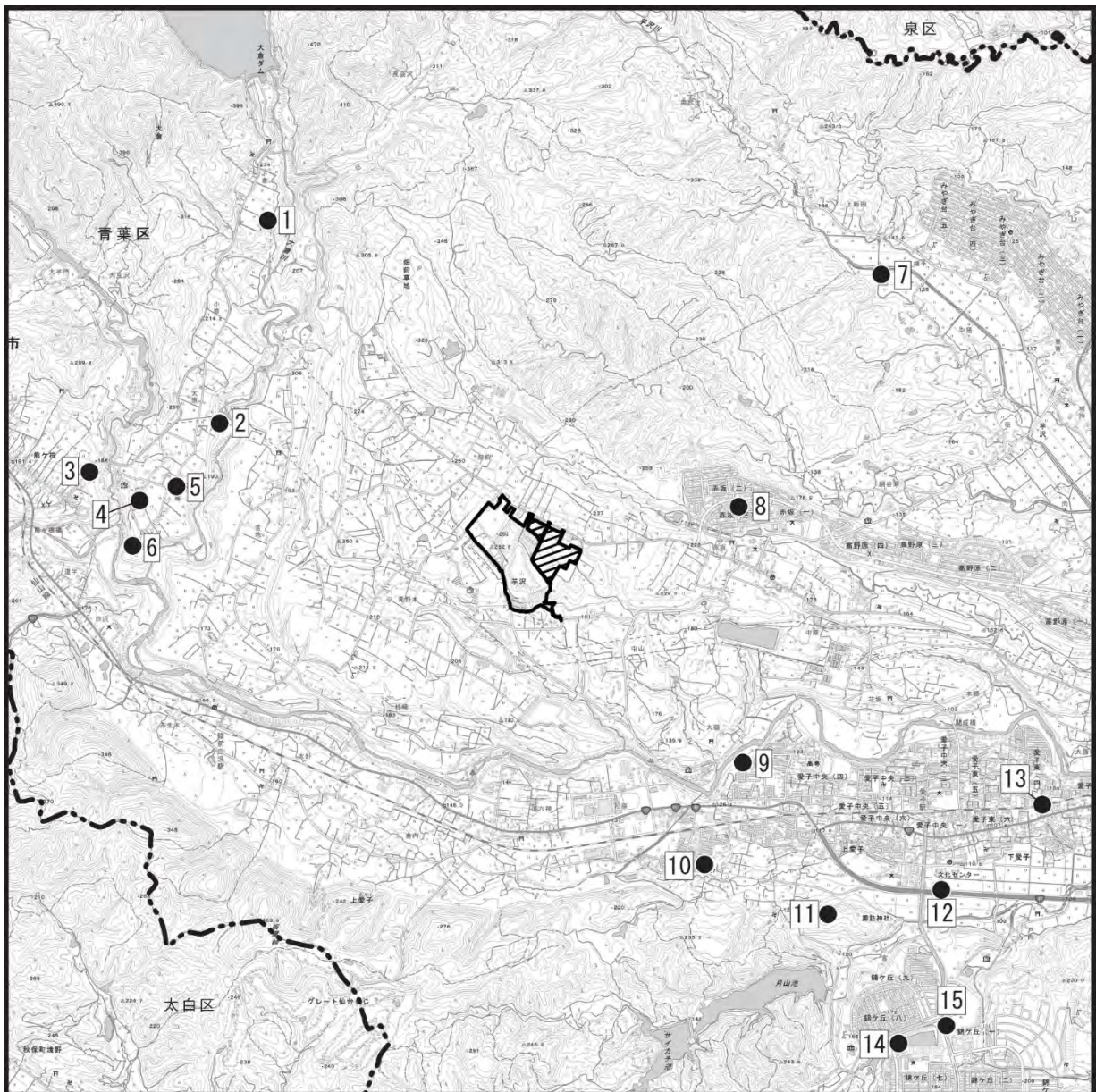
出典: 「仙台市の文化財一覧」(令和2年9月1日現在、仙台市ホームページ)

「仙台市の指定登録文化財」(令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ)

「文化遺産オンライン」(令和4年4月閲覧、文化庁・国立情報学研究所ホームページ)





図4-20 指定文化財の分布状況





対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

凡例

-  : 対象事業計画地
-  : 既設処分場(第1期～第4期)
-  : 区界
-  : 埋蔵文化財包蔵地(1～15)

注) 図中の番号は、表4-37に対応する。

出典: 「仙台市の遺跡」(令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ)

図4-21 埋蔵文化財包蔵置(遺跡)の分布状況



S=1:50,000
0 500 1,000 2,000m

4.8 その他の指定状況

(1) 用途地域の指定状況

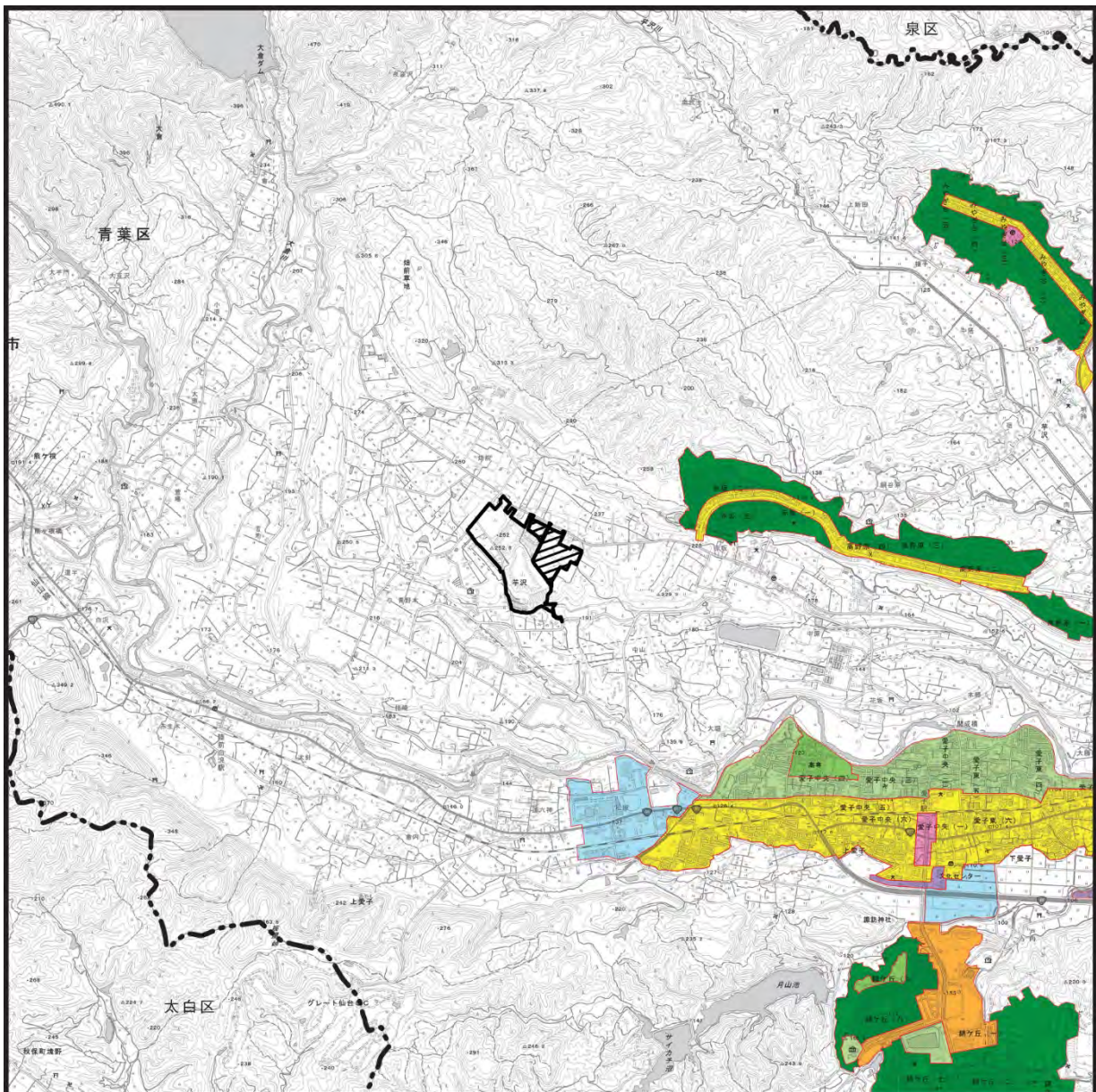
調査範囲における用途地域の設定状況は図4-22に示すとおりである。
対象事業計画地に用途地域の設定はない。

(2) 法令等に基づく指定・規制

調査範囲における関連する主な関係法令は、表4-38に示すとおりである。

表4-38 本計画地に関する関係法令の指定、規制等


関係法令	指定状況及び規制基準の内容	参照図表
仙台市環境基本条例	環境の保全及び創造について、基本理念を定め、並びに市、事業者及び市民の責務を明らかにするとともに、環境の保全及び創造に関する施策の基本となる事項を定めている。	-
仙台市環境影響評価条例	環境影響評価及び事後調査に関する手続き等を定めることにより、環境の保全及び創造の見地から適正な配慮がなされることを期し、現在及び将来の世代の市民の健康で安全かつ快適な生活の確保に寄与することを目的としている。	-
森林法	森林計画、保安林その他森林に関する基本的条項を定めて、森林の保続培養と森林生産力の増進とを図り、国土の保全と国民経済の発展とに資することを目的としている。	図4-25
都市計画法	都市計画の内容及びその決定手続、都市計画制限、都市計画事業、その他都市計画に関し必要な事項を定めている。	図4-22
文化財保護法	文化財を保護し、かつその活用を図り、もって国民の文化的向上に資することを目的とし、重要文化財の指定、史跡、名勝、天然記念物の指定等が定められている。	図4-20
自然環境保全条例	自然環境の適正な保全を総合的に推進するとともに、県土の無秩序な開発を防止し、現在及び将来の県民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的としている。	図4-19
鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律	鳥獣保護事業を実施し、狩猟を適正化することにより鳥獣の保護、繁殖、有害鳥獣の駆除及び危険の防止を図り、生活環境の改善及び農林水産業の振興に資することを目的としている。	図4-24
砂防法	豪雨時における山崩れ、河床の浸食等の減少に伴う不安定な土砂の発生及びその流出による土砂災害を防止することによって、望ましい環境の確保と河川の治水、利水等の機能の保全を図ることを目的としている。	図4-6
地すべり等防止法	地すべり及びびばた山の崩壊による被害を除去し、又は軽減するため、地すべり及びびばた山の崩壊を防止し、国土の保全と民生の安定に資することを目的としている。	図4-7
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	急傾斜地の崩壊による災害から国民の生命を保護するため、急傾斜地の崩壊を防止し、その崩壊に対して警戒避難体制を整備する等の措置を講じ、民生の安定と国土の保全とに資することを目的としている。	図4-8
景観法	良好な景観の形成を促進するため、景観計画の策定その他の施策を総合的に講ずることにより、美しく風格のある国土の形成、潤いのある豊かな生活環境の創造及び個性的で活力ある地域社会の実現を図ることを目的としている。	-
広瀬川の清流を守る条例	広瀬川の清流を守るため市長、事業者及び市民のそれぞれの責務を明らかにするとともに、自然的環境の保全等に関し必要な事項を定めている。	図4-23
杜の都の環境をつくる条例	杜の都の環境を作るため市長、事業者及び市民の責務を明らかにするとともに、緑化の推進、緑地の保全等に関し必要な事項を定めている。	-
杜の都の風土を育む景観条例	杜の都の風土を育む調和のとれた魅力的な景観の形成に関し、施策の基本となる事項その他必要な事項を定めている。景観形成に影響を及ぼす大規模建築物等の建築に関する指針を定めている。この条例に基づき、平成17年10月1日に宮城野通地区が「宮城野通景観形成地区」に指定されている。	-
屋外広告物条例	屋外広告物に関し、良好な景観を形成し、及び風致を維持し、並びに公衆に対する危害を防止することを目的に、屋外広告物が適正に掲出されるよう、屋外広告物のルールを定めている。	-
仙台市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例	地区計画の区域内の建築物に関する制限を定めることにより、適切かつ合理的な土地利用を図り、良好な都市環境を確保することに関する必要な事項を定めている。	-











対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

凡例

 : 対象事業計画地  : 既設処分場(第1期～第4期)

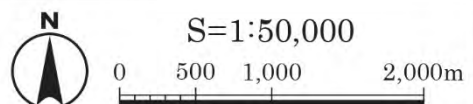
 : 区界

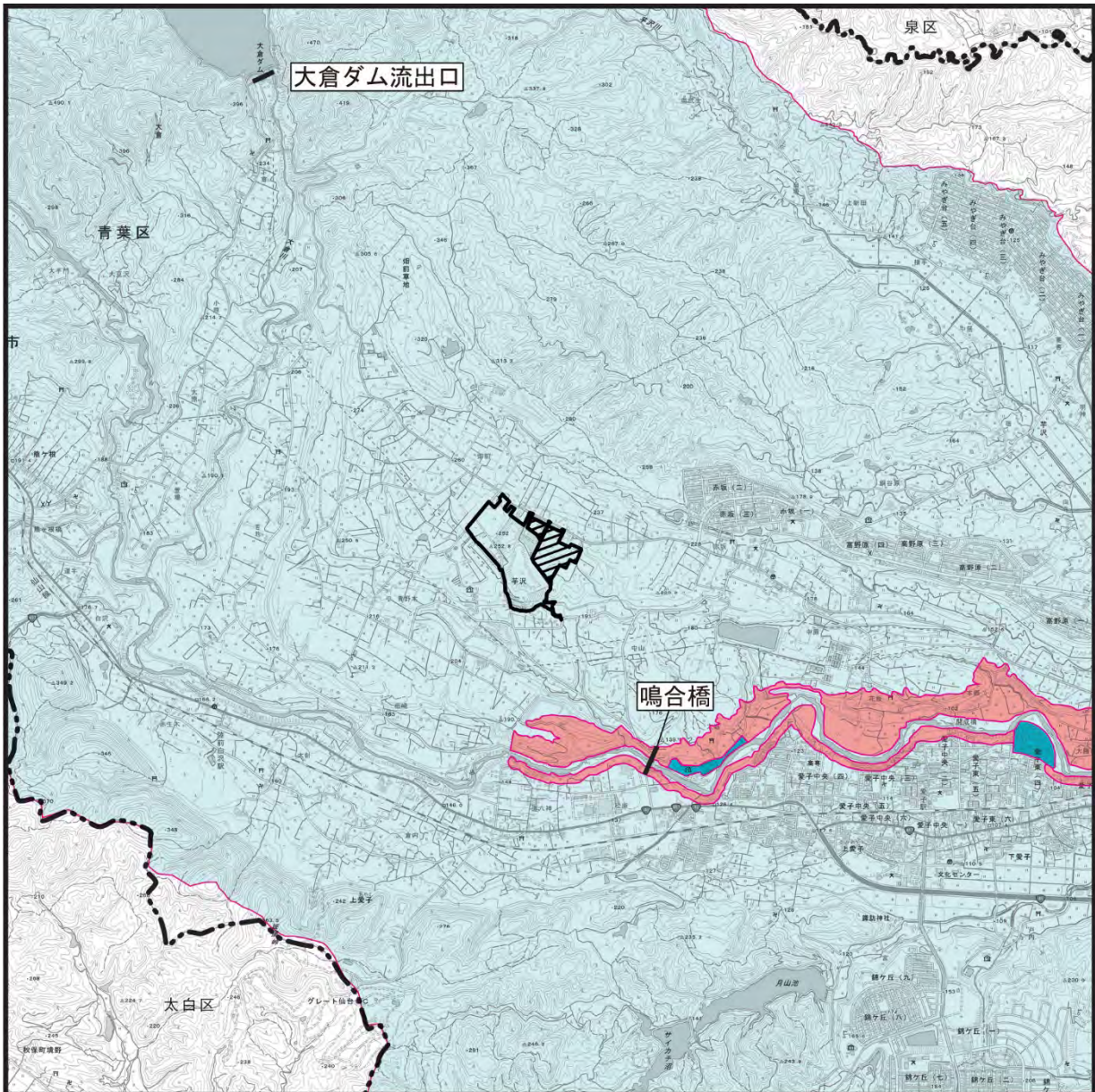
用途地域

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
|  : 第一種低層住居専用地域 |  : 準工業地域 |
|  : 第一種中高層住居専用地域 |  : 工業地域 |
|  : 第二種中高層住居専用地域 | |
|  : 第一種住居地域 | |
|  : 第二種住居地域 | |
|  : 近隣商業地域 | |

出典:「仙台市都市計画情報インターネット提供サービス」(令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ)




図4-22 用途地域図







対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

凡例


-  : 対象事業計画地
-  : 既設処分場(第1期～第4期)
-  : 区界

広瀬川の清流を守る条例

環境保全区域

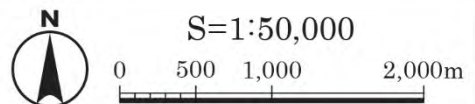
-  : 第一種環境保全区域
-  : 第二種環境保全区域

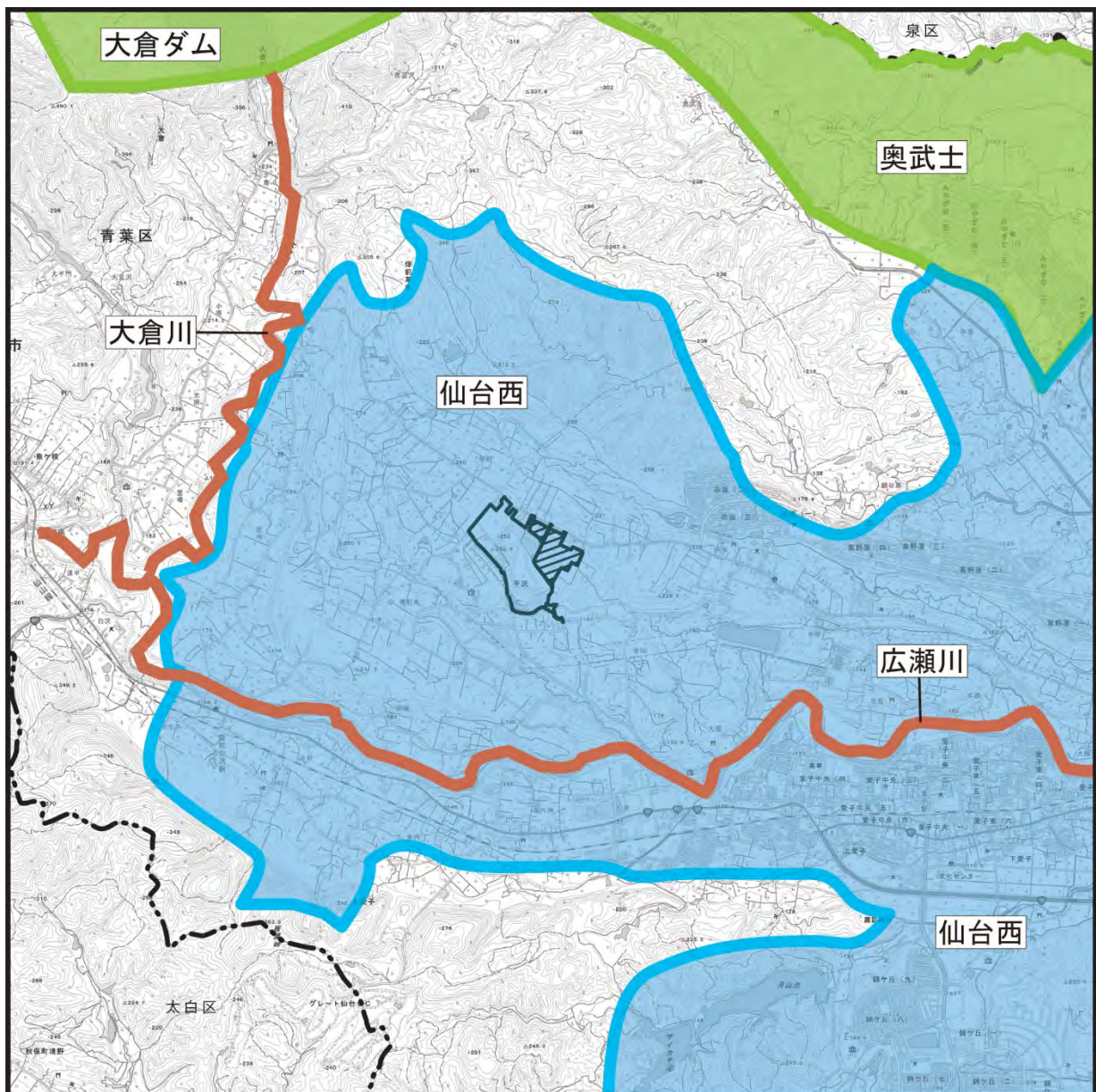
水質保全区域

-  : 水質保全区域

出典:「仙台市都市計画情報インターネット提供サービス」(令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ)
「広瀬川の清流を守る条例」(令和4年4月閲覧、仙台市ホームページ)

図4-23 広瀬川の清流を守る条例の指定状況





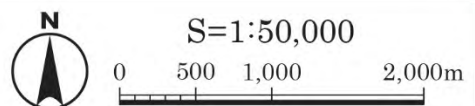
対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

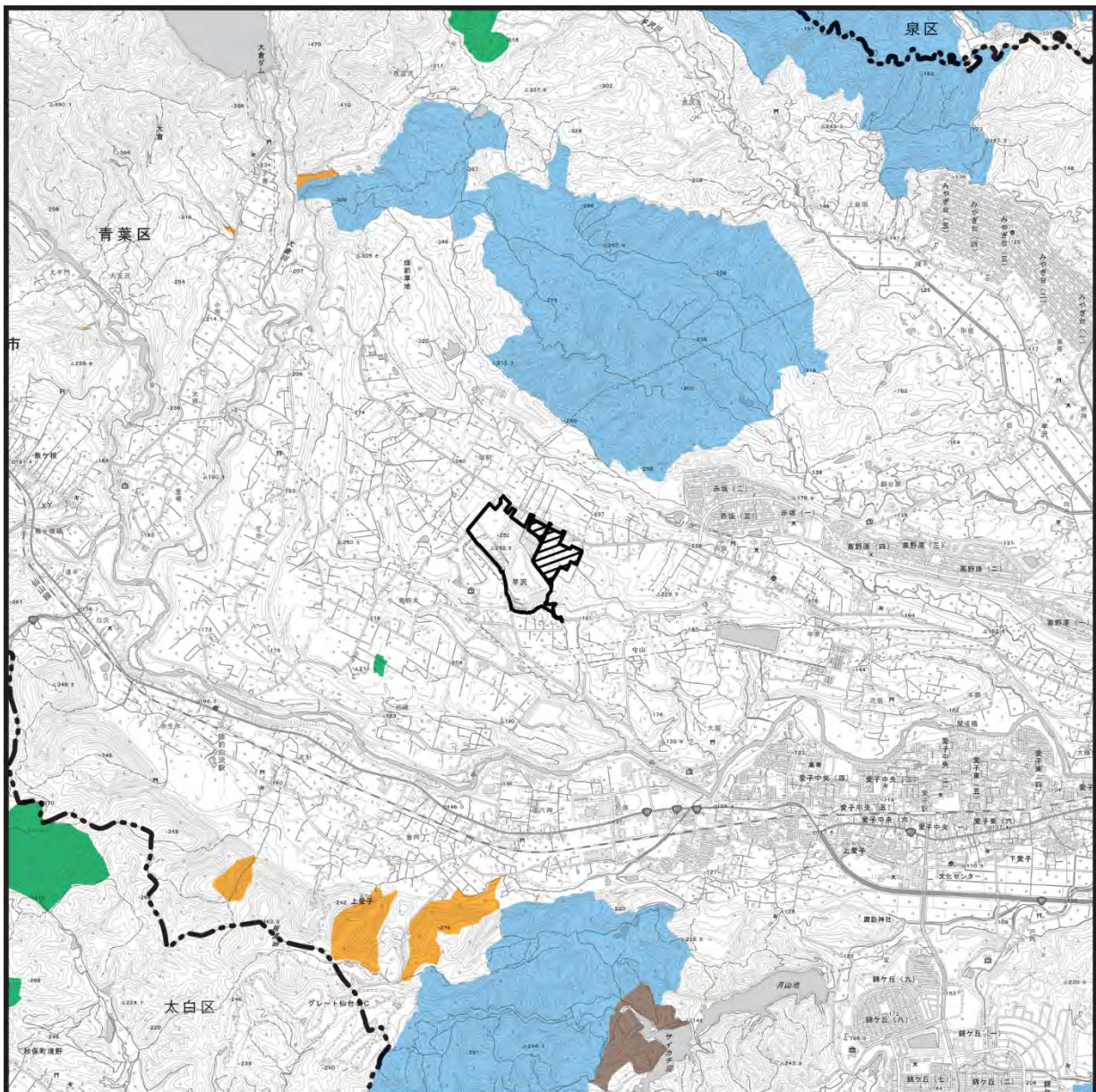
凡例

- : 対象事業計画地
- : 既設処分場(第1期～第4期)
- : 区界
- : 指定猟法禁止区域(鉛製散弾)
- : 特定猟具使用禁止区域(銃)
- : 狩猟鳥獣(イノシシを除く)捕獲禁止区域

出典:「令和3年度 宮城県鳥獣保護区等位置図」(令和3年10月、宮城県)

図4-24 鳥獣保護区の指定状況





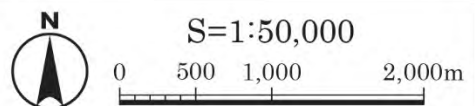
対象事業計画地は既設処分場として許可を得ている範囲を除いたものである。

凡例

- : 対象事業計画地
- : 既設処分場(第1期～第4期)
- : 区界
- : 水源かん養保安林(国有林)
- : 水源かん養保安林(民有林)
- : 土砂流出防備保安林(民有林)
- : 干害防備保安林、保健保安林(民有林)

出典:「環境アセスメントデータベース EADAS(地理情報システム)」(令和4年9月閲覧、環境省ホームページ)

図4-25 保安林の指定状況



(3) 行政計画・方法等

a) 仙台市基本計画

仙台市基本計画においては、「挑戦を続ける、新たな杜の都へ」をまちづくりの理念としている。目指す都市の姿として、環境、共生、学び、活力の視点から、表4-39に示すように4つ目指す都市の姿の実現を目指している。また、その実現に向け、表4-40に示す重点的に取り組む8つの「チャレンジプロジェクト」を掲げ、SDGsの達成への貢献も合わせてプロジェクトの推進を目指している。

表4-39 目指す都市の姿

都市個性	実現のための方向性
環境 自然と都市機能が調和した都市環境	杜の恵みと共に暮らすまちへ <ul style="list-style-type: none"> ・「杜の都」の豊かな自然と、市民の暮らしや都市機能が調和した、世界に通用する風格を備え、住みよさを実感できるまち ・「仙台防災枠組2015-2030」の採択地にふさわしく、自然と人の力を活かした災害対応力を備え、国内外の防災力の向上に貢献できるまち
共生 市民の力で築き上げてきた共生社会	多様性が社会を動かす共生のまちへ <ul style="list-style-type: none"> ・心と命を守る支えあいのもと、多様性が尊重され、包摂される、誰もが安心して暮らすことができるまち ・一人ひとりが持つ多様な価値観・経験を、社会全体がより良い方向に進むための力に変えるまち
学び 一人ひとりの成長につながる学びの風土	学びと実践の機会があふれるまちへ <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが、個性を尊重されて健やかに育つことができ、地域に対する親しみと学ぶ喜びを実感できるまち ・すべての人に成長の機会があふれ、次の仙台をつくる担い手が育ち、東北や世界の未来にも貢献できる人材を次々と輩出する学びとチャレンジのまち
活力 東北における交流と経済の広域拠点	創造性と可能性が開くまちへ <ul style="list-style-type: none"> ・企業や起業家等を惹きつけるとともに、新たな価値を生む創造性が開かれ、地域経済の活性化や社会的課題の解決、東北の活力につながるまち ・東北と世界を結びつけるハブとしての機能を持つ都市として、グローバルな経済活動や、誰もが楽しめる多彩な交流が生まれるまち

出典：「仙台市基本計画2021-2030」（令和3年3月、仙台市）

表4-40 チャレンジプロジェクト

プロジェクト	目標	実施の方向性
杜と水の都プロジェクト	「杜の都」の風土と文化に巡りあえる都市空間をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・「杜の都」の象徴となる都心空間をつくる ・みどりを楽しめる生活空間をつくる ・水辺を楽しめる親水空間をつくる
防災環境都市プロジェクト	持続可能でしなやかな都市環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災の備えを日常生活に織り込む ・環境負荷の低い生活・ビジネススタイルを定着させる ・都市インフラの持続可能性を高める
心の伴走プロジェクト	多様性を尊重し、あらゆる人が安心して暮らせる地域をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性が尊重される環境をつくる ・孤立しない、つながる仕組みをつくる ・心を支える環境をつくる
地域協働プロジェクト	多様性を力に変える地域をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な協働が生まれる基盤をつくる ・多様な主体の力を地域に活かす ・地域の交流を活発化させる
笑顔咲く子どもプロジェクト	子どもたちの未来が広がる環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲を引き出し、伸ばす教育環境をつくる ・個性に合わせた成長の機会をつくる ・子育てを楽しめる環境をつくる
ライフデザインプロジェクト	自分らしい生き方が実現できる環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの至る所で学びと実践の機会がある環境をつくる ・誰もが活躍できる環境をつくる ・ライフステージに合わせた健康を支える
TOHOKU 未来プロジェクト	世界に発信できる東北発のイノベーションを生み出す	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台・東北を舞台にイノベーションを生み出す ・仙台・東北の産業の成長を支える ・仙台・東北に世界中から人を呼び込む
都心創生プロジェクト	人が集い、新しいチャレンジが生まれる都心をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・投資を呼び込むまちをつくる ・イノベーションが生まれる都心をつくる ・まちの回遊性を向上する

出典：「仙台市基本計画2021-2030」（令和3年3月、仙台市）

b) 仙台市都市計画マスタープラン

仙台市都市計画マスタープランは、仙台市の都市づくりに関わる人々と共有しやすい形で長期的な視点に立って都市の将来像を示し、実現に向けて大きな道筋を明らかにしておくことを目的としており、市域全体を対象区域とし、計画期間は2021（令和3）年度～2030（令和12）年度である。

都市づくりの目標像として「「選ばれる都市へ挑戦し続ける“新たな杜の都”」～自然環境と都市機能が調和した多様な活動を支え・生み出す持続可能な都市づくり～」を掲げ、5つの都市づくりの基本方針（表4-41）、都市づくりに係る部門別の方針（表4-42～表4-43）を設定している。

表4-41 都市づくりの基本方針

基本方針1：魅力・活力のある都心の再構築 ・国際競争力を有し、東北と世界を結びつける都市として成長するため、各エリアの特色強化による都心部の回遊性の向上、近未来技術の活用、イノベーションやトライアルの機会、居心地の良い憩いや交流の場の創出等を通して、躍動する都心としての魅力・活力の向上に資する再構築を図ります。
基本方針2：都市機能の集約と地域の特色を生かしたまちづくり ・引き続き、持続可能で防災・減災にも資する、機能的・効率的な市街地を形成するため、地域特性に応じた多様な都市機能の適正な配置を図ります。 ・周辺環境との調和に配慮しながら、地域の特色を踏まえた都市機能の誘導や地域の活性化に資する、特色あるまちづくりの促進を図ります。
基本方針3：質の高い公共交通を中心とした交通体系の充実 ・過度に自家用車に依存しない、質の高い公共交通を中心とした交通体系の充実に取り組むとともに、広域的な交流・連携や、日常生活における移動を支える交通施策を推進します。
基本方針4：杜の都の継承と安全・安心な都市環境の充実 ・魅力ある「杜の都」を後世においても継承し、自然環境を生かした美しく快適な都市空間の形成を図ります。 ・生涯を通じて健やかに安全・安心に暮らせるまちとして、市街地の浸水対策等、災害に強い都市環境の充実を図ります。
基本方針5：魅力を生み出す協働まちづくりの推進 ・多様な価値観を尊重し合い、地域課題を解決して新たな魅力を生み出すため、市民・事業者・行政等の多様な主体の協働によるまちづくりの一層の推進を図ります。

出典：「仙台市都市計画マスタープラン ～都市計画に関する基本的な方針 2021-2030～」

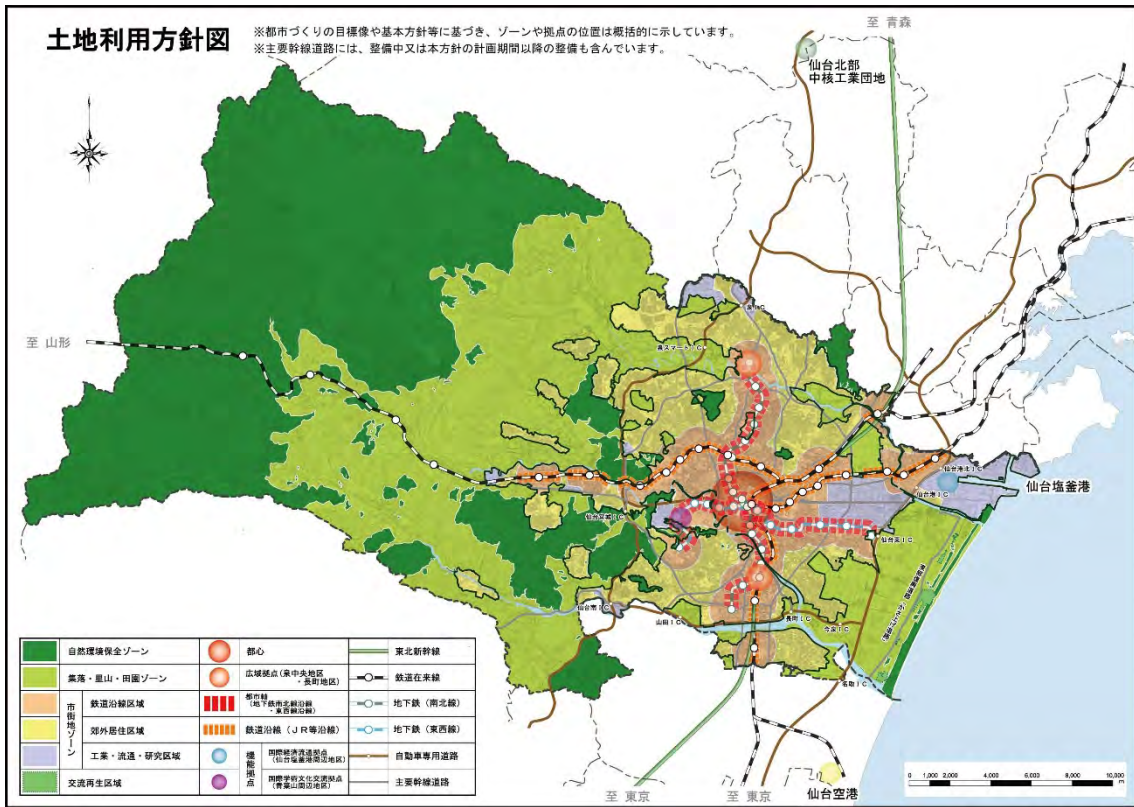
（令和3年3月、仙台市）

表4-42 都市づくりに係る部門別の方針(1)

部門	方針
土地利用 図 4-26 参照	<p>(1) 市街地ゾーン</p> <p>都心：東北をグローバルに牽引する中枢都市として、国際競争力を有し、高次な都市機能の集積による賑わいと交流、継続的な経済活力を生み出し続ける躍動する都心を目指し、都心部の再構築を進めるとともに、回遊性の向上を図り、ウォーカブルな都市空間の形成を推進します。</p> <p>広域拠点：泉中央地区および長町地区に「広域拠点」を配置し、都市圏の活動を支え、生活拠点にふさわしい魅力的で個性ある都市機能の強化・充実を図ります。また、広域拠点の利便性を生かした都市型居住の推進を図ります。</p> <p>機能拠点：仙台塩釜港周辺地区に「国際経済流通拠点」、国際センター・川内・青葉山を含む青葉山周辺地区に「国際学術文化交流拠点」を配置し、都市としての持続的な発展を支える魅力的で個性ある都市機能の強化・充実を図ります。</p> <p>都市軸：東西と南北の地下鉄駅を結ぶ地下鉄沿線を、十文字型の「都市軸」と位置付け、駅を中心とした土地の高度利用や都市機能の集積を進めます。また、交通利便性を生かした快適な居住環境の形成を推進します。</p> <p>鉄道沿線：JR等の鉄道駅を中心に、魅力ある市街地を形成するため、地域特性を踏まえ都市計画の見直しなどにより、居住機能や暮らしに必要な都市機能を誘導します。</p> <p>郊外居住区域：様々な世代やライフスタイル、地域の実情などに応じて、都市計画の見直しなどにより生活の質を維持するために必要な都市機能の確保を図ります。</p> <p>工業・流通・研究区域：工業・流通・研究の各機能のさらなる集積と国際的・広域的な産業機能や研究開発機能の一層の集積を図るとともに、産業構造の変化に対応した地域産業機能を集積します。また、地域経済を支える活力ある産業機能の基盤整備を計画的に進めます。</p> <p>(2) 集落・里山・田園ゾーン</p> <p>自然環境保全にも及ぶ農地・農業の持つ多面的な価値を十分に認識しながら、農林業振興や地域活性化により集落の生活環境を維持します。里山地域は、山地と市街地の緩衝帯として本市の生態系の連続性を支える地域であり、保全に努めるとともに、森林などの持続的な利活用、環境と調和した農林業の振興などを推進します。</p> <p>田園地域は、水田の持つ気象緩和機能や保水機能などを保全します。交流再生区域については、地域の特性を生かした新たな魅力の場を創出し、地域の歴史や文化、東日本大震災の記憶と経験を国内外へ発信し、継承していきます。</p> <p>(3) 自然環境保全ゾーン</p> <p>奥羽山脈や海岸部など、豊かな生態系を支え自然環境を守る区域であり、本市の自然特性が将来に渡って保持されるよう、自然環境を保全します。</p>

出典：「仙台市都市計画マスタープラン ～都市計画に関する基本的な方針 2021-2030～」

(令和3年3月、仙台市)



出典：「仙台市都市計画マスタープラン ～都市計画に関する基本的な方針 2021-2030～」
 (令和3年3月、仙台市)

図4-26 土地利用方針図

表4-43 都市づくりに係る部門別の方針(2)

部門	方針
交通	(1) 質の高い公共交通を中心とした都市交通の充実 ①公共交通の利便性向上と暮らしを支える移動手段の確保 ②「かしこく移動」するライフスタイルの促進 (2) 賑わい創出に向けた都心交通環境の再構築 ①都心の回遊性の向上に向けた交通環境づくり ②多様な活動を支える都心の交通環境づくり (3) 多様な都市活動を支える交通政策の推進 ①経済・交流を支える交通環境の形成 ②安心・安全な交通環境の形成 ③新技術等の積極的な活用
緑・景観	(1) みどり豊かな空間の形成と保全 ①みどりと水による潤いある都市空間の形成 ②杜の都にふさわしい都心のみどりあふれる都市空間の形成と利活用 (2) 公園・緑地・水辺の形成と保全 ①公園の整備と利活用 ②緑地の保全 ③水辺の空間整備と利活用 (3) 良好な都市景観の形成 ①「杜の都」の風土を育む景観の形成 ②歴史や文化・伝統などを生かした景観の形成 ③市民協働による景観づくり
防災・環境	(1) 災害に強い強靱な都市の構築 ①都市施設などの防災・減災機能の強化 ②浸水対策の推進 ③建築物の防災・減災対策 ④宅地の防災・減災対策 ⑤啓発などによる防災・減災への備え (2) 安心して暮らせる都市の形成 ①誰にでもやさしい都市 ②防犯に配慮した都市の構築 ③公共施設や都市施設などの設備と適切なマネジメント (3) 都市環境の保全 ①衛生的な都市環境の維持 ②快適な生活環境の保全 (4) 脱炭素社会の実現に向けた都市づくり ①環境負荷の小さい都市空間の形成 ②エネルギー効率の高いまちづくり
協働まちづくり	(1) 多様な主体によるまちづくりの推進 ①地域主体のまちづくり活動 ②企業・大学などによるまちづくり活動 ③まちづくり活動を担う人材育成 (2) 協働まちづくりへの支援 ①まちづくり活動への支援 ②まちづくり情報の発信

出典：「仙台市都市計画マスタープラン ～都市計画に関する基本的な方針 2021-2030～」
 (令和3年3月、仙台市)

c) 杜の都環境プラン（仙台市環境基本計画）

仙台市の環境の保全と創造に関わる政策・施策の基本的な方向を定めた「杜の都環境プラン 仙台市環境基本計画2021-2030」（令和3年3月、仙台市）は、令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）までの10年間を計画期間としており、表4-44に示すとおり、目指すべき環境都市像と5つの分野別の環境施策を掲げ、それらを実現するための具体化に向けて、特に効果的な施策を組み合わせさせた3つのプロジェクトを設定している（表4-45参照）。

また、仙台市を山地地域、西部丘陵地・田園地域、市街化地域、東部田園地域、海浜地域の5つの地域に区分し、各地域における土地利用の基本的な考え方と環境に配慮すべき事項を示している。対象事業区域は「西部丘陵地・田園地域」に位置し、表4-46に示すとおり、環境配慮の指針を示している。

表4-44 目指す環境都市像と分野別環境施策

環境都市像	杜の恵みを活かした、持続可能なまち 〔「杜の都」の良好な環境を保全・継承するとともに、本市の強みを活かしながら、持続的な発展が可能なまち〕	
分野別の環境施策	脱炭素都市づくり	① 脱炭素型のまちの構造をつくる ② 脱炭素型のエネルギーシステムの構築を進める ③ 環境にやさしい交通への転換を進める ④ 脱炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルを定着させる ⑤ 気候変動によるリスクに備える
	自然共生都市づくり	① 豊かな自然環境と多様な生きものを守る ② 恵み豊かな里地里山を活性化させる ③ グリーンインフラをまちづくりに活かす ④ 自然や生きものへの愛着をはぐくむ
	資源循環都市づくり	① 資源を大切に使う行動を定着させる ② 資源の有効利用を進める ③ 廃棄物の適正な処理体制を確保する
	快適環境都市づくり	① 健康で快適な生活環境を保全する ② 開発事業等における自主的な取り組みを促進する ③ 地域の環境資源を活かした魅力的なまちづくりを進める
	行動する人づくり	① 環境にやさしい行動の輪を広げる ② 環境にやさしいライフスタイル・ビジネススタイルを定着させる

出典：「杜の都環境プラン 仙台市環境基本計画 2021-2030」（令和3年3月、仙台市）

表4-45 重点的な取り組み

プロジェクト	取り組みの方向
輝く！グリーン&クリ ーン都市プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンビルディング等の環境にやさしい建築物の整備の促進 ・事業者と連携した環境にやさしいビジネスの推進 ・みどりを活用した、歩きたくなる魅力的な都市空間の創出
つながる！エネルギー 循環プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマスの利用促進 ・廃棄物系バイオマスの利用促進 ・3E（省エネ・創エネ・蓄エネ）の普及拡大
広がる！エコアクション プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・「杜の都スタイル」の普及拡大 ・効果的な環境教育・学習の推進 ・生物多様性保全推進事業の推進

出典：「杜の都環境プラン 仙台市環境基本計画 2021-2030」（令和3年3月、仙台市）

表4-46 土地利用における環境配慮の指針

西部丘陵地・田園地域	基本的な考え方	<p>本地域は、山地地域に連なり、都市近郊にあつて豊かな自然環境を有している地域であり、太白山県自然環境保全地域や権現森、蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域等を含んでいる。また、この地域は、集落とそれをとりまく森林や農地、ため池等で構成され、多様な機能を有する里地里山の環境を形成している。</p> <p>里地里山には、絶滅危惧種などの希少な動植物が多く生育・生息するため、本地域は、本市の生物多様性を保全する上で重要な地域である。また、美しい里地里山の景観の保全や、二酸化炭素の吸収源確保、土砂災害や洪水防止機能等の面からも重要であり、都市的な土地利用への転換にあたっては、慎重な対応が求められる。</p> <p>また、里地里山は、人が自然との関わりを持つことで形成、維持されてきた環境であることから、森林や農地の適切な維持管理を進めるとともに、木材等の供給や自然とのふれあいの場として積極的に活用していくことが求められる。</p>
	環境配慮の指針	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の生物多様性の連続性を支えるとともに、二酸化炭素吸収や水源涵養、土砂災害防止など多様な機能を有する重要な地域であることから、保全に努め、開発事業等はできる限り回避する。 ・希少な生きものの生育・生息地や植生自然度の高い森林、地域住民に親しまれている自然環境等については、原則として保全を図る。やむを得ず開発事業等を行う場合は、できる限り改変面積を小さくするとともに、動物の移動経路となる緑のネットワークを確保するなど、環境への影響を最小限とするよう努める。また、環境への影響を回避・低減することが困難な場合は、代償措置を実施する。 ・森林や農地の適切な維持管理に努めるとともに、環境と調和した農林業等を実施する。また、森林資源等の持続的な利用を進める。 ・農薬や化学肥料の使用低減に努めるなど、生物多様性や周辺環境に配慮した農業を進める。 ・良好な里地里山の環境に生育・生息する動植物の保全に努めるとともに、生物多様性に配慮した緑化に努める。 ・畜産業や林業等により発生する未利用のバイオマスについて、堆肥化や燃料化により、有効活用を図る。 ・森林保全活動や体験型農園など、自然とのふれあいの機会の創出に努める。 ・きれいな空気や水、静穏な音環境などの良好な生活環境や、地域に根差した歴史・文化、原風景等の保全に努める。また、これらの魅力を発信し、自然とのふれあいの場や環境教育・学習の場として活用するなど、地域資源の価値を高める。 ・野生動物との適切な関係を保つため、果樹や野菜、生ごみなどを適切に管理する、動物が隠れやすい藪を刈るなど、野生動物を人里に引き寄せないように努める。

出典：「杜の都環境プラン 仙台市環境基本計画 2021-2030」（令和3年3月、仙台市）

d) 仙台市みどりの基本計画

「緑の基本計画」は、都市緑地法第4条及び杜の都の環境をつくる条例第10条に基づく、みどりの都市像や施策について定めるみどりのまちづくりの総合的な計画であり、令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)までの10年間を計画期間としている。

仙台市みどりの基本計画では、「百年の杜づくりで実現する新たな杜の都 ～みどりを育むひと、みどりが育むまち～」を基本理念として、5つの基本方針を定め、施策を推進することとしている。仙台市みどりの基本計画の5つの基本方針と施策の柱は表4-47に示すとおりである。

表4-47 仙台市みどりの基本計画の基本方針と施策

基本方針	施策の柱
みどりと共生するまち	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりを生かした防災・減災を進める ・みどりにより、健全な水循環を維持・増進する ・都市のみどりをつなぎ、豊かな生態系を育む ・みどりを資源として循環させる
みどりで選ばれるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりで人、企業を惹きつける ・みんながみどりを享受できるまちをつくる
みどりを誇りとするまち	<ul style="list-style-type: none"> ・杜の都にふさわしいみどりを充実させる ・歴史と文化の香るみどりを守り、継承する
みどりとともに人が育つまち	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの質を高める身近なみどりを充実させる ・みどりにより健やかな心身を育む
みどりを大切にするまち	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの持続可能な管理体制を構築する ・悠久の百年の杜を発信する

出典：「仙台市みどりの基本計画 2021-2030」（令和3年6月、仙台市）

e) 仙台市地球温暖化対策推進計画

仙台市地球温暖化対策推進計画は、地球温暖化の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画（区域施策編）及び気候変動適応法に基づく地域気候変動適応計画の2つの計画として定めている。また、「仙台市地球温暖化対策等の推進に関する条例」に基づく推進計画であるほか、「杜の都環境プラン 仙台市環境基本計画2021-2030」（令和3年3月、仙台市）における個別計画としても位置づけられている。

計画の目標は、中期目標が「令和12年度(2030年度)における温室効果ガス排出量を平成25年度(2013年度)比で35%以上削減（森林等による吸収量を含む）」、長期目標が「令和32年(2050年)温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す」としている。

実施施策の体系は、表4-48に示すとおり、温室効果ガスの排出抑制施策(緩和策)と気候変動影響への適応施策(適応策)を2つの大きな柱としている。

表4-48 緩和策と適応策の体系

温室効果ガスの排出抑制施策 (緩和策)	<ul style="list-style-type: none"> ① 脱炭素社会に向けた持続的で効率的なまちづくりを進める ② 3E（省エネ・創エネ・蓄エネ）の普及・エネルギーの最適利用を推進する ③ 環境にやさしい交通への転換を進める ④ 持続可能な資源循環都市を目指した取り組みを進める ⑤ 環境を意識したライフスタイル・ビジネススタイルを定着させ行動を促す ⑥ 地域経済と環境の好循環を生み出す
気候変動影響への適応施策 (適応策)	<ul style="list-style-type: none"> ① 気候変動が農業や自然環境に及ぼす影響を把握し適応する ② 自然災害による被害を最小限に抑える ③ 健康に与える影響を把握し軽減する ④ 事業活動・生活環境におけるリスクに備える

出典：「仙台市地球温暖化対策推進計画 2021-2030」（令和3年3月、仙台市）